

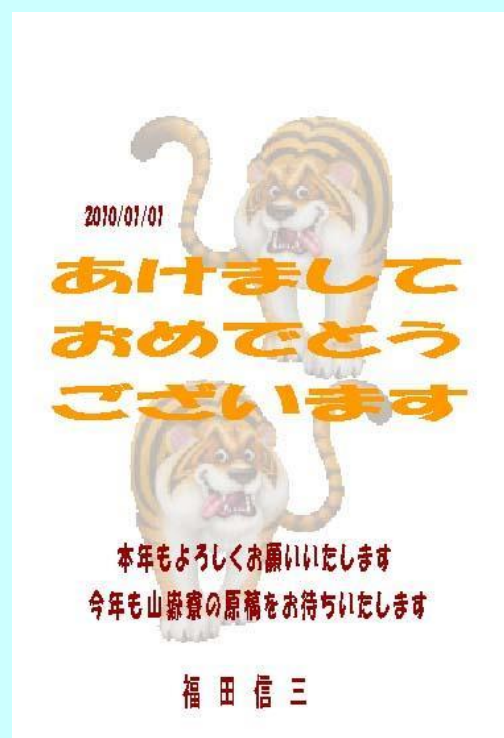
謹賀新年

投稿者：福田信三 投稿日：2009年12月31日(木)23時19分20秒

あけましておめでとうございます。2時間前に新年を迎えました。

2010年が皆様にとって最高の年でありますよう

お祈りいたします。



カンリガルポ報告会

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年12月27日(日)20時55分29秒

26日、神戸大でカンリガルポ合同登山隊報告会が無事終了しました。私は、主に小学校での交流授業について報告しました。これでとりあえずひと段落というところです。後は、3月末頃に発行予定の報告書作成に取り組むことになります。

年末のお忙しい時にもかかわらず、武田会長、雨宮さん、広瀬さん、鈴木さん、森本さん、芦田さん、塩崎さん、浪川さん、平井幹男さん、大森さん、谷くんが参加してくださいました。有難うございました。

神戸大学山岳会の様々な方から、甲南山岳会の暖かさ、やさしさにお褒めの言葉をいただいています。

本日、芦屋の横池で、生徒とイノシシ観察をしてきましたが、帰国後ほとんど運動をしておらず、筋肉痛になっています。

中国隊のメンバーが報告会に合わせて来日中です。昨日は平井先生と共に中華街で中華料理を、本日はハーバーランドからコンチェルトという船でナイトクルージング、明後日は、六甲山と有馬温泉、連日付き合うほうも正月前からご馳走続きです。

面白かったのは、チベット人隊員ダンタです。日本に来るまで海を見たことの無かった彼には、意外にもシーフードが口に合うようです。彼にとっては、大きな食文化ショックかもしれません。今日も、昼は寿司に、夜はバイキングのカニにむしゃぶりついていました

川野君の山日記

投稿者：管理人 投稿日：2009年12月27日(日)11時21分32秒

”藪内さん遭難搜索の記録”が送られてきました。

個人投稿集の”川野幸彦の山日記”にUPしました。

京都の山

投稿者：kannroku 投稿日：2009年12月26日(土)22時00分41秒

平成21年もあとわずか、皆様はどんな年でしたでしょうか。今日は恵昭君のカンリガルボ登山報告会に行き、元気良く心のこもった話に拍手拍手。

平成22年1月4日月曜日京都東山36番目の稲荷山233mに行きます。ゆっくりと散策したい方は是非来てください。3時間程の歩きです。

JR奈良線稲荷駅(標高50m弱)10時集合～伏見稲荷神社参拝～伏見稲荷お山巡り～一の峰233m(この東に239.1mの三等三角点あり)～京阪伏見稲荷駅～京阪電車移動～中書島駅～烏せい本店昼食(日本酒共1000～1500)打ち上げ反省会・・・解散 現在参加予定者 鈴木・芦田・廣瀬・森本 参加希望の方は27日までに

次回は2月3日東山12番吉田山121mに カンロク

オーストラリアのサンタクロース

投稿者：福田信三 投稿日：2009年12月24日(木)22時59分49秒

南半球でクリスマスを迎えるのは10年来となりますが、いつも人に聞かれます。

”雪の無いところへサンタクロースはどうやって来るの？”

答えは、ジェットスキーで海の向こうからやってきます。

子供たちもそう信じています。だからサンタはスキューバダイビングもします。

メルボルンにいますが、ここはごちゃ混ぜの都市です。130カ国の移民で形成されています。故に、食事の種類は無限、何でもあります。

今夜のイブのミサの最後に、神父が”では、皆さんのお国言葉でクリスマスの挨拶をしてください”このために約20分かかりました、詳しく勘定していませんが4、50種類の言葉があり、さすがと驚きました。

こんなところですから、人種に対する偏見は全く無く、肩が全く懲りません。

反面、情緒に乏しい欠点があります。是非いらしてください、町の面積の半分以上は森の様な公園です。



お礼！

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009年12月20日(日)08時45分17秒

・塩崎さん

ご無沙汰です。お元気でお過ごしですか？最近、息子にP Cを独占され久しくH Pを見てませんでした。申し訳ありません。

お忙しい中“山記録”を掲載頂きありがとうございました。お礼申し上げます。それから先日の引越し時に、藪内さんの検索記録も出てきました。この記録のことは完全に忘れていました。近く、送付します。

今年も残り10日です。皆様はいかがお過ごしですか？学生時代はこの時期、山に行っていました。今回の“4年生時代の記録”では五六豪雪の中、連日猛烈なラッセルに苦しめられていました。ところで、この冬は当時に似ている様な気がします。豪雪になりそうな気がします。

冬休みは、宮崎にいる母の所に行く予定です。30日に戻るつもりです。父と先祖の墓参りです。また、宴会などがある時は連絡下さい。山本のヒマラヤの話も聞きたいですし。

投稿

投稿者：管理人 投稿日：2009年12月18日(金)18時14分17秒

川野君から“山記録4年生時代”が届きました。

個人投稿集“川野幸彦の山日記”にUPしました。

いま、平井 吉夫君が翻訳の本

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2009年12月15日(火)18時18分38秒

1970年、メスナー初の著作「赤い のろし」は発刊禁止となつて久しい。
この公的翻訳が40年をへて平井 吉夫君の訳で来年 刊行されます。版元は山と溪谷社。

1970年、兄弟でナンガパルバットに登頂、未知のディアミール壁を下降中、氷雪雪崩で遭難死した弟ギョ
ンターの遺体が2005年、35年ぶりに見つかりました。その火葬の画像は、ナショナル ジオ 2006年1
1月号に掲載されてる。ヒゲ面のメスナーも写ってます。

ナショナル ジオ・日本語版のページ

http://nng.nikkeibp.co.jp/nng/feature/0611/f_4_zoom10.shtml

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2009年12月15日(火)13時00分2秒

山本君からK G - IIの写真が届きました。

アルバムにUPしました。

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2009年12月14日(月)16時38分13秒

いま訳しているメスナーの本の映画化作品の予告編です。

<http://74.125.153.132/search?q=cache:JyAoBhlppq8J:movie1.search.biglobe.ne.jp/video/watch/53e04ec477726337+reinhold+messner&cd=344&hl=ja&ct=clnk&gl=jp>

雪見会 参加します

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2009年12月11日(金)16時02分28秒

飯田くん

いつもお世話していただきありがとうございます。

日程 同行者など詳細は、おって連絡します。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2009年12月10日(木)17時09分34秒

雪見会を下記日程でおこないます。

1月23, 24日を基本にして(前田館)で 前後日いれて。家族連れ、お孫さんとご一緒される方、できるだけ個室確保しますので、ふるってご参加されたい。

尚

高遠合宿 2月6, 7日基本で例年通りの工程でおこないます。

ガチャサンから詳しい連絡があると思いますが、日にち明けておいてください。

比叡山行き

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009年12月8日(火)17時16分17秒

昨日、カンロク／森本兄に付き合ってもらって、叡山に登りました。麓から三時間半ぐらいの登りでしたが、休憩らしい休憩は殆どなし、ついて行くのがやっとこそ、カンサンの馬力に脱帽。癌も蹴散らす？更なる回復に期待！！

スキーのお誘い

投稿者：塩崎 投稿日：2009年12月8日(火)15時53分25秒

来年1月8日から10日まで3泊4日で妙高へ2010年初滑りに行きます。

宿は"妙高の森"(昔の簡保)

<http://www.myoukounomori.com/>

1泊2食12,650円です。

現在の参加者は、雨宮、田邊、山本真博、塩崎の4人です。

参加希望者は連絡ください。

塩崎

KGⅡ登頂祝賀会

投稿者：鈴木頼正 投稿日：2009年12月8日(火)10時50分1秒

来る12月26日に登頂成功の報告会、祝賀会が神戸大学であります。出発前の会にも案内状を頂いたのですが神戸大学だけの会に出てゆく気にはなりません、今度は甲南として別に報告会、祝賀会はなく神戸大学の会で終了なら甲南の名前も入れて欲しいと思います。前回の同志社大学の谷君とかなり立場も違うのかなーと思います。掲示板で甲南も積極的に参加すべきかご指示頂きたい、

ネパールの環境問題

投稿者：飯田 進 投稿日：2009年12月5日(土)11時51分20秒

今朝の産経新聞に、ネパールのクマール首相以下20数名がエベレストのベースキャンプ（5246m）に集まって酸素着用の閣議が行われた記事が写真入りででていました。温暖化に対する規制強化が決められたとのこと。これから行かれる方ご注意ください。

以前、パミール高原の南端、キリック川の河原で倒木を見つけ、たき火をしていたら、ポーターからクレームがつかれました。貴重な燃料を馬鹿みたいにつかうな！。ということでした。ネパールでやったら牢屋に放り込まれるかも。柏君気を付けや。

原稿依頼など

投稿者：福田信三 投稿日：2009年12月3日(木)13時23分27秒

雨宮さん

御無沙汰しています。

「女性登山家たちの14座レース」、興味深く読ませていただきました。

今の時代、“女だてらに”なんて言うと、“なにいつ？、なに言うてんねん、なめたらあかんで”と帰ってきそうです。

ここで、山嶽寮65号のための原稿依頼をいたします。
この超8,000m、14座に関する随筆などを是非お願いいたします。

追伸:他の皆様にも是非原稿をお寄せいただけるよう、よろしくお願いいたします。
勿論山本君は、カンリガルポ登頂記をお願いいたします。

福田信三

女性登山家たちの14座レース

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2009年12月2日(水)09時04分17秒

14座 達成ならず 韓国の 呉 銀善 = オ・ウンソン（1966～）

09年10月18日。オ氏は残る1座・アンなブルナ（8,091m）の7,220mで撤退。
七大陸登頂者のオ・ウンソン氏は今回の登頂に成功すれば、14座を完結した世界最初の女性登山家になるはずでした。

オ氏は09年7月ナンガパルバットに登頂し下山中滑落死した、女性登山家・故コ・ミョン氏の写真を胸に

抱いて登ったそうです。

故コ・ミョン氏・韓国（41 歳没）は、06 年からヒマラヤの 14 座に挑戦。08 年までの 3 年間で 8 座を達成し残る 6 座を、09 年に入ってマカルー（5 月 1 日）、カンチェンジュンガ（5 月 18 日）、ダウラギリ（6 月 8 日）、ナンガパルバット（7 月 12 日）と次々に登頂し、ナンガパルバット登頂後も帰国せず、ガッシャブルム一峰・二峰と登頂し、1 年で 6 座 登って 4 年で合計 14 座達成という、とんでもない計画の途中、ナンガパルバットに登頂して下降中、滑落死して 12 座で終わってる。

09 年現在、12 座を達成しているエドウルネ・パサバンは 09 年 10 月、4 回目のシシャパンマ（過去 3 回敗退）に遠征したが登頂のニュースはない。

彼女は 09 年のうちに残る 2 座の登頂は考えてない、「危険を冒してまでの 1 番乗りはしない」アンナプルナは 010 年に計画しているので、1 番乗りはオ・ウンソン氏だろうと語っている。

奮闘を祝う

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009 年 12 月 1 日(火)07 時 17 分 51 秒

昨夜は、祝いの酒を飲みました。恵昭登攀隊長の奮闘サポートなくして、登頂者の無事生還がなかったの事。登頂後のアクシデント回避がもっとも重要なり。リーダーの模範的行動を示したようで、嬉しい限りです。

トルコへ行って来ました

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 11 月 29 日(日)16 時 53 分 23 秒

山本君が帰ったのと同じ日にイスタンブールから帰って来ました。機上のスクリーンではニューデリー、カトマンズなどの上空を飛んでいた様でしたが、すっかり寝ていて気がついた時は既に上海の上空でした。残念！

トルコは観光旅行でしたが、期待していたアナトリア高原のいくつかの雪の高峰を眺めることが出来ました。同行の観光客は誰も山などには興味がなく、迷惑だったかも知れませんが、何度も小生の希望をいれてバスを止めてくれたお陰で何とか写真撮影出来て満足しました。見えた山はエルジェス山（3916m）、ハサン山（3268m）、ベルベル山脈など、追ってアルバムに送ります。

観光客向けのベリーダンス付きのディナーショーなどにはまるで興味を感じず（いやほんと）、ボスポラス海峡にかかる巨大な吊り橋をかけたのが三菱重工と I H I だとの現地ガイドの説明を聞いて感激するのは歳のせいですね。

祝 目標達成と帰国

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 11 月 29 日(日)16 時 15 分 30 秒

山本君お疲れ様。

登頂の知らせから下山の知らせまでの時間が長く、いささか心配して気をもんでいました。夜間になって悪天候下での登頂隊員の収容に手間取り、貴君が苦勞しているのでは、などと想像していました。

聞くところでは、貴君の奮闘があって無事に下山が出来たとのこと。貴君自身の登頂がかなわず残念だったでしょうが、登攀リーダーとしての務めを十二分に果たされたことの方が価値ある経験だと思います。

帰国報告の文末に「山を通して世界が一回り大きくなったように思います」との感想を見て大変嬉しく思いました。帰国後の勤務も年末にかけ多忙となることと思いますが、なんとか暇をつくって温泉にでもつかってください。

祝 無事の御帰還

投稿者：福田信三 投稿日：2009年11月29日(日)15時38分24秒

山本さん
お勤めご苦労様でした。目標達成、良かったですね。
ゆっくりお休みください、とも言っておられないでしょうが。

2010年度の山嶽寮への御寄稿を期待しております。

福田信三

お帰りなさい

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009年11月28日(土)09時32分34秒

恵昭兄の実り多き遠征帰還、祝杯ものですね。（朝から 乾杯するのも
いただけませんが、祝杯ものです。）

無事、帰国しました。

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年11月28日(土)01時27分3秒

本日、武田会長、塩崎さんのお迎えを受けて無事帰国しました。また、塩崎さんには妻とともに家まで送っていただき有難うございました。

長期の遠征のつもりが、実際の登山活動期間はあっという間に過ぎ、あっけなく終了してしまった気がしています。下山後は、武漢地質大学での様々な式典や北京での中国登山協会の方々の接待続きとなりました。

このたびの遠征におきましては、沢山の方々からご支援をいただき本当に有難うございました。いろいろな方との出会いの中で、新しい世界をのぞき見ることができました。また、山を通して世界が一回り大きくなったように思います。

恵昭くん帰国

投稿者：武田 雄三 投稿日：2009年11月28日(土)00時29分49秒

関空へ出迎えに行ってきました。塩崎君が山本夫人を連れて、車で出迎えに来てくれました。
35分ほど到着が遅れましたがゲートから出て我々を見つけると、アノ特徴あるハニカンダ様な笑顔を見せてくれました。
高所での影響が気管支を傷めた様子ですが、日毎に良くなって来ているとの事で一安心。
関テレとサンテレビのクルーが取材に来ていましたので、今日明日中にも放映されると思われます。
報告会は12月26日（土）神戸大学内にて行われる予定との事、楽しみにお待ち下さい。

お帰りなさい

投稿者：kannroku 投稿日：2009 年 11 月 27 日(金)18 時 19 分 47 秒

恵昭さん 登攀隊長の役目御苦労さんでした。神戸大の方々から恵昭さんの活躍を聞き、うれしく思いました。混成部隊での難しい事もあったのではと思いますが、KG2 初登頂本当におめでとうございます。楽しい事、しんどかった事、等々の話楽しみにしております。

12 月 3 日木曜日 比叡山に行きます。どなたか一緒に行きませんか。

9 時 30 分 京都四条河原町高島屋 1 階入口集合

修学院より登り～比叡山～八瀬側に降ります。歩行時間約 6 時間（12 km）

今の所廣瀬・森本の二人です。

小川さんの講演

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009 年 11 月 22 日(日)18 時 47 分 2 秒

小川さんの講演会に行ってきました。

平生さん(やはり「さん」で通されました)のこと。

山岳会で伺った話のほかに、甲南病院の設立理念、川重のこと、社会事業家、財界人としての話など。

平生さんと松下幸之助氏との共通点は、と言う質問には「正義を基調とするぶれない視点」と。

87 歳とは思えないくらいお元気な様子でした。

一応公開講座でしたが、主催の自治会 OB メンバーのほかはどうも山岳部関係、二谷さんと高橋さん(ごんちゃん)と私だけみたいでした。

(高橋さんは新入生歓迎行事をお手伝いされたとかで、半分くらい自治会寄りのスタンスみたい)

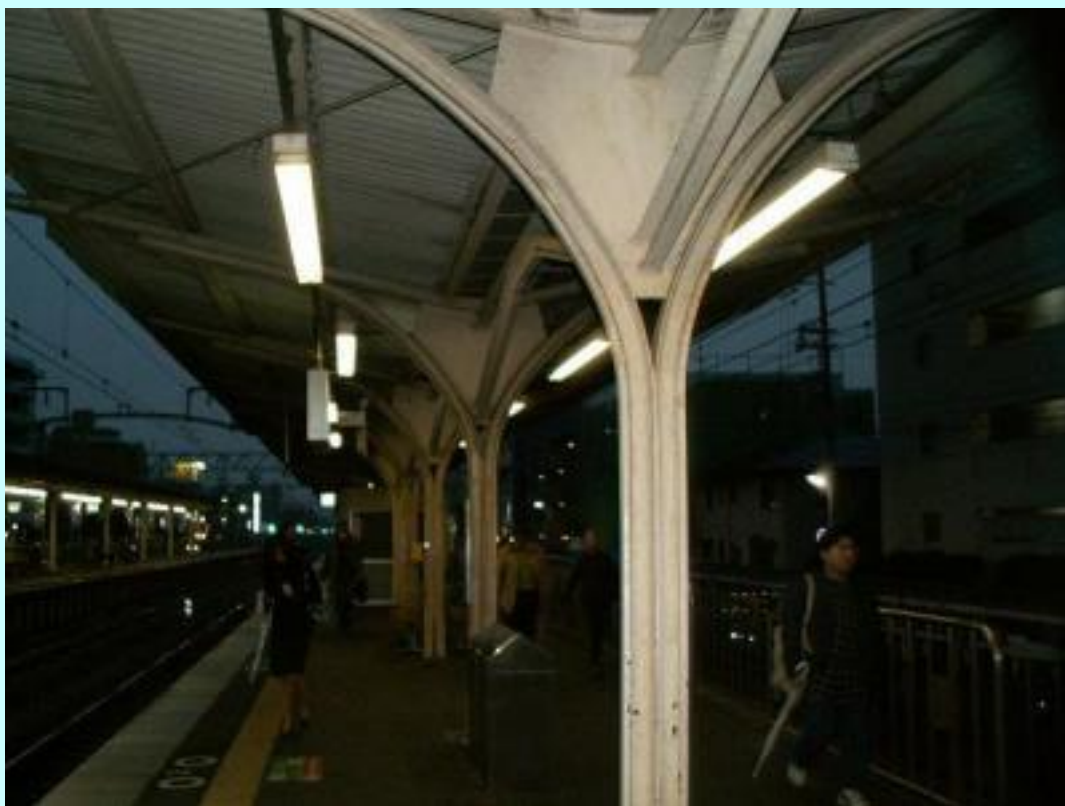
小川さんの写真貼り付けます。

摂津本山駅のレールの駅舎はおまけ。

平生さんの業績に、終戦まで 500 万トンの鉄鋼生産を維持したことがあるとの事。

レールは鉄道以外に炭鉱の坑道の落盤防止などに使われ戦後復興の基盤に。

レールつながりで。



武漢から電話がありました

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009年11月20日(金)23時14分30秒

登山活動を無事終了した山本君から電話がありました。

のどを痛めている様子で、声がかすれていました。

「若い(神戸大の若手のメンバー)に付いてゆくのは大変骨が折れた」とのこと。

「皆さんによしくお伝えください」とも。

雨宮さんの書き込みのとおり、彼からも 27 日関空へと伝えてきました。私も迎えに出たいのですが仕事の都合でその時刻にはムリで申し訳ない、と話したら、「いいですよ」との答え。

神戸大の山田さんによると

「上部の行動を大きく支えてもらいました」

「神戸大隊のアタックパーティの帰着は山本さんのサポートなしでは難しかったです」

「声のかすれは激しい呼吸による喉の乾燥が原因のようです」(高所の大気は湿度が極端に低い)

通信の状態がベストではなく、あまり沢山の情報は得られなかったのですが、うれしい電話でした。

小川さんの講演

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009 年 11 月 20 日(金)21 時 44 分 46 秒

小川さんが学園祭にあわせて講演されます。

ネットで調べ物をしているときにたまたま目に付きました。

平生先生のこと为中心のようです。

(甲南では平生先生と呼ばず平生さんが正しい、と小川さんがどこかで書いておられましたが、ちょっと収まりが悪いので「先生」にします)

お近くの方、出席いかがですか。

日時：平成 21 年 11 月 22 日(日)《摂津祭期間中》

場所：甲南大学 3 号館 7 階 第一会議室

内容：第一部 公開講演会(14 時～16 時)

『今こそ、生かせ平生学』

講師：小川守正先生

モト情報は下記の URL です。

<http://ko-shikai.jp/katudou.html>

カンリガルボ登山隊

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009 年 11 月 16 日(月)17 時 54 分 5 秒

先日の日本山岳会関西支部の飲み会の時、神大山岳会の方に""何故、第二次アタックが出なかったのか""と礼を失しない程度にお聞きしました。

食料の残り具合とか、色々背景が有ったようです。

神戸新聞外の多くの新聞報道に、山本兄の字がないのは寂しいですが、

無事登山活動を終了出来た事、これが何よりと思います。(プロの登山家グループの PARTY 成れば別でしょうが。)

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2009 年 11 月 16 日(月)15 時 05 分 54 秒

山本 恵昭君は神戸大の皆さんと 11 月 27 日に帰国します。
フライトは以下で フックス。

ISHIMARU/SHOJI MR

YAMADA/TAKERU MR

KONDO/KOICHIRO MR

YAMAMOTO/SHIGEAKI MR

YAZAKI/MASANORI MR

11/18 CA4404 Y ラサ〜成都 11:10-12:55

11/18 CA4587 Y 成都〜武漢 18:40-20:25

11/24 CA1342 Y 武漢〜北京 8:05-10:00

11/27 CA161 Y 北京〜関空 16:05-20:10

(無題)

投稿者：管理人 投稿日：2009 年 11 月 16 日(月)14 時 14 分 48 秒

神戸大学遠征隊の写真をアルバムに U P しました。

連絡の一部 転載

投稿者：塩崎将美 投稿日：2009 年 11 月 16 日(月)11 時 33 分 15 秒

先ほどの電話でご依頼いただいた写真を送付いたします。

(See attached file: 日本側隊員 6 人-BC.JPG)(See attached file: Camp-1_近藤昂
一郎.JPG)(See attached file: Summit-近藤昂一郎.JPG)

近藤は「雪庇を乗り越えたら頂上だと知って無性に登りたかった。」と後で言っていました。それで「頂上です!と
ても感動しています」と言った言葉が出たようでした。

矢崎は「苦しかった。もうしばらくはラッセルはしたくない」とむしろ苦しさが大きく無事に C3 に帰還したとき、「ほ
っとした」と表現していました。

写真、使えるとよいのですが。

連絡の一部 転載

投稿者：塩崎将美 投稿日：2009 年 11 月 16 日(月)11 時 24 分 47 秒

皆様

本日夕刻 拉薩に戻ってきました。途中、日多温泉という 7 世紀ころからの古い歴史
のある温泉の温泉プールで日中いっしょにわいわいと賑やかにスイミングを楽しんで来ました。なにせ標高
4350m でしたので 25m 泳いだら温泉当たりか高度の影響か、ふらふらしましたが。

さて、いろいろと報告が遅れて申し訳ありません。Battery の問題で万一の場合を考えて衛星電話は極力使わないようにしました。充電の問題は反省点ですので今後のためにまた詳しく Report したいと思います。

1) 登頂の写真

(See attached file: KG-2 頂上_矢崎雅則.JPG)(See attached file: KG-2 頂上にて 2009-11-7-15 時 36 分_近藤.JPG) 実はなかなか大変な登頂でした。二人が午後 8 時、C3 に帰還できたのもぎりぎりの線でした。

登頂もリミットと考えていた PM3:00 で頂上を目前にして退却指示を出しかけた山本登攀リーダーを遮ってあと 30 分頑張れ、と鬼の隊長命令を出しました。高度障害が明らかな矢崎を死に追いやったかも知れない、と今思うと本当にぞっとします。二人が無事でいるのが本当にうれしく思います。

そんなわけで二人には余裕がなく、頂上の写真はこの 2 枚でご容赦ください。

また、ガスで視界も悪く、Video で 360 度ぐりと廻し撮っていますが、他に高いところがないので登頂の証拠にはなりますが、こちらも映像としては見えそうにありません。

2) 登頂の知らせ

11/5 の中国隊のアタックはずば抜けて強いデチンとダントが食料、燃料の補給が心配な点と天候の不安定から、この日が best と考えた結果です。日本側は高度順化とアタック時間の点から C2 からは頂上には達し得ない、と判断し C3 建設にもう一日かけました。董さんは合同隊だから是非いっしょに登頂しようと、実に協力的でしたが、我が隊員の實力に照らして先に中国側に登頂してもらうように私が提案し、納得してもらいました。

そして中国側の登頂直後に衛星電話で登頂の報告を武漢にするように勧めました。

董さんは日本側の登頂を待って電話する、とその日には武漢へは報告していません。そして 7 日の登頂後、武漢に衛星電話で知らせてくれました。それから山形先生に私が電話を入れた次第です。中国側の面子を大事にしたつもりです。

彼らと一緒になければ今回の登頂成功はありえなかったと思っています。

隊の帰国日程

11/18 拉薩⇒武漢 ----6 人と中国側全員いっしょに飛行機にて

11/22 平井先生に同道して井上が帰国

11/24 山田 山本 矢崎 近藤 石丸 5 人が北京へ移動

11/27 同 5 人が北京から関空に帰国

以上にてチャイナウイングと今日電話で Flight の変更を依頼しました。まだ確定の返答はもらっていませんが。

KG-2 の高度

デチンたちがリストウォッチの気圧高度計を頂上で確認したとき 6750m を示していた。近藤の GPS は 6805m を示した。 と言うことで GPS がかなりの精度(多分 10m 内外)からこの山は 6805m をこれから主張したいと思っています。

山田 と測量を中国側には内緒でやりましたが残念ながら悪天で三角測量は出来ず、Gps によるポイントと仰角からこの 6805m の検証をやりと思っています。

11/12 Rawu から連絡官に無理をお願いして徳母拉方面に行って三山を眺めに行きました。幸いにも晴天で KG-2 の立派な姿を見ることが出来ました。阿扎富士と言ってもよいすばらしい姿に改めてほれました。ルオニイに決して負けない山です。高さも似たりよったりに思えました。 写真をご覧ください。

(See attached file: 阿扎富士と呼びたい KG-2(6805m).JPG)(See attached file: Ata-3_sisters_demora.JPG)

“苦闘 未踏峰制した”

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 11 月 16 日(月)09 時 58 分 30 秒

朝日新聞 神戸版に掲載されていました。

やはり“甲南”の名がないのは……



連絡の 転載です

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2009 年 11 月 11 日(水)21 時 51 分 8 秒

先ほど、6 時前に拉古に着いた井上さんと山田さんから電話がありました。今後は携帯が通じるので、いつでも双方から連絡できます。

日本人はけがなど一切なく、全員元気とのことでした。

中国人が 1 人捻挫しましたが、古傷が再発したとのことでした。

祝賀会のことですが、20 日の午前中に中国地質大学で式典、午後にはパーティー

をするとのことでした。

下山報告の転載

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2009 年 11 月 11 日(水)15 時 10 分 29 秒

皆様

先ほど 14 時 30 分に、拉古に待機しているチベット登山協会の Mr. Dawa さんの携帯に電話し、何か情報を知っているか尋ねたところ、「本日 16 時頃に日本と中国の隊員全員が無事に拉古に戻ってくる予定になっている」とのことです。

Dawa さんは、登頂に成功したことも知っていました。

今日は然烏のホテルに宿泊する予定だそうです。

色々皆様にご心配をおかけしましたが杞憂でした。

本当に良かったです。

取り急ぎ、ご連絡します。 山形裕士

(しばらく連絡が途切れ やきもきしてました。良かった。 雨宮)

Re: 登頂 現地通信を転載

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009 年 11 月 8 日(日)20 時 56 分 11 秒

> [No.920\[元記事へ\]](#)

雨宮さんの掲示を見て神戸大学隊の成功を知りました。

仲間としては山本君もピークに立てればよかったのになあ、と思いますがまずは登頂おめでとうございます。

学術調査や現地での交流授業など残りの仕事もありますが、大きな目的は達成ですね。

全員無事に帰国されることを祈ります。

ところでこの週末、安井さん・塩崎さん・浪川さんと小生は日本海で宴会。

ピントがイマイチですが雰囲気が良いのでこの写真を貼り付けます。



登頂 現地通信を転載

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2009年11月7日(土)18時31分2秒

本日（7日）16時50分に井上隊長から電話がありました。

本日、現地時間15時36分（日本時間）16時36分、矢崎隊員と近藤隊員がKG-2に登頂しました！！！！おめでとうございます。

一行はC3を午前8時に出発しました。朝は天気が良かったですが、午後から曇りとなりました。6,440mまでは順調でしたが、その後、難しいルートで頂上直下の雪庇を先ほど突破し、登頂しました。

登頂時は天候が悪く、現在、下降を始めています。約3時間でC3に到着すると思われます。サポート隊の山本隊員、石丸隊員はC3で待機しています。

中国隊5名は朝4時半にC2を出発しましたが、1人が膝を痛めたために全員がC2に戻り、さらにC1からABCに負傷者を降ろしています。

デチンとダンターは、万一のときの日本隊のサポートのためにC2に残ってくれています。

その後、山田副隊長と話しました。

「全員が持てる力を精一杯に発揮した。1人が欠けても登頂できなかった。隊長も10日間、連日荷上げで頑張った。自分も精一杯やった。山本隊員は上部で皆を指揮してくれた。石丸隊員も精一杯やった。中国隊とも助け合って登頂できた。」とのことでした。

頂上アタックはこれで終了し、明日から撤収を開始します。

今後の予定は、追ってまた連絡するとのことでした。

少し早目の忘年会

投稿者：柏 敏明 投稿日：2009 年 11 月 5 日(木)08 時 15 分 48 秒

11 月 3 日 小生の上京に合わせて持って貰った早目の忘年会に参加させて頂きました。場所は J R 横浜駅のすぐ近く、飲み放題の創作料理のお店。出席者は米山さん、越田さん、飯田さん、水渡君そして小生の 5 名。6 時から開宴、この冬に何故か好き好んでマイナス 30 度のモンゴルへ行かれる方の話から始まり、パキの情勢や山本君の状況、来年のヒマラヤの計画、前向きの話ばかりでなく、近況や思い出話、ボケが進んでいる話まで、笑いと驚きの連続で気が付いたら 10 時を過ぎていました。楽しいひと時を有難うございました。



本のご案内

投稿者：平井吉夫 投稿日：2009 年 11 月 3 日(火)13 時 23 分 1 秒

かつて(1985 年) 自由国民社から刊行された『日本の山の名著・総解説』の前半部が、このたび形を変えて『山の名著 明治・大正・昭和戦前編』として同じ版元から刊行されました。11 月 10 日前後に発売の予定です。編者・近藤信行ほか 10 名の執筆者に私も入っています。旧版より読みやすく改訂されています。ご一読くだされば幸いです。 平井吉夫

カニ

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009 年 11 月 1 日(日)22 時 39 分 44 秒

恒例のカニ・キノコの会、今年はキノコの山本先生が不在で、カニだけの会になりました。

私は、土曜日所用があり神戸を 15 時頃の出発になります。

遅れて参加ですが、よろしくお願いします。

土曜・神戸・15 時頃発 / 日曜・神戸・12 時頃帰着 で都合のつく方、ご一緒いかがですか。

ちなみにキノコ博士の山本君は、森林生態系のなかでキノコが果すセルロース分解についての研究で修士論文を書いています。(〜だそうです。私は読んだことないのですが)

その山本君のチベット、11/4 に稜線上に C3 の建設予定。

<http://kangrigarpo.blogspot.com/> に経過が出ています。

Re: 訃報・津田昌男さんのこと

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 10 月 29 日(木)23 時 09 分 54 秒

> [No.901\[元記事へ\]](#)

> 津田 昌男 様（旧制 18 年理）が去る 10 月 5 日 85 歳で逝去されたと御子息である津田 武様よりご連絡がありました。

> ご冥福をお祈り申し上げます。

甲南山岳会員としては異色の経歴をお持ちの方で、東京での山岳会の集まりには何時も聖公会の司祭服姿で出席されていました。

山嶽寮第 50 号(1995 年)にご自身が書かれた経歴によりますと、戦時中に甲南を卒業され、阪大工学部卒後、海軍航空廠勤務中に終戦。戦後は川崎車両に勤務。数年後に退社され宗教人への道を歩まれました。昭和 28 年からカリフォルニア州バークレーの聖公会太平洋神学校に留学して司祭になられ、帰国後は、神戸、米子、大阪、沖縄、東京などに赴任されています。(たしか米子時代に鶴木君か八島君が訪ねたとか)

晩年は丹沢の麓の寄（ヤドリギ）に住いを移され、存分に山歩きをなさることを楽しみにされていましたが、パーキンソン氏病や、食道癌など相次ぐ病の為、その願いも叶わずじまいで、山嶽寮 62 号（2007 年）の会員短信で、足のもつれで一人での外出が不可能になった、との最後の消息を寄せられています。

先日、比較的年齢の近い福井グリーンさんと電話で話したところ、高校時代によく岩登りなど山行を共になさったとのことでした。戦時中のことで部報の発行も途絶えていたので、記録としては残っていないのが残念です。

奥多摩・御前山

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 10 月 29 日(木)14 時 20 分 24 秒

10月27日(晴)、奥多摩湖の南岸、奥多摩三山のひとつ御前山 1404m に登りました。前日もうひと山予定してましたが雨の為中止し、午後に奥多摩湖畔の温泉民宿「あたみ荘」に。風呂上がりに窓際の炬燵で、雨に煙るダム湖と対岸の山々を眺めての一杯は格別のものでした。@ ¥ 6,500-。旦那に先立たれて一人で宿を守る女将さんの気立ても良く、翌朝は車で登山口のダムサイトまで送ってくれた。

ダムサイトから稜線づたいにサス沢山 940m、惣岳山 1341m と縦走して、標高差 900m、3 時間余の登りで御前山に。今年の紅葉はもう一つパツとしないが、北に奥多摩湖と東京都の最高峰雲取山、南に丹沢山塊などが望まれ眺望には満足。

静寂の頂上と思いきや、何と 2 1 名のおばさん中心の賑やかなガイド付き後続パーティあり。一行は到着するや、ここで休憩 2 0 分です、その間に食事をして下さい、の指示あり、景色を楽しむ暇もなくそそくさと下山して行った。スケジュールより遅れていたのか、勿体ないことです。そして再び静寂に。

下りは、ダムより下流の境橋バス停へと 1 0 0 0 m を 2 時間で下ったのでバテバテ寸前だったが、奥多摩駅 2 階の食堂での生ビールで生き返った。同行は J A C の大橋（国学院 O B）、絹川（学習院 O B）の 2 氏でした。

Re: 扇の山とカニ

投稿者：管理人 投稿日：2009 年 10 月 29 日(木)08 時 16 分 7 秒

> [No.912\[元記事へ\]](#)

浪川さんへのお返事です。

幹事ご苦労様です。

参加させていただきます。

車出します。同乗希望者は連絡ください。

塩崎

p s : カニは解禁 3 日目、セリ値は少々高いかも？

扇の山とカニ

投稿者：浪川 投稿日：2009 年 10 月 28 日(水)22 時 50 分 49 秒

恒例行事カニキノコの会を 11 月 7～8 日に行います、但し名幹事山本恵昭君不在の為扇の山散策（キノコ取り中止）とカニに変更いたします。7 日昼扇ノ山散策紅葉狩、浜坂に移動温泉白馬公園東屋で大宴会、8 日浜坂漁港でセリ見学と取れたての松葉カニ買付特にセコカニがお勧めです。参加希望（車も手配いたします）の方は掲示板でお知らせください。

Re: 写真電送、阿部純一さん関連

投稿者：管理人 投稿日：2009 年 10 月 28 日(水)22 時 03 分 37 秒

> [No.910\[元記事へ\]](#)

廣瀬さんから届いた写真をアルバムにＵＰしました。

写真電送、阿部純一さん関連

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009年10月28日(水)19時32分27秒

塩崎W. M A S T E R殿、亡き阿部純一さん、故福永隆一さん、弟の故福永コブクが写ってる写真一枚を送りましたので、掲示方、宜しくお願いします。

S 2 7 年 1 9 5 2 年の八方尾根黒菱平での集合写真。阿部純一さんは後列右から二番目。c h i e f l e a d e rとして苦労されたとぞんじます。

追憶(故柏秀樹先輩の写真)

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009年10月25日(日)19時24分7秒

アルバムにＵＰして貰った写真は1979年（s54年）10月20日、馬場島にてのもの。亡きデカブクさん(福永隆一さん)の23回忌の時の記念写真。

カシワさんとは一緒に山に登った事がなく、記憶に有るのは全て下界でのことです。

あるK A Cの集会で；時報が何かの原稿集めの為に、カシワさんが中心に成られた集いが有りました。其の席で言われた言葉を思い出します。

「原稿に誤字、脱字が多すぎる、もっとシッカリ書いてくれ」この様な事を言われました。心当たりのある小生は、国語の先生に

注意された様な気になったものです。昔の先輩は叱るところはキツパリト叱られた。

先輩は「K A C 4 0 周年記念号」と故福永隆一さんの「追悼号」の編集責任者として大変な労力を費やされた事と拝察申し上げます。感謝です。合掌

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2009年10月25日(日)08時33分56秒

広瀬さんから写真が届きましたアルバムにＵＰしました。

写真電送

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009年10月24日(土)10時46分35秒

塩崎w. m a s t e r殿、後一枚は送り損ね、新たに送りますので宜しく。

亡き柏秀樹先輩が映ってる馬場島でのデカブクさん(福永隆一氏)の23回忌の時の写真です。

荒船山のこと

投稿者：越田和男 投稿日：2009年10月23日(金)17時23分34秒

今週は、会社仲間と上信国境の荒船山の麓にある鉱泉宿に一泊してきた。この宿は20数年前、やはり荒船山を甲南の仲間と登った折に泊まった宿で、当時山間のうらぶれた一軒宿だったが、いまは改装されて小奇麗になり「初谷温泉」と呼ばれ、「日本秘湯を守る会」の会員旅館。平日なのに結構客があった。

先月、この山の有名な断崖絶壁「トモ岩」からアニメ作家の臼井儀人が謎の転落死されたことはニュースで知っていたのだが、宿の主人が云うには、それ以来えらい登山客が殺到して、休日などは登山口の駐車場が満パイになって道路にはみ出すしまつ。

今の熟年中心の山ブームの有名指向の表れでしょうか。我々が登った時は五月の連休中だったが、静かなものでした。伊藤文三さん、大関、飯田と一緒に。トモ岩の上に立ち足がすくんだのを思い出した。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2009年10月23日(金)16時41分49秒

廣瀬さんと浪川君から届いた写真をアルバムにUPしました。

遅くなって申し訳ありません。

廣瀬様

写真は1枚ですか？2枚送られましたか？

何か開けないファイルがもう1個添付されてるのですが。

お三人の思い出

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009年10月22日(木)07時08分57秒

KACの写真を見ていると、亡き阿部（純一）柳沢 柏（秀樹）先輩の在りし日のお姿／話しぶりが鮮明に浮かんで参ります。夫々にお世話に成っているので記する事は沢山ありますが、今日は柳沢正さんと過ごしたサンフランシスコの楽しかった一夕の事に触れます。塩崎W. MASTERどの、写真送りますので宜しく。

1986年10月、米国出張の際SFに泊まり、彼の地の丘の上の、マークホップキンスと言う由緒あるホテルの最上階のラウンジで、奢って貰いました。素晴らしい夜景も印象的でしたが、リュウさんが""ジャック ダニエル""と大変個性的な発音でこのウイスキーを注文され事、車を運転して40分程先の自宅に帰られるので、心配した事、思い出します。""何の なんの""と云われながら、いきよい良く車を発進されました。

ラウンジからの下りのエレベーターの中で、大阪弁でワイワイ喋っていたら、同乗の正装の風格のあるアメリカ人らしいレイが、何やら厳しい口調で文句を言っているの、先輩に内容を聞くと""「此処はアメリカや、騒ぐならアメリカ語で話さない」と云うてまんねん、このホテルは戦後、吉田茂総理率いる講和条約締結全権団が泊まった名門のホテルなんや""との説明でした。流石のリュウさんも、この時ばかりは""しょうが おまへんナア""と、やや照れた表情で話されたものです。写真を見ていると、ついにないだの出来事のような錯覚に落ちいます。皆様の御冥福をお祈りします。

合掌

兵庫県山岳連盟イベント案内

投稿者：武田 雄三 投稿日：2009年10月19日(月)00時19分57秒

恒例の「講演と山のスライドの夕べ」が下記の通り開催されます。前売り券（1枚500円）が私の元に届

いておりますのでご希望の方は掲示板 O R 武田宛連絡下さい。

記

1. 日時 平成 21 年 11 月 19 日 (木) 午後 6 時 30 分開演
2. 会場 王子動物園ホール (神戸市灘区王子町 3-1 動物園東側)
3. お話 「登山事故を見つめる」全てが変る瞬間
講師 関西大学総合情報学部 青山 千彰 教授
4. 抽選会 アウトドア用品の当たる抽選会
5. 入場券 前売り券 1 枚 500 円

申し訳ありません

投稿者：塩崎将美 投稿日：2009 年 10 月 18 日(日)19 時 09 分 41 秒

浪川君が下の廊下の写を送ってくれたらしいのですが私は今大山の小屋で遊んでいます。ここにはパソコンがありません。23 日に神戸に帰りますからそれからの作業になります。遅くなり申し訳ありません。塩崎

訃報

投稿者：井上 知三 投稿日：2009 年 10 月 17 日(土)11 時 55 分 52 秒

事務担当よりお知らせ致します。

津田 昌男 様 (旧制 18 年理) が去る 10 月 5 日 85 歳で逝去されたと御子息である津田 武 様よりご連絡がありました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

黒部下の廊下

投稿者：kannroku 投稿日：2009 年 10 月 17 日(土)11 時 45 分 29 秒

紅葉時期に黒部下の廊下歩いて見たく思っていたのを、今回実現のはこびとなった。

駒王の例会の時期を避けようと思ったが、混みそうな事と 11 日全行程黒四～樺平までが、整備されたとの事で、12 日からの出発とする。

10 月 12 日(月) 晴れ

大阪 8 時発の高速バスで松本に(13:30 着)。松本～(JR)大町～(バス)扇沢～(トローリーバス)黒部駅 16 時 16 分着
これよりダム湖を見ながらロッジくろよん(……)に(17 時過ぎ着)。宿泊者 12 名、テント泊 3 名？ これらの人達は皆、下の廊下を歩くようだ。

10 月 13 日(火) 晴れ後曇り

5 時 30 分出発。黒部ダムの堰堤を渡り、トローリー駅を 10 分程阿曾原よりに登山道の目印があり、トンネルの外に出て一気に 180m の高低差を降る。ちやちな 100m 程の橋を左岸に渡る。これより樺平迄ほとんど左岸沿いを歩いて行く。

高い所で 100m を優に超える所もあり、切り立った道は緊張の連続であった。内蔵助谷出会いから小西さんの初登攀した別山尾根、また大タテカビンが前に迫っている。 (黒部三大岩壁 上流より*丸山東壁*大タテカビン南東壁*奥鐘山西壁)

最後まで雪渓が残る黒部別山谷出会で阿曾原から登って来た 2 パターと出会う。最近付けられた梯子を上ったり降りたりと。岩壁のへつりでは、人の交叉もままならず、どちらかが譲ることに。この辺りから下流の白竜峡までが一番の難所と言える。

ここを過ぎれば十字峡・S字峡と荒々しい渓谷が見られる。あと10日もすれば紅葉と重なり美しい自然美が見られるだろう。

S字峡の下流の東谷吊り橋を渡り仙人ダム、高熱隧道を過ぎれば100mの急登して、しばらく水平に歩いてから降りきれば阿曽原温泉小屋。

きょうは68名の宿泊客。仙人池からと樺平からの人達で満杯。紅葉最盛期は100人から来るらしい。

5:30 出発～15:30 着

10月14日(水) 晴

れ

6時出発小屋の出だしの登りを過ぎれば後は水平道の名前の通り、黒部本流の150mほどの高さを本流の蛇行通りの道を黙々と歩くのみ。昨日の緊張感はなく安心して歩ける道である。右岸にある400mの奥鐘山西壁は逆スラブ状でおおきな岩壁である。

6:30 出発～11:10 着 11時45分のトロッコ電車で帰阪する。

今回学生時代に足跡を残された小西さんの見識ある各箇所の説明をして頂き楽しい山歩きが出来ました。ありがとうございました。

また現役時代牧野さん、大関さんで行った内蔵助平から下の廊下への岩壁に進めなかったのが悔やまれます。 参加者 小西(関学)・Donnkichi・森本

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2009年10月17日(土)11時15分2秒

井上君から秋の集会の写真が届きました。

アルバムにUPしました。

ガチャから褒められた

投稿者：平井吉夫 投稿日：2009年10月16日(金)23時01分9秒

ガチャから過分なお褒めの言葉をもらって恐縮しています。中学1年から高校3年までガチャにしごかれ続けた私としては、ガチャからこんなに褒められるなんて、めったにない欣快事でありまして、最難関の岩場を登りきったような気分です。70歳まで生きていた甲斐がありました。いま私はメスナーの本を翻訳中ですが、おかげでぐんと気合が入りました。感謝、感謝。 センキチ

山嶽寮(+甲窓)

投稿者：越田和男 投稿日：2009年10月16日(金)11時06分5秒

駒王も含めて4泊5日の旅から帰ったら山嶽寮が届いてました。編集の福田さんを始めご尽力の方々に先ずは厚く御礼申し上げます。

じっくり楽しみながら読んでいます。追悼文が多いのは悲しいことですが、その中に会の歴史や伝統、会員間の深い友情が読み取れて貴重な読み物となっていますね。

次号には比較的若い方々の投稿や、大学の現役山岳部の活動報告が復活されるのを期待したいところ。

もちろん山本恵昭君のチベット紀行が楽しみです。福田さん、どうかよろしく。

ついでですが、現在配布中の甲南学園同窓会誌「甲窓」第52号の55ページに、伊藤愿さんの遺稿集「妻におくった九十九通の絵葉書」の紹介拙稿が掲載されてますのでご一読ください。

ノーチラス

投稿者：田邊 潤 投稿日：2009年10月15日(木)14時23分35秒

仙吉訳のノーチラス全12巻を読み上げました。

もともと私はSFはあまり好きではないので、最初は少しうんざりしながら読んでおりましたが、途中から作者ホールバインの思想に気が付き、それから大変面白く読み進むことができました。特に最後の第12巻のほぼ最後に出てくる「過去を変えることはできない」という言葉にこの訳本のすべて、そして作者、訳者の哲学のすべてが凝縮されているように思いました。仙吉には失礼かもしれませんが、ドクトルマゼブでは少し横道にそれたものの、彼の学生時代からの一貫した思想(哲学)を理解することができました。それに気がつき始めたのは「ジンメル」の各小説からですが、それまでにいただいた彼の訳本から、そして今回取りそろえたノーチラスまでを振り返って、彼が選んで訳本していることに気がついたのです。その底流にあるのは「人類愛」ではないかと考えます。こんなに、えらい人物が友人に居ることを誇りに思いますし、哲人仙吉に敬意を表します。ガチャ

立山 黒部

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009年10月15日(木)08時50分49秒

病み上がりのセンキチ、カンロクよく遠征する元気が有りますね。回復は目出度いことです。
横山ケルンの写真見たいものです。

下山いたしました

投稿者：kannroku 投稿日：2009年10月14日(水)22時50分4秒

黒部下の廊下楽しんできました。14日小西・Donnkichi・森本元気で歩いてきました。
後日写真と報告を致します。

立山は雨と雪

投稿者：越田和男 投稿日：2009年10月14日(水)12時01分56秒

駒王集会の前の2泊3日の立山は、台風一過の秋晴れを期待したものの見事にはずれ。それでも室堂乗越の横山ケルン訪問を果たし、立山、剣の雪景色も楽しめました。

50年ぶりの奥大日は、室堂乗越からワンピッチ行ったところでミズレが激しくなり断念。翌日予定の一の越を越えて黒部平への下降も、アイゼンを持っていなかったこともあり断念。再訪の機会を是非つくりたいものです。病み上がりの平井と、腰痛の小生のスローペースに付き合ってくれた石原に感謝。

雷鳥荘は温泉良し、床暖房、トイレはウォッシュレット、個室もとれて快適。以前の場所より一段上がった丘の中腹にあり、見晴らしも良い。アルペンルートの高いのにはびっくり。扇沢の有料駐車場のすぐ隣に無料駐車場あり便利。

黒部／くろよん／奥大日

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009 年 10 月 12 日(月)18 時 17 分 0 秒

くろよん／奥大日、アナ懐かしや！！、50 年前の春、当時の伊丹リーダーと奥大日を
アタックせしも、突如伊丹さんが、痙攣をおこされ、登頂不可でした。残念至極なり。

黒部下の廊下へ

投稿者：kannroku 投稿日：2009 年 10 月 12 日(月)05 時 35 分 24 秒

今日から 2 泊 3 日で歩いてきます。

1 2 日大阪～ロッジくろよん 泊

1 3 日ロッジくろよん～阿曽原温泉小屋 泊

1 4 日阿曽原温泉小屋～樺平～富山～大阪

30 km の道のり、紅葉をみながら歩いてきます。雨に合わない事を願って。登山道は台風の影響もなくおお
むね整備完了とのこと。

メンバー 小西(関学)・Donnkichi・森本

泉南の山

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009 年 10 月 11 日(日)10 時 33 分 4 秒

""清清し スズキたなびく 秋の山""この辺の山は初めて、遠くに六甲山も
望め、又違った景色が新鮮でした。同道の森本・柏兄、冷凍ビール、美味しいラーメン、
有難うさん。

カンロク／カシワヘ：ハンガリーのゼリイは賞味期限ないです、乞御安心。ジョウダン
が過ぎましたね。

泉南の山

投稿者：kannroku 投稿日：2009 年 10 月 10 日(土)23 時 11 分 19 秒

今日 10 日山本恵昭君を見送りに行ってから、柏君の案内でポンさんの 3 人、和泉山脈の大阪府で二番
目に高い岩湧山(イワワキサン)897m に登ってきました。この 7 月にも柏君の案内で金剛山に登り泉南の
山も二度目ですが六甲や比良山と違った山の姿を感じました。車をフルに使ってのルートを選び岩湧寺から
急坂の道を登り(1 時間)、いわわきの道おりる(1 時間)ルートを楽しんで来ました。登山道は整備された杉
林を登り、頂上はスズキがたなびく中での昼食を。

頂上からは大阪平野、六甲山系、淡路島と素晴らしい展望を満喫致しました。

山本君は元気よく自信に満ちた顔で出発。安心して見送れました。



山本君の出発

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009年10月10日(土)16時30分36秒

山本君がチベットへ出発しました。

甲南から、廣瀬さん森本さん柏さん平井さん大森の見送り。

写真を貼り付けます。

左から二人目は神戸大の居谷さん。事務局井上さんと同時期の方で、「知三さんによろしくお伝えください」とのことでした。(香月さん・横山さんの慰霊祭にもおいででした)

右端は山本令夫人。

当の山本君はいつもどおりにこやかに通関に向かいました。山本君よりもっとにこやかな方が井上隊長。(2枚目)

3枚目は搭乗のボーイング737、ちょっと小ぶりの飛行機で離陸してゆきました。





明日出発です

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年10月9日(金)21時07分47秒

先ほどやっとパッキングが終わりました。

このたびの遠征に関して、沢山の方々からご支援や励ましをいただき、本当に有難うございます。

神戸大山岳会・甲南山岳会をはじめ、いろいろな方々との出会いがあり、山を通してまた私の人生が豊かに広がったことを実感しています。

いよいよ明日出発です。安全第一で、思いっきり楽しむことができます。

久しぶりに立山

投稿者：越田和男 投稿日：2009年10月8日(木)22時20分21秒

駒王の前々日と前日、黒部アルペンルートなるものに乗って立山に行ってきます。

雷鳥荘2泊で、室堂乗越の横山ケルン経由奥大日へ。二日目は一ノ越経由黒部平など。メンバーは平井吉夫と石原の三名。

奥大日は50年前の3月に番場島からの極地法で、頂上直下の巨大な雪底を賀茶さんにひっぱり上げてもらって以来です。台風一過の好天を期待したいところ。

(無題)

投稿者：福田信三 投稿日：2009年10月8日(木)18時45分19秒

今日は10月8日、前投稿が10月1日、丸々1週間のブランク、ちょっと寂しい気がしましたので、戯言を一言。

日常の近々の移動は125ccのバイクです。オイル交換に初めてのバイク屋へ。

若いお兄ちゃんが”すぐ出来ます”の一言に”頼むわ”すると、オイルを抜いている間にタイヤの空気圧、ライトや左右の点滅、ブレーキのチェック。”こいつ、点検料1000円と言うやろなあ”しばらくして”はい、終わりました、1000円です。”

最近稀に見る、安くて気持ちの良い店でした。

山本さん、皆さん明日と明後日の出発ですね。

無理をせずに頑張ってください(無理?)

、

Re: カンリガルポ特集 現地からのブログ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年10月1日(木)22時44分12秒

> [No.882\[元記事へ\]](#)

励ましのお言葉、有難うございます。

以前にも記載しましたが、ソーラーパネルと衛星電話、パソコンを持っていますので、現地からのブログを見ることができる予定です。よろしければ時々見てみてください。

<http://kangrigarpo.blogspot.com/>

カンリガルポ特集

投稿者：福田信三 投稿日：2009年10月1日(木)22時17分28秒

山本さん
体調良く出発してください。
来年の山嶽寮は“カンリガルポ特集”と決めました。
情報をドンドン送ってください。

Re: 山本君出発間近

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009 年 9 月 30 日(水)23 時 05 分 57 秒

> [No.877\[元記事へ\]](#)

壮行会には、武田会長、雨宮さん、大森さん、谷くんに出席いただきました。
お忙しい中、有難うございました。
新聞の影響は大きく、山関係以外の沢山の方々から「新聞見たよ。気をつけて。」と電話やメールで励ましのお声をいただきました。有り難いと思っています。
9 月後半になって仕事が忙しくトレーニングもままならない状況ですが、何とか無事に出発できるように 10 日まで調整を心がけたいと思います。

カンリガルポ登山隊

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009 年 9 月 30 日(水)06 時 42 分 34 秒

壮行会の写真や神戸新聞の記事などを拝見してます。K A C のエース山本恵昭
登攀リーダーへの期待は、井上隊長も先般の j a c の懇親会で言われておられました。
常に勇気ある撤退も念頭に、活躍を祈念！！

山屋さんの政治家

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 9 月 29 日(火)17 時 04 分 42 秒

自民党新総裁谷垣禎一さんは、東大スキー山岳部の出身で日本山岳会会員。政治家では極めて珍しい山屋さん。山に登ってばかりで何度も留年したとか。我慢強さが取り柄だとか自分でも云っておられますが、一寸やそとの我慢では自民党の立て直しは難しそうですね。

別にどうということないのですが、ご参考までに政治家で日本山岳会員で思い当たるのは、古くは藤山愛一郎元外相、橋本龍太郎元首相、堂本暁子前千葉県知事（元新党さきがけ代表）といったところ。J A C の会員ではないが、共産党の不破哲三元書記長も相当山好きらしいです。

かつて J A C がチベット側からのエヴェレストに始めて遠征隊を送った時の壮行会に、杖を突いて出て来られ、ご自身の若き日の山と政治家として日中友好にかけた情熱を語られた晩年の藤山愛一郎さんのお姿は印象的でした。

旨いもんコーナー

投稿者：管理人 投稿日：2009 年 9 月 28 日(月)18 時 21 分 3 秒

下記メールが柏さんから届きました。

旨いものコーナーへの投稿の仕方を忘れました。

浪川君が旨いものコーナーへ投稿せよとのことですので、
暇な時に宜しく頼みます。本当に安く旨かったです。

一品料理 三平 柏 敏明 洲本本町4丁目 洲本郵便局近く 0799-22-1522

座敷2 カウンター5 席位

500円から1,500円位の魚料理 刺身、煮付け なんでも安くて旨い。

(土産に何故かバナナを貰う。)・・・不要

柏

山本君出発間近

投稿者：福田信三 投稿日：2009年9月28日(月)13時57分15秒

カンリガルボ山群登頂隊の壮行会開催の新聞掲載をアップします。

GO,GO! 山本登攀リーダー

これからの情報が楽しみです。

朝日新聞 2009年9月27日 日曜日 神戸版
山本君は井上隊長のすぐ左に

神戸大、チベットの未踏峰「再挑戦へ」

「必ず登頂」と決意

チャレンジャー精神で必ず登頂を果たす。神戸大学で28日、中国チベット自治区の「カンリガルボ山群」の未踏峰(推定標高6700m)に挑む前山本登山隊メンバーら。登山者の壮行会が開かれた。7人は、神戸大学大学院教授の山形孝士さん(59)「実行委員長」▽会社社長の井上達明さん(50)「隊長」▽専攻員の山田隆さん(41)「副隊長」▽高校教員と、大きな拍手が起きた。最年少の石見さんは朝日新聞の取材に「緊張しています。が、めったにないチャンスを、何としてでも成功させたい」と語った。

神戸大山登山会は05年、同山群最高峰「ルオニイ」(標高6884m)に挑戦したが、悪天候などで断念。今回登頂を目指す未踏峰はルオニイ近くにあり、07年秋から植雪隊を派遣するなどして氷河やクレバス(断れ目)、自然障礙について研究を重ねてきた。

7人は10月9、10両日に2グループに分かれて日本を出発。中国地質大の10人と合流後、高度4千付近から半ヤンプを乗りながら移動し、11月10日前後の登頂を目指す。

イルカや海の幸 天草の魅力PR
本社総局で観光大使
神戸空港で27日にある「空の日」のイベントを前に、熊本県天草市の観光親善大使を務める石井美恵さん(35)が26日、神戸市中央区の朝日新聞神戸総局を訪れた。

天草エアラインの神戸ー熊本線は今年で就航1周年。イベントでは、天草市の「ハイヤ通り」の賑わいや特産品が当たる「じゃんけん大会」などがある。「天草の海では野生のイルカを見られる『イルカウォッチング』がお勧め。伊勢エビやアワビなどの海の幸もおいしくですよ」と石井さん。

神戸大の石田廣史副学長(前列左)から隊旗を受け取る井上達明隊長(後列は隊員ら)＝神戸市港区



四阿山

投稿者：越田和男 投稿日：2009年9月27日(日)20時52分22秒

先週(9月25日)は、上信国境の四阿山(アズマヤ山 2354m)に登ってきた。南側からのアプローチは、昨年より鳥居峠から林道終点の登山口までの林道が解放されて、往復2時間強の短縮されている。林道入り口に遮断機があるが、それを開け閉めして通れる。

登り3.5時間、標高差800m弱。ルートが二つあり、登りは東ルート、下りは西側の岩経由ルートをとるのが賢明なようだ。深田百名山効果で、平日にも拘わらず1〜3名の少人数パーティに数組出遭った。急登箇所は木道の階段が設置されており、一寸味気ないけれど、結構楽をさせてもらった。

生憎の曇天で眺望はもう一つだったが、少し紅葉が始まったところで、咲き残りのマツムシソウ、エゾリンドウ、アキノキリンソウなどを楽しんだ。熊の出没に要注意とのこと。乗鞍のニュースの後だったので、不本意ながら大橋氏持参のチロルのカウベルをチリンチリンと鳴らして歩いた。

同行の大橋晋、田村俊介両氏はいずれも小生より年配で、70歳で最年少だった小生が一番ユックリペース。年をわきまえて、山頂のワインもほほどに山を下った。大橋氏指導による下山直後のストレッチの効き目抜群、今回は筋肉痛などの後遺症なく快適。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2009年9月25日(金)15時22分53秒

柏さんから淡路島の写真が届きました。

アルバムにUPしました。

淡路島の最高峰

投稿者：柏 敏明 投稿日：2009年9月23日(水)22時45分33秒

先日、森本さん、安井君、浪川君と岡山の鷗木さんに会いに行った帰り、シルバーウィークの計画が話題になりました。既に予定を立てていた安井さん以外は、毎日が日曜日の為、何も予定がありませんでした。帰宅後、小西君が加わってメールでやり取りし、ヨットで淡路島へ行き、淡路の最高峰 論鶴羽山（ゆずるはさん 607.9m）に登ろうと計画したのが今回の山行です。

20日朝、小西君のヨットで新西宮港を出港、明石大橋上の車の数珠繋ぎを遠望しながら約5時間で淡路島南東部の洲本港に入港。浮き桟橋に停泊。町を探訪しながら、東光湯という昔風の風呂屋を見つけ汗を流す。帰り道、三平と云う小料理屋に入り、鯛の造り、カンパチのあらだき、ガシラの煮付け、サザエ、ウニ、たこ飯等魚づくしの夕食。これで酒代込み一人4千円余り。飛び込みで入ったお店だが儲けもの。洲本に行かれたら是非お勧めします。

21日 8時15分港発、レンタカー屋でカローラを借り、国道28号線を南下して30分位で論鶴羽ダムに到着。取り付きを間違い、車で後戻り。4人ともインターネットなどで下調べはしていたのですが、最後は他人任せになっていたのが原因。反省すること大です。40分程口入して10時30分にはやっと論鶴羽山の登山口に到着。10時36分発。25段位のコンクリートの階段を登り、急なガレ場を詰める。こんな道が続いたら嫌だなと思いながら10数分登ると無人の神倉神社に出る。ここからはなだらかな尾根筋となり道も整備されており快適な歩きとなる。小生以外の3人は競うようにピッチを上げ瞬く間に姿が

見えなくなる。いつまでも負けず嫌いの連中である。途中、町目地蔵が一丁毎に立っており、十八丁、十七丁と登るにつれて丁数が減っていくのが楽しみになる道である。木枝のトンネルが続くため、日影となり暑さを感じない。誰も会わないまま 11 時 40 分頂上に着く。皆は 10 分程前に着いたそうである。鳴門大橋が遠望でき、瀬戸内海と太平洋が両サイドに見える展望のよい頂上であった。お旅所で昼食、一等三角点の前で記念写真後、12 時 10 分発。13 時登山口の車に着。福良港を経由して海岸沿いに洲本港へ帰る。

22 日 洲本港を 9 時前に出港。途中、ベラ等を釣りながら 15 時 20 分新西宮港に帰港。山よし、ヨットよし、釣りよし、酒・食べ物よしのシルバーウィークでした。

論鶴羽山(論鶴羽神社)への道である論鶴羽古道は平安時代から修験者の修行の道として拓かれ、黒岩からを表参道、論鶴羽ダムからの登山道を裏参道と呼ばれているそうである。裏参道は近畿自然歩道に選定されており、神戸から日帰り登山が可能なお薦めの山です。

富士山

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009 年 9 月 23 日(水)20 時 14 分 12 秒

今日、富士山から帰ってきました。

初日は水筒の水も凍る寒さ。血中酸素飽和度は地上では 97～99%ですが、山頂付近では 70%に。高山病は、寝ると呼吸が浅くなるためひどくなるとの定説通り、夜に目が覚めると 64%。慌てて深呼吸を繰り返して 80%にしてから再睡眠を繰り返す。

富士山をなめるとダメですね。でも、さすが独立峰、雲海の中のご来光は、なかなか感動しました。

彼方へ

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 9 月 21 日(月)21 時 26 分 4 秒

越田さん

実はネットで検索の結果です。便利な世の中なんでしょう。

ついでに、映画の一部も見ることが出来ます。

http://www.youtube.com/results?search_query=Scream+of+Stone&search_type=&q=f

どうぞ

Re:「彼方へ」

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 9 月 21 日(月)10 時 41 分 33 秒

> [No.868\[元記事へ\]](#)

福田さん、有難う。良く覚えてましたね。

小生まったく「忘却の彼方」でした。

検索したら

1991年、独、仏、加合作

原題「Scream of Stone」

ストーリー：

『ニュー・ジャーマン・シネマの旗手、W・ヘルツォークが登山の世界に生きる男たちにスポットを当てた人間ドラマ。現代登山の父とたたかわれるラインホルト・メスナーをモデルに、自然と人間の壮大な物語を生み出している。垂直の岩壁に覆われたセロトーレ山は、地上で最も登頂が難しいといわれる山。ロッチャはこれまでに二度、この山に挑み失敗している。それだけに彼は慎重になっていたが、ライバルのマーチンはそんな彼の態度に苛立ち、ロッチャの盟友ハンスとともに登頂を決行。だが雪崩でハンスが帰らぬ人となり、マーチンだけが下山。彼は登頂の成功を主張し、一躍名声を手に入れ、ロッチャの恋人の心をも奪ってしまう。友人と恋人を失ったロッチャは傷つき、現地にとどまる。やがて登頂に疑惑を持たれたマーチンが再び、セロトーレ山に登ることを知り、ロッチャは一人ザイルを手にもった岩山へと向かう……。物語さながらの過酷な状況下で撮影された、壮大な大自然の風景が圧倒的に素晴らしい。』

とありました。題はともかく、頂上直下の登攀、パタゴニア独特の掘っ立て小屋の生活など、いろんな画面が思い出せます。平井の書評さっそく本屋で読んでみます。

クマ公

投稿者：飯田 進 投稿日：2009 年 9 月 21 日(月)09 時 05 分 55 秒

豊平にクマが出て 9 人もの人が怪我をして大騒ぎになっていもうね。あんな榛松しか生えていないところまで出てくるとは、山にはよほど餌不足なのですかね。でも他人事とも思えません。この 6 月 不帰岳の南股で釣りをしていて、ひょっこりクマ公に出くわしました。

二股からほんの一キロほど入ったところからです。向こうさんが先に気が付き逃げて行ってくれましたが、同時にでくわしていたら、哀れ老人クマ公に食われる、てな記事が載っていたかも。コッシン気をつけなはれや。

山梨・権現岳

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 9 月 20 日(日)22 時 15 分 5 秒

先週は、9 月 17 日、権現岳 1312m に登ってきました。八ヶ岳の権現岳ではなくて、大月市郊外、甲府に向かう中央線の北側に聳える扇山の北側にある山で、まだ登ってなかったので気になる存在だったのです。熊に遭遇しそうな感じの静かな山でした。

大月から、百蔵山の裏の浅川という集落（よくぞ廃村にならずに生き延びているいるなという感じの最奥の集落）に入り、更に、草に埋もれそうな古い林道の終点まで車を乗り入れてから、浅川峠経由、登り 2.5 時間、標高差 700m の森林浴的な静かな山歩きでした。今年はドングリが豊富なようでした。

唯一出遭ったのが、頂上に突如現れた 70 代前半の単独行のおじさん。地図は持っているのだが、自分がどこから登って来たのかもうひとつ分らない感じの人で、熊対策上はご一緒の方が良かったのかも知れないが、難聴気味だったこともあり、早々にお別れした次第。体力は有りそうだったので、まあいいか。

「彼方へ」

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 9 月 20 日(日)21 時 52 分 40 秒

越田さん、

「彼方へ」ではありませんか？



Re: メスナーの書いた『トーレ 石の叫び』について

投稿者：越田和男 投稿日：2009年9月20日(日)21時40分13秒

> [No.865\[元記事へ\]](#)

セロ・トーレは凄い山です。山と云うより岩峰で、その上にソフトクリームに乗ったような感じで近づきがたく、10年前に雨さんや大関と出かけたパタゴニア行の最後のハイライトでした。

その前に、映画は確かに観たし、頂上直下の宙づりの場面など良く覚えているのですが、映画の邦題が思い出せません。ご存じの方教えてください。

たしか、ドイツ、フランス、カナダの合作で、英語名は「Scream of Stone」でした。

秋の集会・駒王

投稿者：井上 知三 投稿日：2009年9月20日(日)09時43分24秒

事務担当より本日までの参加者をお知らせ致します。

川村 静治・奥山 正紀・雨宮 宏光・山本 真博・鈴木 頼正・伊丹 徳行・大関 和夫・村上 与利一・米山 悦朗・安井 正・越田 和男・石原 浩二・小原 耕治・武田 雄三・田辺 潤・鳥居 威男・塩崎 将美 (敬称略・順不同)以上の方々です。

尚、参加希望の方は返信葉書にて月末迄にお願い致します。多数の参加をお待ちしております。

メスナーの書いた『トーレ 石の叫び』について

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2009年9月20日(日)00時14分53秒

『孤独の山』トモ・チェセン 近藤等訳 1998・山と溪谷社 補遺『疑惑の系譜』トモ・チェセンをめぐる論争にかかれた 池田常道さんの文章を紹介します。

歴史上偉大な登攀の真偽が疑われた1990年トモ・チェセンのローツェ南壁登攀がはじめてではない。もっともよく知られているのは、1955年・マエストリ事件である。

イタリアのクライマー、チェザレ・マエストリはオーストリアのトニー・エガーと2人でパタゴニアにある未踏の岩峰セロ・トーレを北壁から初登頂したが、頂上からの帰途エガーは雪崩に打たれて行方不明となり、カメラも彼とともに失われてしまった。

マエストリ自身、気を失って取り付けの雪の中に倒れていたところを、ベース・キャンプから上がってきた仲間に発見されて助かったのである。

帰国後、彼の登攀は新聞紙上に派手にとりあげられ、手記も出版された。しかし、ルート最後の部分に関する記述は具体性を欠き、写真もないことから疑惑が生まれた。とりわけ他のクライマーが疑ったのは、それまでにパタゴニアの同じように難しい岩峰——たとえば

リオネル・テレイとギド・マニョーヌによるフィッツロイで行われた登攀と比べてマエストリたちのスピードが異常に速かったことであった。セロ・トーレでは彼らの前に（ルートは違うが）ボナッティとマウリという当時世界最高のコンビも敗退していたことが、疑念を増幅する結果となった。

批判にさらされたマエストリは、それを黙殺するだけではおさまらなかった。

約10年が経過したころ突然再挙したのである。こんどはもっと難しい南東稜をルートに選び、固定ロープをベタ張りしながらヘッドウォールまでの登りつめてみせた。この岩峰の頂上を覆う氷のマッシュルーム自体は登られずに終わったが、登攀自体はべつの意味で批判的になった。マエストリは手がかりの乏しい岸壁におびただしいボルトを連続して埋めたばかりか、そのための穴をうがつのに圧搾空気を動力とするドリルを使ったからである。

その強引な手法はあたかも、かつて自分を疑った登山界全体に実力を誇示し、復讐するためのものであるかのように見えた。

クライミングの自由と人口手段の乱用の相克と言う意味で、この登攀は当時の登攀界を二分する論争に発展した。セロ・トーレの「フェアな手段による」初登は1974年のカジミール・フェラリの隊のよるものとされている。

表題『トーレ 石の叫び』の「石の叫び」とは、ドリルで痛めつけられた岸壁の悲鳴に対しフェアな登攀を主張するメスナーの批判の意が込められているのでしょうか。

メスナーの本

投稿者：平井吉夫 投稿日：2009年9月19日(土)21時14分31秒

今日から発売の『ハヤカワ・ミステリ・マガジン』11月号の141頁（海外ミステリ情報）に、メスナーの書いた『トーレ 石の叫び』という本をノンフィクション・ミステリとして紹介しました。パタゴニアのセロ・トーレ初登攀の真偽をめぐる読物です。興味があれば立ち読みでも結構ですからご一読ください。 平井吉夫

富士山トレーニング

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年9月19日(土)09時26分56秒

今夜発、明日から23日まで、富士山で高所トレーニングを行います。

昨日まで北海道へ出張に行っていたので、これから準備にかかります。

今まで見ていたばかりですが、富士山山頂へ登るのは初めてです。あまりワクワク感はありませんが。

メンテナンス

投稿者：管理人 投稿日：2009年9月19日(土)08時32分29秒

この掲示板の提供会社“teacup.サービス”からの案内です。

いつも teacup.をご利用いただきましてありがとうございます。
このたび、レンタル掲示板とレンタルショップにおきまして、
下記の日程でサーバーメンテナンスを行うこととなりました。

メンテナンス中は、上記サービスの一部及び全部が
表示されなくなりますので、あらかじめご了承ください。

【メンテナンス日時】

2009 年 09 月 23 日（水） 午前 4 時 30 分～午前 10 時まで

レンタル掲示板：閲覧を含む全ての機能が停止します。

レンタルショップ：商品画像が表示されなくなります。

（お買い物自体は可能です）

長時間のメンテナンスとなり、ご利用の皆様にはご迷惑をおかけしますが、
なにとぞ協力のほどよろしくお願い申し上げます。

以上、今後とも teacup.をよろしくお願い申し上げます。

ポスターの件

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 9 月 15 日(火)21 時 56 分 35 秒

谷君、
了解、
中断かと思っていました。
ご多忙の折ではありますが、よろしくお願いします。

ポスターの件[現状報告]

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2009 年 9 月 15 日(火)19 時 48 分 17 秒

福田さん
私担当分のものについては、大学複写センターに依頼中です。
（A0にした際の写真の画素数など、複写センター担当者と細かな確認を行っています。何分平日しかやり取りできず、進度が遅いです。）

登山

投稿者：飯田 進 投稿日：2009 年 9 月 14 日(月)08 時 02 分 36 秒

越田先輩。御配慮ありがとうございます。そのような登山ならお供つかまつります。

神鉄ハイク

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009 年 9 月 13 日(日)22 時 34 分 52 秒

神鉄ハイキングに行くという妻に付き合っ、濡れ落ち葉をしてきました。

神戸電鉄藍那駅から藍那古道を経て、丹生山、帝釈山、稚児ヶ墓山を縦走して箕谷駅まで5時間ほどの早歩き登山でした。

60人ほどの大混雑の中、スタート。丹生山の広い登り道では、トレーニングがてらに並居る中高年をグイグイ抜かして、気分は浪川さん。それにしても、お元気な熟年の方の多いこと。

カンリガルポ山群登山隊の日本側メンバー紹介が神戸大のホームページに載っています。

中国側のメンバーも近いうちに載ると思いますが、チョオユーやオリンピックの聖火リレーでチョモランマ登頂者などなかなかのメンバーのようです。

http://www.acku.net/kangrigarpo2009/KG-2_members/kg-2_japan_member.html

また、ソーラー発電システムがうまくいけば、現地からの情報が以下のページで見られるはずです。まだ良く分かっていませんが、読者に登録すれば、書き込みもできるそうです。

よろしければ時々見てみてください。

<http://kangrigarpo.blogspot.com/>

関 集三さん

投稿者：福田信三 投稿日：2009年9月13日(日)22時31分43秒

本日、大学で益川敏英氏の講演がありました。題は「現代社会の中の科学」つまり、技術進歩の激しい現代にどのようにして生きていけばいいのか？でしたが、どうも結論はよく判りませんでした。彼独特の漫談風のみ印象に残りました。それより驚いたことは、ロビーに展示されていた写真パネルに関修三さんを見たことです。甲南が誇る偉大な化学者と知り、同じ山岳会に所属していることを誇らしく感じました。ロビーのパネルを添付します。

関さん、勝手な写真掲示、失礼致します。



初秋の富士五湖

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 9 月 13 日(日)18 時 31 分 43 秒

9 月 1 0 日、気持ちよく晴れた初秋の 1 日を精進湖と本栖湖の間にあるパノラマ台 1325m に登って、目の前の迫力の富士の眺めを楽しんできました。パノラマ台なんて、いかにも観光業者的発想の嫌な山名ですが、昔は明神山と呼ばれていたらしいです。

この山には去る 2 月、J A C の仲間大橋、南井、田村氏らと精進湖畔の宿で天気待ちしていた時に、急に晴れ出したので午後の散歩がてらに登ったところ、思いがけない抜群の景観に好印象を持ちました。それで今回は家内と本栖湖側から烏帽子岳経由で再訪した次第。登り 2 時間弱、標高差 4 5 0 m、の老人向けコースでした。

頂上は先着の中学生の団体に占領されており、これはしまったと思ったのですが、引率の先生方が気を使って場所をゆずってくれ、間もなく下山して行きましたので、あとは静寂そのものとなり、ゆっくりと富士を肴に赤ワインが楽しめました。

飯田兄、山歩き復帰の意向とか、先ずはこんな感じの山では如何。

新人募集ポスター

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 9 月 10 日(木)23 時 34 分 34 秒

谷君

お久しぶりです。

ところで懸案の表記ポスターの件、どうなっていますか？

Re: 風邪

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009 年 9 月 10 日(木)20 時 54 分 18 秒

> [No.853\[元記事へ\]](#)

飯田様

アドバイス有難うございます。

ペルー・ワスカランの時は、何も考えず若さの勢いで登りました。

今はもう体のあちこちガタもきていますので、無理せず慎重に行きたいと思います。

10 月 10 日に出発予定ですが、インフルエンザ・ハイリスクな職場にいますので、それが心配の種です。

風邪

投稿者：飯田 進 投稿日：2009 年 9 月 9 日(水)09 時 53 分 55 秒

山本君 まじかに迫ってきましたね。体調にはくれぐれも気を付けてください。

小生 ギンドコロピークに行った時、フーシェ谷の奥、セイチョー（3 2 0 0 m）で仲間が高山病になり、下山させている間三日間ぶらぶらしていました。そして明日ポーターの不満もあり、どうしても上に行かねばならなくなった折、寝冷えをしてしまいました。重い身体をひきずって 3 8 0 0 m のキャンプ地まで来たとき、不整脈がでてダウン。これから、というときに仲間と惜別、一人さびしくセイチョウに降りました。幸い一晩寝たらけろっと治っていたので、仲間の後を追ひ、4 2 0 0 m のキャンプで追いつきましたが、たかが寝冷えといえども、高山病は容赦なく襲ってきます。貴兄にアドバイスもおこがましいですが、かぜにはくれぐれもご用心のほどを。

Re: お知らせ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009 年 9 月 8 日(火)21 時 51 分 34 秒

> [No.851\[元記事へ\]](#)

谷くん、いろいろ教えてもらって有難う。

結局、ヘッドランプはお勧めのアイコンではなく、中高年は軽さ重視でスポットを購入しました。

9月の連休は富士山高所トレーニング、山頂付近で2泊する予定です。

でも、インフル騒動の中、連休前に北海道修学旅行の付き添いでくたくたになりそうです。

お知らせ

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2009 年 9 月 7 日(月)23 時 23 分 2 秒

お久しぶりです！

実は9月より大阪配属となり、実家から出勤しております。

しばらくは大阪勤務となりそうです。

イベント事がありましたら是非参加したいと思います。

9月のシルバーウィーク（9月20～23日）は冬山探査の為、北鎌尾根～小槍に登ってきます。4月から5か月間の研修で鈍った体に鞭打ち、体力強化と云い、ダイエットのニュアンスが濃いのも現実・・・

山本さん

いよいよ出発まで残り一か月ですね。！連休は富士山で順応すると伺いました。

世間ではインフルエンザが流行っています。体には十二分気をつけてくださいね。

甲州・櫛形山

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 9 月 2 日(水)11 時 15 分 54 秒

週末高遠の田辺山荘のお世話になった後、甲州の赤石温泉の一軒宿で会社仲間と合流して、南アルプスの前山のひとつ櫛形山2020mに登ってきました。中尾根経由登り2時間半。標高差600m。これ位が今の小生の限度です。北尾根の下りも腰をかばって一步一步よたよた下るので、結構膝や太股がくたびれた。

台風一過の秋晴れを期待するも、終日曇天で富士や南アの展望が楽しめずがっかりだったが、誰一人出遭うこともない静寂の山の空気はそれなりに楽しめた。

驚くべきは、フルに利用した林道の立派なこと。中山林道、櫛形山林道、長峰林道など、ほとんど通行量のない、延々と続く長い長い林道は全て完全舗装。長峰林道の起点近くには、びっくりするようなループ橋までありました。K王国の遺産なのでしょうか、喜ぶべきか、嘆くべきかはさておき、有難く利用させてもらいました。

米山さん、おめでとうございます。

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 8 月 27 日(木)22 時 50 分 3 秒

越田さん、米山さんの朗報 ありがとうございます。

ネットで見せていただきました。3枚の写真、やはり最初の「父子」心にきます。
関西での展示が無いとは残念。というより、いつも「やっぱ、関西は田舎やなあ」です。

去年、縁あって中村哲医師を教会へ招き講演をしていただきました。
その風貌は米山さんと良く似ていらっしゃいました。
小柄な、声の小さい、腰の低い方で、あのパワーがどこから出るのか不思議な方です。
多分、米山さんもそのタイプ？
生涯をかけてやる事のある方、うらやましい限りです。

米山悦郎氏の秋の出展・受賞のお知らせ

投稿者：越田和男 投稿日：2009年 8月26日(水)18時08分9秒

バブさんの写真家活動益々お盛んです。この秋の出展予定を頂きましたのでお知らせいたします。ご興味のある方は是非。

①神奈川県美術展（写真部門）9月23日（水）～10月4日（日）

神奈川県民ホールギャラリー（山下公園の前）

電話045-662-5901

出展作：「記憶・パキスタン大地震」ドキュメンタリーの3枚組写真

本作品で“大賞”を受賞されました。

②二科会写真部門展 9月4日（金）～10日（木）

富士フィルムフォトサロン/東京（赤坂のフジフィルムスクエア2F） 電話 03-6271-3351

出展作：「家路」ゴビ砂漠の夕日を背景にしたラクダの映像

③ブルーベイ横浜展 9月7日（月）～13日（日）

横浜教育文化センター内横浜市民ギャラリー（関内駅南口前）

電話：045-224-7921

出展作：「パッション」3人のダンサーの踊り

なお、上記①②③とも米山さんの個展ではありませんので、出品者としての会場常駐ではありません。念の為。

夏の夜を 真っ赤に染める 文字火かな

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009年 8月20日(木)09時06分3秒

五山送り火に刺激され、地元池田 五月山の“”がんがら火祭り””を始めて、見にいかな、柏兄、早速の写真有難うさん。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2009年 8月19日(水)21時03分37秒

柏さんから五山送り火の写真が投稿されました。

楽しかったです。

投稿者：柏 敏明 投稿日：2009 年 8 月 17 日(月)18 時 03 分 40 秒

大文字五山送り火。機会を作って頂いた芦田さん、カンさん、有難うございました。
呼び掛けがなかったら、先ず経験出来なかったと思います。アルコール類、弁当、
おつまみ等を持ち上げて頂いたこのメンバーの中では若手の皆様にも感謝。

それにしても、鈴木さん芦田さんの健脚なこと、日向神社から大文字山三角点まで
普通 2 時間かかるところを、本隊を後方においてノンストップで 1 時間半。
70 代に負けられないと必死になってついて行きました。

大の字の二角のてっぺんの火床から僅か 10m 位の所に場所を確保、火床は意外に小さく
1 m 四方、高さ 1 m 30 cm 位に井桁が積み上げられ、3 m 間隔位に並んで文字を形成
していました。

延焼を防ぐための消防団の散水で慌てて逃げたり、鈴木さんの恐ろしいしゃれの
連続をつまみにビール、ウイスキー、チューハイでメートルをあげながら、
点火予定の 8 時までの 2 時間を待ちました。

京都の中心部の灯が消え出すと、先ず大文字が点火され、順次、妙法 舟形、左大文字、
鳥居形と点火されて、くつきりと対面に浮かんで見えました。写真を撮ろうとするも
望遠のため手ぶれがひどく上手く撮れませんでした。

故人を偲んで黙とう後、消し炭をバケツに入れて持って帰る人達に交じって、銀閣寺
までの階段道をヘッドランプ頼りに列をつくって下山。当初予定のうどん屋での
反省会は時間の都合で遠方組は断念し、河原町へ直行。0 時近くの帰着になりました。

皆さん、有難うございました。

参加者 鈴木、芦田、広瀬、森本、二谷、浪川、井上（知）、大森、山本（恵）、柏の
10 名（敬称略）

五山の送り火

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009 年 8 月 17 日(月)09 時 26 分 55 秒

思いのほか、大勢の参加になり、舞台がロックガーデンから東山 3 6 峰に移った感あり。
地元芦田先生の説明を聞きながらの、京都の夜景観賞も良かったです。
蹴上（け上げ）の日向大神宮ー大日山ー大文字山を約二時間かけユックリと登り、
待ち望んだ、ビールをぐいと飲み干す、これまた良し。下りは足をとられ
難儀しました。下山後、年寄り組、鈴木／芦田／二谷／森本の皆さんと老舗
麵どころ「おめん」にて締めくくりました。同道の先輩／諸兄に感謝。

大文字山にて、故人を偲び、しばしの黙祷、又山本兄より、
今秋の遠征登山の事と、支援に対する謝意が述べられました。

京都五山送り火に参加して

投稿者：鈴木頼正 投稿日：2009 年 8 月 17 日(月)08 時 39 分 29 秒

京都五山送り火に参加させて頂き大森さん、芦田さん始め皆さんに厚く御礼申し上げます、大の字の一番上から京都市内は勿論次々と点火される送り火は素晴らしく、感激しました、銀閣寺の長〜い階段に山本君等に助けてもらって無事下山する事が出来感謝しております。大阪の人は大文字焼き、とかまるでたこ焼きのように言われるが正式は五山送り火と言ってください、と京都の芦田先生から注意されました。

Re: 五山送り火に

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009 年 8 月 17 日(月)00 時 40 分 48 秒

> [No.840\[元記事へ\]](#)

本日は有難うございました。
初めての送り火、とてもきれいで趣のあるものでした。
皆さん、蒸し暑い中、お元気ですね。
また、楽しい企画に参加させてください。

Re: 五山送り火に

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009 年 8 月 17 日(月)00 時 20 分 59 秒

> [No.840\[元記事へ\]](#)

芦田さん kannroku さん 7 名の皆さん、有難うございました。
ナカナカ体験できない送り火、十分見せていただきました、が。
さすがに京都は遠い。三都物語。

播磨に近い摂津のハズレにたどり着いたら 12 時ちょっとまえ。
シンデレラか。

次回はよく考えて参加を決めますが、ともあれなかなか出来ない体験に感謝いたしております。

神戸 大森

五山送り火に

投稿者：kannroku 投稿日：2009 年 8 月 16 日(日)07 時 06 分 23 秒

集合場所 高島屋京都店 1 階中央ロビー

集合時間 8 月 16 日(日) 14 : 30

会費 2500 円

持ち物 懐中電灯、雨具(傘でもいいです) 以上 お待ちしております。芦田・森本

Re: 五山送り火

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009 年 8 月 15 日(土)20 時 09 分 57 秒

> [No.838\[元記事へ\]](#)

先日の小渋川で足首捻挫のため、神戸大真砂合宿には参加しませんでした。
テーピングで固定していますが、今日、何度かトレーニングがてら運動をした結果、もう大丈夫そうです。
明日の五山送り火に参加させていただきたいと思います。
久しぶりにカンさんとご一緒させていただくのを楽しみにしています。よろしくお願いします。

Re: 五山送り火

投稿者：kannroku 投稿日：2009 年 8 月 15 日(土)14 時 15 分 21 秒

井上さん

是非参加お待ちしております。塩爺がお母さんの調子かんばしくないので欠席と。

次回にチリワインを楽しみとしておきましょう。柏君が参加されます。

ビール類と水を持ち上げるの手伝ってください。日中 2 時間の登攀となりますので

暑さ対策を。高島屋で食糧調達しますので、ゆずはどのようにでもなります。当日の飛び込み参加も歓迎です。 森本

五山送り火

投稿者：井上 知三 投稿日：2009 年 8 月 15 日(土)13 時 10 分 18 秒

森本 全彦さん

ご無沙汰しております。お元気のなられて良かったですね。

明日の送り火、今から参加でも大丈夫ですか？参加したいのでよろしくお願い致します。

ホエールウォッチング

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 8 月 14 日(金)22 時 08 分 45 秒

ホエールウォッチングに行きました。

こんなにそばで見ることが出来るとは予想外。

ザトウクジラが子育てのために冷たい南極海から

北上してくるとの事です。

母鯨に子鯨 2 頭も目の前というより船のすぐそばを

手をつないで泳ぐよう。子供とはいえ、すでに 1 トン以上あるとの事です。

水面直下では全身が見えました。10 頭以上も見ましたので、かなり増えているのではと感じました。

一般的には動物を見るときは静かに見るのが当然ですが、

鯨の場合、はどどん騒ぐのが良いとの事。その声に興味を持って

船に近付いてきます。これがなんと、町から 4 km 程度沖合い。

ゴールドコーストのビル群が背景になるなんて不思議な感じがします。

こんなに簡単に見られる事でより身近になった気がします。

最後に鯨保護のための募金は断りました。管理下での捕獲は必要と思います。



夏休み

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009年 8月 11日(火)21時 22分 0秒

皆さん！活発ですね！恐れ入ります。

・森本さん！

送り火に参加したいのですが、この日は仕事が入っています。ワイン飲みたったのですが残念です。

・山本少年！

南アルプスですか！私も行きたかったですよ。来年は誘って下さい。それにしても緊張の連続でしたね。無事が何よりです。

私は、この夏は明神岳を計画していましたが雨で止めました。この夏の信州は天気が悪いようです。嫁ハンによる

と、ピーカンの日は殆ど無かったです。暇なので庭の草取りをしていましたが、ハチに刺されました。今も腫れています。困ったものです。

Re: 五山送り火に行きましょう！

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009年 8月 11日(火)20時 06分 20秒

> [No.831\[元記事へ\]](#)

塩崎様

カンさんにつられて参加しましたが、ワインで弾みがつきました。

メンバーを見ると、一応「若手」のワタクシ。

スーパースターのナミカワさんの邪魔にならない程度に背負わせてもらいます。

ただし、ばてたらその場で消費、軽くして登ります。

おおもり

送り火観賞ほか

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009年 8月 11日(火)14時 54分 49秒

塩崎兄のチリワインが出たところで、カンロクさん、お勧めの例の冷凍？缶ビールにも期待！！

暑い 熱い日ですが、お蔭様で元気にテニスをやってます。

今日は8. 00 - 11. 00までやりました。仲間の小父さんが唐松小屋に泊まってきた。

ガスで何も見えず残念でした。あと小遠見まで登った由。白馬三山

不帰、五竜、鹿島の双峰などが出てきて、登りたくなりましたが、

あの山小屋の混雑を思い出すと、躊躇します。

Re: 五山送り火に行きましょう！

投稿者：塩崎将美 投稿日：2009年 8月 11日(火)09時 51分 11秒

> [No.829\[元記事へ\]](#)

参加の皆様

チリのワイン2ℓを仕入れてきました。

マイカップを持ってきました。

塩崎

荒沢岳赤石岳下山しました

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年 8月 10日(月)18時 44分 6秒

南アルプス、かのウェストンさんが登った小渋川経由で、荒川岳と赤石岳に登ってきました。

3泊4日で、のんびりと沢で涼んでイワナ釣り、緑の原生林、南アルプスど真ん中の展望を楽しむ予定が、天候不順のため全く余裕なく1泊2日で何とか無事？に下りて来ました。

8月8日小渋温泉の先、湯折ゲート7:30発。林道を歩いて7:50に七釜橋。多くの人がここから沢に入っているが、対岸の川沿いに立派な車道ができていてそれを辿る。昨日までの雨で小渋川は増水して白くにごっている。

10分ほどで車道も終わり、いよいよフェルト足袋に履き替える。しかし、水量が多く進むか帰るかしばらく迷う。とりあえずストックで探りながら渡渉してみる。水深はへそから胸まで。その後、何度も渡渉を繰り返すが、緊張の連続。水流によるストックの振動が気味悪い。高山ノ滝の少し手前で、行き詰まってしまう。もう此処しかないという渡渉点で、胸までの流れに耐え次の一歩のためストックで探ると底につかない。恐怖を感じて川岸にあわてて戻った。今までの渡渉を思うと帰るのも憂鬱。左岸の岩を登って高巻き、何とか越えた。高山ノ滝から数回渡渉をすると谷は開け川原歩きとなる。広川原小屋に10:30。フェルト足袋やジャージのデポがあるが、かなり古い。持ち主は・・・、不気味。

ここからは、苔むしたツガやトウヒの原生林の中をひたすら登る。キノコが沢山生えているが、採る余力がない。頭上ではハイタカ3羽がけたたましく鳴きながら飛び回る。巣があるのかも。やっとのことでガスの中の大聖寺平14:45着。水平道を経て、荒川小屋テント場15:15。

今日の登りでは誰一人と会わなかったが、稜線上は結構賑わっている。天気が不安定で、松本諏訪方面は大雨洪水警報。夜、北の空はずっと稲光がしている。一雨来て、あれ以上水量が増えたら帰れない。日程に余裕はあるものの、退路を断たれるプレッシャーにあまり眠れない。

9日朝小雨が降るがすぐやみ、視界もある。今日一日は何とかもつと判断し、4:45荒川岳往復に出発。富士山が近い。ガスに包まれた荒川東岳山頂6:45。途中、中岳避難小屋の小屋番と談笑、「この辺の沢は森と瓦礫にしみこむのでなかなか水が引かない。小渋川で何人も死んでいる。」と脅される。最近の小屋の人は山のことをあまり知らない人が多いように思うが、この人はなかなか只者では無い感じがした。8:30荒川小屋に戻る。

明日は天候が崩れそうなので、今日中に下山することにする。テントを撤収し大聖寺平に要らない荷物をデポして、赤石岳ピストンへ出発9:45。小赤石岳を越えて赤石岳山頂10:55。すぐにバックし大聖寺平12:00。時間との勝負、何とか今日中に下山できそうである。森の中を下って、広川原小屋14:30。

フェルト足袋に履き替えて、ひたすら渡渉を繰り返す。水量は幾分減り、胸まで来ることはない。昨日深くて渡れなかったポイントで、高巻く時間を惜しんで水中の岩から対岸の背の届きそうな瀬へジャンプ。着地に失敗し、水中の岩で足首をぐねって転倒し水浸しに。急がば回れ！あと数回の渡渉をこなすと、やっと安全地帯の車道へ出た16:30。林道をとぼとぼ歩いて駐車場へ17:40。

赤石荘の温泉につかっていると雨が降り出した。帰りの高速、岐阜付近で運転できない大雨となり、パーキングで朝まで寝てしまった。

この大雨、山にいたらどうなっていたことか。無理しても下山して正解だったと思います。約13時間行動に、全身の筋肉と痛めた足首が悲鳴を上げていますが、こんな山行きもそれはそれで面白かったです。



五山送り火に行きましょう！

投稿者：kannroku 投稿日：2009年 8月 10日(月)18時 38分 41秒

沢山の方々の五山送り火参加で楽しくなりそうです。申し訳ございませんが一部変更したいと思います。

集合場所 高島屋京都店 1階中央ロビー

集合時間 14時 30分(登りの時間に余裕を見たく思います。)

会費 2,500円

タクシーで蹴上～歩行～日向神社～大日山(36峰の1つ)～大文字山(36峰の1つ) 20時より五山送り火観覧～銀閣寺に下山 上りで2時間・下りで30分の予定

銀閣寺から登るのが一番楽なのですが、(芦田さんの話では)送り火の時は通行止めとの事で下山時はOKとの事です。下山後芦田さんの案内で蕎麦屋に。

現在 鈴木・芦田・廣瀬・二谷・塩崎・ナミカワ・大森・森本の8名ですが多くの参加者を募っています。懐中電灯だけ忘れないで下さい。芦田さんの話では送り火前の夜景も素晴らしいとの事です。

ゴールドコースト

投稿者：福田信三 投稿日：2009年8月9日(日)19時34分42秒

秋のような涼しいゴールドコーストは初めてです。夏は蒸し暑いと聞いていましたが、冬は最高です。サーファーズパラダイスとはいえ、チラッと見るだけで、ぐうたらをするために来ました。ハワイと同じくらいの飛行時間で時差も1時間で無いに等しく、ハワイより物価も安く、特にコンドは広くて安くお勧めです。

大文字山

投稿者：越田和男 投稿日：2009年8月7日(金)22時58分23秒

小学校高学年の頃、昭和23, 24, 25年、つまり60年前の夏は毎年8月16日前後は北白川の親戚で山焼きを見物していた懐かしい思い出があります。翌日の朝、大文字山に登り燃え滓の炭を持ち帰ったものです。私も地元の芦田さんのご案内で参加したいがちょっと遠いですね。

このところ海拔数百米の東山五山から、ヒマラヤ8000mの現状まで、この掲示板の話題の幅の広さを楽しんでおります。私自身は諸般の事情で活動停止中。

五山の送り火

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009年8月7日(金)21時27分3秒

カンさん、ご無沙汰してます。

京都の夕涼み、おとします。よろしくお願いします。

おーもり

お盆山行

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年8月5日(水)21時37分37秒

やっと梅雨が明けました。

来週はお盆休みを取って山三昧の予定です。

今週末から来週前半は南アルプス小渋温泉から赤石岳・荒沢岳へ。

金曜夜神戸発で、荒沢小屋キャンプ場泊、荒沢岳と赤石岳のピークアタックし、火曜山下山予定です。3泊4日で、沢歩き森歩きを楽しむできます。

後半はなつかしの剣真砂沢へ。神戸大夏山合宿をのぞきに行く予定です。もしかしたら妻同伴となるかも。

南アルプス、誰か一緒に行きませんか。

お買い得情報

スポーツ用品店「ゼビオ」ジェームス山店で、ロウアルパインのゴアッテクスプロシェル雨具定価¥32550が、旧モデルのため¥19900で売っていましたが、残り数着しかありませんでしたが、他の店舗でも同じ値段で扱っていると思います。品はなかなか良い感じでした。

図書館

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 8 月 4 日(火)22 時 02 分 9 秒

先週、公開講座、“動画を YOUTUBE にアップして友人と共有”にうまく当たり、2 日間の講座を受けました。その結果は今後に期待？として、2 日の間に構内をブラブラ。最も気に入ったところが、図書館と食堂。食堂ではマーボ豆腐とライスで 3 6 0 円の喜び。図書館は冷房完備、ゆったりな机と椅子に驚き。そして、難しい本ばかりではなく雑誌や新聞も、早速、卒業生カードを申請、今日もらってきました。登山関連も数百冊はあるようです。9 月からはどっぷりつきそうです。

14 座達成を目指す 女性登山家たち

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2009 年 8 月 3 日(月)21 時 58 分 1 秒

09 年 7 月現在、12 座達成はスペインのエドウルネ・パサパン（36 歳）、韓国のオ・ウンソン（43 歳）、オーストリアのゲルンディ・カルテンブルネ（39 歳）。11 座はイタリアのニベス・メロリ（47 歳）と、それぞれの女性が 一番乗りを狙ってます。

韓国のコ・ミョンは 09 年 5 月に、マカルー、カンチェンジュンガを連続登頂し 6 月にダウラギリ、7 月にナンガパルバットに登頂し 12 座を達成、帰国せず現地に残って ガッシャブルム I 峰 2 峰と登って 1 年で 6 座登頂して 1 4 座を 4 年で達成というとんでもない計画の途中、ナンガパルバットに登頂して下降中滑落して 14 座レースから脱落した。「一番乗り」などどうでもよく「登るために登る」であったかも知れぬが、スペインと韓国のメディアは彼女たちの登頂を大きく報道しています。

Re: 五山送る火に

投稿者：塩崎将美 投稿日：2009 年 8 月 3 日(月)19 時 36 分 28 秒

> [No.820\[元記事へ\]](#)

カンさん

参加します。

ただしドタキャンあるかも。

その時はゴメン。

東山 36 峰を検索すると伏見のお稲荷さんは知ってるが伏見稲荷山なんての有ったのと言う山ばかり。知っていたのは比叡山と如意ヶ岳と三校寮歌に出てくる吉田山だけ。丸山公園の丸山は標高 9 8 m、私の家でも標高 3 0 0 m、楽しみです。

塩崎

女性登山家 14 座達成にあと 2 座

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2009 年 8 月 2 日(日)17 時 27 分 27 秒

2001 年に始まった 8.000m 峰でスペインのエドウルネ・パサパン「35 歳」は 09 年 5 月にカンチェンジュンガ

(8.568m) に登頂し、残る 2 座はアンナブルナ と シシャパンマとなっています。
アンナブルナ (8.091m) は頂上稜線帯に先端部が大きく盛り上った形の懸垂氷河がありそれが常時崩壊しているためにもっとも危険だがこの山を制すればシシャパンマは技術的困難が無く 09 年秋に 14 座を達成するかもしれません。09 年山嶽寮には パサパンについて書いてますが
08 年現在 10 座登頂とかいてます。

彼女の隊には 14 座登頂の強力助っ人が同行していることが多く、その遠征資金は国営テレビ局、他企業からの支援もあるそうです。

彼女を追撃する オーストリアのゲルネダ・カルテンブルネ (38 歳)
イタリアのニバス・メロリ (47 歳) の 2 人は 11 座を登頂してます。

五山送る火に

投稿者 : kannroku 投稿日 : 2009 年 8 月 2 日(日)17 時 25 分 18 秒

川野君の皆既日食のやり取り楽しく拝見致しました。オーロラは一度見たいと思いました。

”8 月 16 日 (日曜) 京都五山送り火見に行きませんか ! ”

集合場所 京都高島屋中央口 (阪急河原町終点)

集合時間 15 時 30 分

費用 2,500 円

飲み物・夜食調達後タクシーにて蹴上まで これより大文字山 (如意ヶ岳 465m) へ (歩行時間 1 時間半から 2 時間) 18 時頃より宴会 20 時の送り火観覧後銀閣寺か南禅寺に下山 (歩行時間 30 分から 1 時間) 解散

現在の参加者 芦田・廣瀬・二谷・森本 必携 ヘッドランプ・軽登山の格好

雨の場合は中止。(行ってもいいなと思う方は連絡を)

京都東山 36 峰伏見稲荷山から比叡山迄の 36 峰を登りながら京都の散策をと考えております。

今回は第一回目です。36 峰と言っても三角点ある訳でもなく昔からの継承されてる峰々を訪ねると言うことです。今ではほとんどが寺巡りになるのではと。 幹事 森本

写真

投稿者 : 川野幸彦 投稿日 : 2009 年 8 月 2 日(日)13 時 05 分 28 秒

越田さん写真の処理ありがとうございました。
元のままだと見栄えが良くありませんでした。

ところで、今年は梅雨明けが遅いようですね。このまま明けないで秋かも知れません。
この涼さに油断して夏風邪をひいてしまいました。皆さんも注意して下さい !

盆休みは、予定通り明神岳主稜から槍ヶ岳の予定です。
皆さんの予定はいかがですか ?

Re: 日蝕の写真

投稿者：管理人 投稿日：2009 年 7 月 31 日(金)04 時 47 分 12 秒

> [No.817\[元記事へ\]](#)

越田さんが処理された川野君の日食の写真をアルバムにUPしました。

日蝕の写真

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 7 月 29 日(水)21 時 52 分 48 秒

川野君、楽しい写真ですね。

隠れおてんとさまの写真はトリミングしてズームアップしてみても如何。

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2009 年 7 月 29 日(水)10 時 43 分 59 秒

川野君の写真をアルバムにUPしました

お礼！

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009 年 7 月 28 日(火)22 時 10 分 36 秒

・塩崎さん

本日、メールで写真を送付しました。色々のご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。

・越田さん

数年後に太陽が活動期に入ります。この時に合わせてオーロラを見に行きたいと思っています。オーロラも神秘的のようです。ところで日食の写真ですが、ショボイです。期待外れですよ！！しかも皆既中のものは1枚です。

・大森さん

早速インストールしました。ありがとうございました。

画像の縮小

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009 年 7 月 27 日(月)19 時 49 分 13 秒

川野さま

画像の縮小、私は「縮小専科。」というフリーソフトを使っています。

軽く動いて沢山のファイルを一度に処理できるので重宝しています。

まあ、皆さんいろいろこだわりがあると思いますが、ご参考になりましたら。

<http://www.vector.co.jp/soft/dl/win95/art/se153674.html>

オーロラと日蝕

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 7 月 26 日(日)22 時 14 分 11 秒

オーロラは数年前にアイスランドで見ました。冬のアイスランドの風物に興味あって訪ねたのですが、同行の諸氏はオーロラが目的だったらしいです。5 泊程しましたが、その内 3 晩は見えました。アイスランドのオーロラ見物は小生のような横着者には好都合で、この時は、ホテルから完全武装で遠出することもなく、食事中に誰かの「今見えてるよー」の声で防寒具をひっかけて飛び出していった見れるというもの。その分感激は薄れるかも。小生にとっては向こう岸が霞んで見えないぐらいの巨大な温泉露天風呂の方が印象深かったです。

オーロラは何と言っても、一発勝負ではなく、待てばいずれ見れるとか、今日が駄目なら明日がある、といった具合ですが、皆既日食となれば、ほんの数分のチャンスで、今まで晴れていたのに、一転にわかにかき曇るなんてこともあり、また今度といったチャンスがないのが辛いところですね。河野君の写真に期待。

部分日食

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009 年 7 月 25 日(土)23 時 46 分 9 秒

私は、職場で部分日食を見ました。

当日朝、雨模様だったので諦めていました。

ホームセンターで溶接用遮光プレートを数枚買い込み、職場へ戻ったら雲の晴れ間に太陽が・・・。

大急ぎで、同僚や生徒に声をかけ遮光プレートで見るとくっきりと欠け始めの太陽が見えました。

残念ながら、最大に欠けた頃は雲が厚くて良く見えませんでした。その後再びはっきり見え、約 2 時間ほど皆でわいわいと楽しみました。

オーロラ

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 7 月 25 日(土)22 時 12 分 20 秒

川野さん

是非オーロラを見てください。

現れたときは、“エッ！何これ！うそっ！すげー！”そして口を開けたまま、ポカンです。

しかし、地元の人にはそれを見に来る人が不思議とのことです。

最初、バンクーバーの友人を誘いましたが、“そんなもの見るためにマイナス 40 度の所へなんか行きたくない、帰りに寄ってくれ”でした。

さて、見ることの出来る条件、可能性、主に日程は次の情報が頼りです。

<http://www.gedds.alaska.edu/AuroraForecast/>

アラスカ大学 フェアバンクス学舎のオーロラ情報です。

写真

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009 年 7 月 25 日(土)20 時 59 分 33 秒

・塩崎さん

ご返事ありがとうございます。画像の縮小の方法がよく分かりません。来週、会社で聞きます。取り合えず、今

回の写真は、メールで塩崎さんに送付しました。よろしくお願いします。

Re: 写真

投稿者：管理人 投稿日：2009 年 7 月 25 日(土)09 時 18 分 45 秒

> [No.807\[元記事へ\]](#)

川野幸彦さんへのお返事です。

写真のサイズを少し小さくされたいかがですか。

アルバムに貼り付ける時も届いた画像をサイズを縮小してからUPしてます。

その時のサイズは 600x800 か 750x1000 ピクセルです。

このぐらいがパソコンで見る時最適だと思います。

写真は少し加工すると圧倒的に軽くなります。

メールに添付して送る時も縮小してから送ったらだれでも簡単に受け取れます。

私はネットを光でやってますから少々重くても一瞬で受信できますが。

注意する事はサイズ変更する時、元の写真をコピーし名前を変えて保存してその写真を加工してください。

いきなり加工すると元の写真がなくなります。

紙に印刷する時は勿論データの多い元の写真を使います。

写真

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009 年 7 月 25 日(土)08 時 37 分 56 秒

・塩崎さん！

ご無沙汰です。早速ですが、写真を“画像1”に添付しようとしたのですが「1MB以上はダメ」の様な表示が出ました。なお、私の画像はコンパクトカメラを使った1.15MB前後です。

上海

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009 年 7 月 25 日(土)08 時 31 分 45 秒

・福田さん！

オーロラをご覧になられたのですね。天体マニアの三大珍現象は“皆既日食”“オーロラ”“流星雨”です。これ以外にも、大彗星や惑星食・日面通過などありますが、私はオーロラのみ、まだ見たことがありません。近いうちに太陽活動が盛んになったら見に行きたいと思います。その時はアドバイスをお願いします。なお、私の知る限りオーロラを見たことがあるのは福田さんと南里さんだけです。

上海にいらっやたのですね。猛烈な暑さに参りましたが、料理は美味しかったですね。また行きたいです。嫁ハンは“勘弁”らしいですが。

日食

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009 年 7 月 25 日(土)08 時 12 分 48 秒

おはようございます。暑いですね！

・越田さん！

奥様が日食ファンとは感激しました。私もファンになりそうです。奥様の様な日食ハンターは世界的にも結構いらっしゃるようです。あの不思議な光景を再び経験したいです。2012年11月13日の北オーストラリア辺りが狙い目かも知れませんね。それにしても奥さんは凄いです。羨ましい限りです。

上海

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 7 月 24 日(金)20 時 30 分 45 秒

川野さん

皆既日食見られて良かったですね。自然現象はお天気しだい、と幸運かな？

オーロラもおんなじで、4日間毎日見られたときも、1週間何も見られなかったこともありました。

私も上海に14日から3日間いました。なんと、19,900 円のパック。安いでしょう。しかし、ホテルは五つ星、メリキュール、2日目は蘇州へ日帰り旅行、全食事つきあれこれ昼着夕方発の丸々3日間。中身も濃くて最高でした。呑んで食ってマッサージ三昧。さすがマッサージ料金は含まず。それでもメチャ安。友人4人で大満足。次のメチャ安を物色中です。

Re: 皆既日食

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 7 月 24 日(金)14 時 21 分 1 秒

> No.802[元記事へ]

川野さん天気にも恵まれ良かったですね。悪石島へ行った人たちは散々な目に遭ったようですけど。

実は小生の家内もかなり以前からの日食追っかけで、これまでモンゴル、ハンガリー、ヴェネゼラ、エジプトなど、随分あちこちに出かけて行きました。今回はひたすら自宅でTV観戦でしたが、映像を見るとまた血が騒ぐようで、来年のイースター島には誘われて、迷っているようです。まだ建設中のホテルまで予約で一杯らしいですね。

ところで私自身ですが、どうも一瞬の天気に賭けて遠方にまで出かけ行くのに抵抗があり、加えて、長年勤めた会社がニッショクなので、ニッショクはもうええわ、と醒めています。

皆既日食

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009 年 7 月 24 日(金)06 時 45 分 25 秒

おはようございます。

昨日、中国から帰ってきました。天気にも恵まれて無事に“皆既日食”を見ることができました。各地が悪天の中、幸運でした。観測地は、上海から西へバスで3時間半ほどの安吉（あんきち）という所で、ここから更に1時間ほどの山の頂上です。ここには上海天文台があります。天文台と言っても規模は小さく、日本では

よく見られる個人の観測所の様な所です。この直ぐ下には直径 1 k m 位のダム湖があり、この堤防の上から観測しました。ここは、日食の観測地としては注目されていた様で、外国人を中心に数千人の人々が訪れていました。また中国のテレビ中継車も 4 台いました。

今回、皆既日食は初めてでした。一言でいうと、真っ黒な太陽に『感激した！』です。この感覚は、テレビや写真では味わえません。実際に経験しないと分かりません。これまで部分日食は幼い頃から何度も見てきましたが、それとは全くの別物です。皆既が始まると同時に周辺は真っ暗になります。これは日没後 4 0 ～ 5 0 分の感じで 3 6 0 度の夕焼けです。見たこともない不思議な光景です。気温は急激に 5 度ほど下がり冷たい風が吹き、それまでの暑さがウソのようでした。これは、真夏に急にエアコンの効いた部屋に入った感じです。

皆既中は持参した双眼鏡で眺めたところ見事なコロナを見ることができました。現在、太陽は活動が落ちていてコロナも“大したことがない。”と言われていましたが、その様なことは無かったです。また、皆既の終了間際には、赤い炎の様なプロミネンスも見ることができました。そして最後は数秒間輝くダイヤモンドリングを眺めて終了です。この間、5 分 3 8 秒でした。

また、皆既の直前には、夕方と間違えたと思われるトンボが大量に現れ、それを追いかけるツバメが沢山集まっていました。これらも、皆既開始と同時に消えさりました。これも不思議な光景でした。

一方、我々人間は、皆既と同時に歓声を上げお祭り騒ぎです。花火こそ上がらないですが（写真撮影者がいるので禁止）、真っ黒な太陽に酔いしれていました。私も同様でした。肉眼で眺めたり、双眼鏡を使ったりして大満足でした。

話は変わって、上海ですが、来年に万博が開催される様で、只今建設ラッシュです。高速道路とビル建設があちこちで行われています。折りしも 4 0 年前の大阪を見ているようでした。また猛烈な暑さで、到着した日は 6 0 年ぶりの猛暑で 4 0 ℃でした。これに比べると大阪の暑さは“涼しい”ですね。それから、私の中国は、“人民服と自転車”でしたが、今は違います。“日本と同じファッションで大量の自動車”です。

以上です。久しぶりに“嫁ハン孝行”も出来ました。皆さんも機会がありましたら、是非、ご夫婦で日食ツアーにお出掛け下さい（来年 7 月はイースター島で見られます）。奥さんも大感激ですよ！！ところで、日本で見られる皆既日食は、2 0 3 5 年 9 月 2 日です。これは、関東・中部・能登半島で皆既が起こり継続時間は 3 分弱です。

（付）今回の幸運は、事前に中国軍が放った“人工降雨爆弾”の影響が大きかったらしいです。マスコミ報道がありませんから真偽は不明ですが……。前もって雨を降らせることで当日の降雨を遅らせたり、避ける効果があります。北京オリンピックで使ったものと同じです。人工降雨爆弾。私の観測地だけ晴れて、日食が終わった帰り道は土砂降り。効き目は十分にあったと思われます。

画像の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2009 年 7 月 24 日(金)06 時 44 分 10 秒

今までは 1 つの記事に 1 つしか投稿できなかった画像が

7 月 1 3 日からは、1 つの記事に 3 つ投稿できるようになったんです！

神田 道夫（1949～2008）が2004年太平洋横断中、球皮内温度計が作動せず 結局海上に不時着し、運良くパナマ船籍の船に救助された。この熱気球の残骸が2月15日悪石島海岸に漂着したのです。神田 道夫は1976年N・Z マウント・クックの上を越え、80年日本アルプス越え、88年エベレスト越え挑戦、2000年ナンガ・パルバット越え成功。

04年太平洋横断失敗。08年太平洋横断が最後で行方不明。

『最後の冒険家』石川 直樹 集英社・2008——の表紙と巻末に、熱気球の漂着現場と残骸、野生のヤギ、悪石島と、映像は なかなかです。

またもや火打登れず

投稿者：kannroku 投稿日：2009年7月23日(木)00時32分39秒

百名山（火打山・妙高山）を二つも登れると楽しみにしていたが、18日、19日と雨にたたられ妙高山だけを登る事が出来た。

★18日9時30分全員笹ヶ峰（1300m）登山口に集合。東京チーム3名（竹中・水渡・山本薫～ぼっぼの会）名古屋チーム2名（瀧・竹中勇一郎～統一氏の甥子さんと長男）大阪チーム4名（小西～関学・柏・浪川・森本）の総勢9名が今日の目的火打山を目指してゴー。

小雨の中の足取りは重く足並みも乱れ昼食時に山本リーダーの判断で火打山は諦め高谷ヒュッテ経由で宿泊地黒澤ヒュッテに。このヒュッテはスキーでお世話になっている植木さんがやっておられる小屋で植木校長もいらした。

★19日 またもや雨 7時出発 妙高山迄は400mの高低差を3時間弱で登りきる。一瞬の晴れ間をDonnkichi君の念力で創ってくれ感謝。晴れ間期待できずにそうそうに退散。

天狗平迄は急坂で登りに利用するのはちとしんどい。足並みは乱れ二手にわかれての下山となったが、山本リーダーがどん尻なので安心。北地獄谷ルートは崩壊して通行禁止になっており麻平経由で3時前に燕温泉へ。しんどい二日間であった。そろそろ山登りも終演の幕を下ろす時が近づいて来たように思う。

★20日 9名の仲間と来年の再会を期待して妙高ホテル・ルーエをあとにする。

トムラウシの遭難 II

投稿者：飯田 進 投稿日：2009年7月21日(火)08時27分14秒

報道が偏っていて、天候のことばかり言っておりますが、装備のことについて何も報道されておられません。遭難小屋に泊まったからには、シュラフは持っていたはず。凍え死ぬ先にどうして榛松帯にでも入り込んで、雨具を着てシュラフにでも入っておれば、少しは暖もとれたのではないのでしょうか。遭難者のほとんどが年寄りとか。年寄りは決して無理はしてはなりませんね。

トムラウシの遭難に思う

投稿者：越田和男 投稿日：2009年7月20日(月)12時35分0秒

現場の状況を知らずに軽々と批判はしたくないが、高齢者の山歩きに留意すべき教訓がいくつか読み取れる。我々も要注意。

ガイドでさえ死亡されているので、よほどの嵐だったようだが、遭難者の着衣の状況についてあまり報道されていないのが気になる。持っていても着ていなかったり、いまだに木綿の下着だったりの例はなかったのだろうか。

Re: ご無沙汰です！

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009 年 7 月 19 日(日)22 時 38 分 35 秒

> [No.790\[元記事へ\]](#)

穂高トレーニング合宿は、悪天候のため中止しました。

昨日は、ファルトボートで日本海に浮かんできました。

海水浴シーズン真っ盛りで、駐車場代は取られるし、魚はあんまり釣れないで帰ってきました。

川野は中国へ。良いですね。

日本では天気が悪いようですが、中国の天気が良かったらよいですね。

原稿 他

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009 年 7 月 19 日(日)15 時 12 分 39 秒

福田さん！連絡ありがとうございます。

原稿ですが、書けそうにありません。また、書けるような山にも行ってません。申し訳ありません。

この秋からは、大阪に嫁ハンを呼び、松本の家は貸し出す予定です。これまでのように北アルプスにも簡単に行けなくなります。残念ですが仕方ありませんね。なお、定年後（10 年先）には松本に戻る予定ですが、どうなることか分かりません。嫁ハンは、松本を離れたくないようですが、経済的には別々に暮らすには無駄が多過ぎます。嫁ハンにとっては24 年ぶりの大阪。完全アウェイです。

夏休みには、明神岳主稜から槍ヶ岳を考えています。山本隊と逆コースです。

尾瀬・燧ヶ岳

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 7 月 19 日(日)13 時 00 分 16 秒

暑さにもめげず頑張ってます。先週は会社OB 仲間と燧に登ってきました。尾瀬沼には52 年ぶりでした。若い頃は、このような山にはあまり興味がなく、いずれ年とってからゆっくり登ろうかと取ってあった山のひとつです。

今回、仲間を得て実現したのですが、結構しんどかったです。帰ってからも太ももの筋肉痛と、蜂に刺された痕の痛みで難儀しています。山は逃げないなんて言ってますが、年とともに遠くなってしまうことを実感した次第。同じ理由でまだ行っていない北アの銀座コースなども、今や届かぬ彼方のものとなってしまいました。

沼畔に咲き乱れる日光キスゲや、稜線近くの石楠花も良かったです。頂上からは、尾瀬沼、尾瀬ヶ原、至仏山はもとより、上越国境の山々、日光白根、男体山など、360 度の眺めを楽しめ、下山にとった北側のルートも、雪渓あり、湿原ありで変化に富んだものでした。

恐れていた山小屋の混雑はなく、尾瀬沼ヒュッテでは、全てゆったり個室というのも今昔の感ありです。トムラウシの大遭難のような目に遭いたくはありませんが、気力、体力に合った山へはこれからも登りたいと考えておりますので、よろしくお付き合い下さい。

山嶽寮の原稿依頼

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 7 月 18 日(土)11 時 13 分 55 秒

川野さん

先のメールは山嶽寮の原稿の執筆依頼をしようと思い、送信しました。

既に締切日を過ぎておりますが、7 月末締めで可能であるなら、山行記、紀行文をお願いします。1200 から 2000 字程度で。

以上ですが、ご執筆の可否を予めお知らせいただけると幸いです。

福田信三

ご無沙汰です！

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009 年 7 月 18 日(土)10 時 48 分 31 秒

福田さん、メルアドの返信遅れて申し訳ありませんでした。

今日、久しぶりにパソコンを開きました。

山本さんもいよいよヒマラヤですね。楽しんできて下さい。

週明けの月曜から皆既日食を見るために中国に行きます。

晴天を祈るばかりです。

皆さんの夏休みはいかがですか？

図書紹介ありがとう

投稿者：田邊 潤 投稿日：2009 年 7 月 14 日(火)11 時 30 分 35 秒

越田さん図書紹介ありがとう。

仙吉が NAUTILUS なんか訳していることを全く知りませんでした。1－12 巻全部と田村俊介さんのシホテ・アニリ山脈横断記を合わせて注文完了しました。こんご仙吉の訳本紹介を必ずお願いします。

そろそろ退職後にすることの準備を始めます。

ガチャ

Re: ご支援のお礼 (中間報告)

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009 年 7 月 11 日(土)00 時 22 分 55 秒

> [No.785\[元記事へ\]](#)

この度は、沢山の方々から多大なご支援をいただき、本当に有難うございます。

今のところ、10 月 10 日出国し、武漢、成都、ラサ、ラグー経由で 17 日に BC 設営。18 日より 11 月 22 日まで最大 36 日間の登山期間で KG-2：6708m を目指します。再びラサ経由で、1

1月29日帰国の予定です。

神戸大のメンバーとは、昨年5月の白馬主稜・杓子双子尾根に始まり、11月御嶽山、12月爺が岳東尾根、本年3月八ヶ岳阿弥陀岳北稜・赤岳主稜、5月剣北方稜線と、トレーニング合宿を重ねてきました。

また、7月18日～19日奥穂高南稜・明神主稜、8月14日～16日剣真砂沢周辺、9月20日～23日富士山とトレーニング山行を予定しています。

息子と同じ世代の現役大学生と一緒に山に入っていると、すばらしい仲間と一生の宝物ともいえる楽しい思い出につつまれた現役時代に戻った気分になっています。

井上さん（神戸大学山岳会長）と山田さん（事務局長）が、明日11日から北京に行き中国登山協会と最終の交渉に入ります。

このような組織的な山登りは初めての経験で分からないことだらけです。各方面でいろいろと教えていただきながら何とか準備を進めています。

まだまだ、乗り越えないといけないハードルはありますが、一つ一つクリアしながら、今できる限りの山登りを楽しみたいと思っています。

訃報

投稿者：武田 雄三 投稿日：2009年7月10日(金)13時24分58秒

国府三郎様（旧18理）が去る6月24日85歳で逝去された旨、兄上である国府雄次郎様（旧12理）よりご連絡が有りました。

茲に謹んでお悔やみ申し上げますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

合 掌

なお、葬儀等一切は済まされておられる由です。

ご支援のお礼（中間報告）

投稿者：カンリガルポ支援甲南有志の会 投稿日：2009年7月9日(木)21時53分10秒

4月の山岳会総会後の懇親会でご賛同いただきました、神戸大山岳会・カンリガルポ学術登山隊に参加する山本恵昭君への支援に、早速多くの方々よりご支援を戴きました。

中間報告では有りますが山岳会ホームページをお借りし、お名前をご紹介して厚くお礼申し上げます。

カンリガルポ学術登山隊支援

甲南山岳会有志の会 代表 武田雄三

ご支援いただいた方々

名誉会員・顧問

山本 三郎 神戸 謙司

旧制高校

鷺尾 顕 小川 守正 福井 實

新制高校

米山 悦朗

大学

阿部 公義 砂川 彰雄 雨宮 宏光 麻畠 重彦
鈴木 頼正 田辺 潤 芦田 匡平 伊丹 弘忠
鳥居 威男 越田 和男 廣瀬 健三 藤安 賢一
大関 和夫 二谷 和成 福田 信三 武田 雄三
村上 與利一 森本 全彦 奥山 正紀 竹中 統一
安井 正 水渡 清夫 伊丹 徳行 柏 敏明
塩崎 将美 鈴木 功 浪川 純吉 石原 浩二
南里 章二 矢吹 操 井上 知三 鷹巣 和則
山本 真博 平井 幹男 高橋 けい子 中澤 章浩
西村 清 松下 哲夫 大勝 規弘 大森 雅宏
青木 雅夫 八木 健

関西学院山岳会

小西 啓右

(敬称略・順不同)

訂正・付記

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009年 7月 8日(水)06時 45分 40秒

先の甲南高校歌の一部は""緑の森に彩られ""の間違いでした。

六甲のNAMING：昭和8年に出了竹中靖一氏の力作「六甲」より引きました。
この名著に藤木九三のあとがきが有ります。

著者竹中君は古くから私が畏敬している若い学徒である。又最初同君と志を一つにして
この書の一部を担当された古市君は私と同じく六甲の山下に住み私の宅にもしばしば
来訪された。この二人が大阪高校にあって熱心に六甲を研究していた頃の
旅行部長財津教授もしばしばお目に懸かったことが有る。その三人の意図は今や
ただ一人残った竹中君の不撓の努力により遂に集大成を見るに至った。
要するにこの著が世に出るになったのは全て六甲を機縁としそれをーって連なる
人情の美しさの反映だと信ずるものである。それ以外多くを語る必要はない
拙文の筆を措くに当たり心からの喜びを捧ぐるものである。

昭和七年冬 六甲山麓にて 藤木九三

泉南の山

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009年7月7日(火)18時15分32秒

一度、金剛山に登ってみたいと思ってます。冬が良さそうですね。ついでに、六甲山のNAMING関連を記します。

六甲山は凄く古くは武庫山、御影山と呼ばれたらしいです。六甲（むこう、ろっこう）と呼ばれるように成ったのは、極めて近世の模様。""むこうの麓に霧晴れて、緑の森に囲まれて、しるくも浮かぶ学びの舎（や）""と、母校の校歌が出てきました。

図書紹介「タイガを通過」

投稿者：越田和男 投稿日：2009年7月7日(火)11時06分30秒

甲南山岳会にも知己の多い岳友田村俊介さんの訳本が久しぶりに上梓された。著者ウラジーミル・アルセーニエフ（1872～1930）はロシア極東の探検家であり、かつて黒澤明の監督で映画化されたロシア映画「デルスー・ウザーラ」の原著者としても知られる。

今回の「タイガを通過」は副題に「極東シホテ・アニリ山脈横断記」とあり、1927年、著者の最晩年の探検紀行である。この山脈とその支脈は、ロシア東部沿海地方とハバロフスク地方にまたがるもので、西がアムール及びウスリー河、東が日本海に接し、日本の本州に相当する面積の広大な地域である。

我が国のすぐ隣にこのような大自然が今も残っているというのも驚きであり、全くの未踏査地域に原住民の協力を得て成し遂げた困難極まる踏査行を綴った本著は興味深い。ハバロフスク博物館長を長く勤めた著者の動植物学、地理学、それに民俗学への造詣の深さにも感銘を受けた。

ちょっと所謂玄人好みの本で高価だが、巻末には訳者による「アルセーニエフ小伝」があり、先ずこれを一読して本文にとつくのをお勧めする。

書名：タイガを通過ー極東シホテ・アニリ山脈横断記ー

著者：ウラジーミル・アルセーニエフ

訳者：田村俊介

出版：平凡社（東洋文庫）2009年6月

定価：2600円＋税

金剛山

投稿者：福田信三 投稿日：2009年7月6日(月)18時23分25秒

柏さん

冬(凍結期)に一度登ってみたいなと思っていました。

ネットではライブカメラで頂上付近を見ることが出来ますね。

実は六甲山という名前のいわれの最も信憑性のあるもの、

泉南あたりから対岸の山(今の六甲山)を”向こうの山”

と言ってきたのが”武庫の山”に変わり更に”六甲（むこ）の山”

になったとのことでした。

ただ、これも園田女子大学のおしゃべり某先生がまくしたてるいつもの話
によるもので、本当はどうだか？
失礼しました。

久し振りの金剛山

投稿者： 柏 敏明 投稿日：2009 年 7 月 5 日(日)17 時 44 分 50 秒

土曜日、梅雨の晴れ間に久し振りに泉南の金剛山（1,125m）に登って来ました。
メンバーはカンさんとドン吉君、小生の 3 名。我々の年代は泉南の山とは
割となじみが少なく、カンさんは初めて、ドン吉君は 4～50 年前に金剛山に
登った事がある位、小生は泉北 N T に住んでいますので子供達が小さい頃から
良く登ったものでした。しかし、十数年前、水越峠から紀見峠まで、2～3 回に
分けて家内と一緒にダイヤモンドトレイルを縦走して以来、泉南の山々とは
すっかりご無沙汰していました。

手始めということで、カンさん、ドン吉君には全く役不足の千早本道ルート
に登りました。11 時 20 分に登山口を出発。始めから終りまで木道の階段の連続。
日頃里山を歩いてある程度自信があった積りが、汗だくでバテバテとなり
何時ものように二人から大幅に遅れて 12 時 40 分に山頂に到着。葛木神社で
記念写真の後、ブナ林を散策して千早赤坂村営の香楠荘で昼食をとる。
ここで風呂に入る積りでしたが、下りでまた汗をかくのは嫌やなと下山後に
入浴することに変更。念仏坂を 40 分位で一気に下山。河内長野の風の湯という
所で汗を流す。その後、拙宅に寄って貰い久し振りに賑やかな夕食を楽しんで
解散となりました。

最近は湾岸線もあるので神戸からのアプローチも短くなっています。二上山、
大和葛城山、金剛山、岩湧山、槇尾山、和泉葛城山…と 1,000m 前後の山が
連なっており、ダイヤモンドトレイルという縦走路も完備していますので、
昔と違って結構楽しめる山になっていると思います。偶には泉南の山々にも
目を向けて頂ければと思います。

「ノーチラス号の冒険」完結

投稿者： 越田和男 投稿日：2009 年 7 月 4 日(土)17 時 28 分 6 秒

岳友平井吉夫の渾身の訳業、ノーチラス号の冒険シリーズ・全十二巻の完結編「ノーチラス号の帰還」が絶
賛発売中です。第 1 巻発売から 3 年余り、この間各巻を楽しんでこられた方も、途中までの方も、この最後
の大冒険を見逃すわけにはいきません。なんせ、原書出版元ドイツでは 3 0 0 万部のベストセラーだそうで
から。

ちょっと分厚いこの最終巻の巻末には、定評のある訳者のあとがきに加え、登山家でありエッセイストである横
山厚夫さんのユニークな書評『「いくつなっても」と「いい歳をして」の冒険小説』があります。

書名： ノーチラス号の帰還
著者： ヴォルフガング・ホールバイン
訳者： 平井吉夫
出版： 創元社 2009 年 6 月
定価： 1400 円＋税

川野さんのメールアドレス

投稿者： 福田信三 投稿日： 2009 年 6 月 30 日(火)09 時 44 分 47 秒

川野さん
メールアドレスを教えてください。
福田信三

パフさんの個展

投稿者： 田邊 潤 投稿日： 2009 年 6 月 26 日(金)16 時 49 分 44 秒

パプさん
行きたい行きたいと思っておりましたが遂に行くことができませんでした。案内をいただいておりますながら実に残念です。なんでこない忙しいのか私にもわかりません。次回も是非誘ってください。

山岡静三郎

投稿者： 福田信三 投稿日： 2009 年 6 月 23 日(火)21 時 17 分 21 秒

越田さん
早速のご回答ありがとうございました。
早々に関氏に返事を書きます。

追記： 原稿の御執筆の方、よろしくお願いいたします。

福田

Re: 故 山岡静三郎氏

投稿者： 越田和男 投稿日： 2009 年 6 月 18 日(木)14 時 30 分 41 秒

> [No.774\[元記事へ\]](#)

福田信三さんへのお返事です。

山岡静三郎さんの訃報（日経）によれば、平成 20 年 12 月 14 日、肺炎のため死去、享年 92 歳、略歴としては元住友化学常務となっていました。

昭和 9 年の白亜城事件で、山岳部の主な部員が一斉検挙されて部の活動が一時停止されたあとの再建

に尽力された方です。また晩年、入院先で故伊藤愿氏の未亡人と偶然お会いになって、伊藤愿さんの遺稿集である「妻に送った九九通の絵葉書ー伊藤愿の滞欧日録ー」の出版の機会をつくった方でもあります。

先ほど電話で伊藤文三氏と話しましたところ、文三さんが追悼文を書いてみるとのことでした。

故 山岡静三郎氏

投稿者：福田信三 投稿日：2009年6月18日(木)10時52分59秒

関集三氏に故山岡氏の追悼文を依頼しましたが、余りにも昔のこと、故山岡氏とは一緒に登ったことがない、などの理由で御執筆お断りのお手紙をいただきました。その中で、故山岡氏が“何時何処で逝去されたか”の御質問がありました。

どなたか御存知であれば教えてください。返信に書きたいと思います。

東京甲南会・高木應光氏のお話

投稿者：越田和男 投稿日：2009年6月14日(日)18時28分36秒

先日久しぶりに東京甲南会の月例会に出席した。ゲストスピーカーは「神戸スポーツはじめ物語」の著者の高木氏（昭和43年経営卒）で、「スポーツ先進地～神戸・阪神間～」なる演題。米寿を迎え益々お元気な福井グリーン先輩も出席された。

登山、ラグビー、テニス、ゴルフ、陸上などについては旧制甲南高校の活躍ぶりも、古い写真なども使って紹介があった。

山関係では、北アルプスに残るいくつかの甲南ルートのことや、田口一郎、二郎兄弟の戦前の欧州アルプスでの写真など。またラグビーでは戦前のインターハイでの甲南の全国優勝の直後に写されたグラウンドでのラグビー部員の写真にグリーンさんが写っておられ、ご本人もびっくりされるし、「それ私です！」の声に出席者一同より感動的な大拍手があった。

私にはおまけ付きで、会の終了後にグリーンさんに生ビールをご馳走になり、誠に楽しいお昼時だった。

ご無沙汰です

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009年6月14日(日)14時01分25秒

皆さんお元気ですか？大阪の自宅にもやっとインターネットが入りました。

塩崎さん！5月登山のHPへのアップありがとうございました。森本さん！お元気そうで何よりです。また何処かにご一緒して下さい！久しぶりに書き込みを拝見しました。皆さん活発です。私も頑張ります。

大阪へ転勤してから2ヶ月が経ちました。通勤のストレスからも開放され快適です。ただ、松本には以前のように頻繁には帰れないのが“玉に瑕（キズ）”です。

ところで、皆さん！夏休みはどちらへお出掛けの予定ですか？私は、明神岳主稜から前穂・槍を考えています。久しぶりにテントと登攀具を持参します。

米山悦郎さんの個展

投稿者：越田和男 投稿日：2009年6月11日(木)11時56分58秒

米山悦郎写真展「伊那谷に生きる」が6月18日(木)～24日(水)開催されます。

場所：新宿区新宿1-4-10 アイテム本社ビル2F

アイテムフォトギャラリー「シリウス」

電話03-3350-1211

<http://www.photo-sirius.net>

地下鉄丸ノ内線新宿御苑前駅

A 大木戸門方面出口 徒歩1分

B 新宿門方面出口 徒歩2分

時間：10:00～18:00（最終日は15:00まで）

ご都合つけて是非ご来場ください。なお、東京在住者有志で23日夕方集まり祝意を表してビールでも飲もうかということになっておりますので、ご賛同の方は当日18:00頃までにご来場ください。

付記

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009年6月2日(火)18時43分21秒

1998年にボナッティが来日した時、「我が山々に」に記された“”其の厳しい道場から――””の処に原文（イタリア語）で記して欲しいと依頼せしところ、チョット考えて、この日本語訳はやや違うようだが、と断って一気に記してくれました。（日本語ペラペラのイタリア人通訳を介して）これを、j a cのイタリア語の大家、谷泰先生に訳して貰いました。其の訳文：我が山々へ 我が心の内なる糧を与えし事へ 限りなき感謝を込めて。：何れにしても、重みの有る言葉には違いありません。あの時の同氏の感じの良さと同伴のかつての美人女優、ロッサナ ポデスタの魅力的な佇まいが思い出されます。

ドキュメンタリー映画

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2009年6月1日(月)16時57分20秒

映画題名：アライブ——生還者 <http://www.seikansha.jp/>

上映館：アートビレッジセンター 6月13～17。19:50のみ ￥1,700

078-512-5500 6月16日休館

原作『アンデスの奇跡』ナンド・バラード + ヴィンス・ラウス 山溪・2009

1972年10月。アンデス山脈に45人の乗客を乗せた旅客機が墜落し奇跡的に32人が助かるが、極寒と飢餓のうちにさらに16人がつぎつぎと死亡。残った16人のうちの2人が4,000m級の雪山を越え脱出に成功、救助隊を遭難現場に導く。その1人、ナンド・バラードが35年の時を経て語る事実。死者の肉を口にして生き続ける、生存者たちの生き残りをかけたむき出しのエゴ.....。

同じ題材で書かれた『生存者』・平凡社・永井淳訳・1974と違い、35年の年月が過ぎてそのときの強烈な印象が風化したのでしょうか。

1人称形式で書かれたノンフィクションだが生還者16名とのインタビューを文中に

挿入し・当時の事実には迫っています。山岳映画ではありません。

二度、寄稿しましたが

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009年6月1日(月)07時22分55秒

朝日新聞が「山歩き」と言う題名で、募集してましたので、出しました。今朝、ヒョットとして
と思って、新聞を開きましたが、ヤッパリ？駄目でした。以前「北鮮による拉致問題」について、出しましたがこ
れもアウト。載っている文と比較しました。拙文はテーマからやや
外れていたのカナ。

――或る登山家の言葉――無職 廣瀬健三 大阪府池田市 70

「其の厳しい道場から我が青春が学び取った心の幸せにたいして限りなき感謝を込めて」
これは1950-1960年代の究極登山の先駆者の一人、ワルテル ボナッティの名著：
我が山々へ：の冒頭に記されてる一文です。又、この本には次のような事も書かれてます。
「自分と同じような子供たちが、精巧なおもちゃを、弄り回している時に、自分は野原に出て、裸足で走り回
ったり、とんぼ返りをしているほうが、いいと思う少年のようだった。今は技術が進んで、北極旅行や月の世界
での凱旋を奏でているし、生活が余りにも、安楽なものになってしまったので、大勢の人がすっかり軟弱になっ
てしまっている。山は其の美しさと厳しい法則を通じて、人格形成の比類ない道場であると確信している。」
小生は、若い頃、北アルプスを中心に春/夏/秋/冬と登ってました。其の頃、山での
活動を修練の場など考えた事も無かったですが、振り返りながら思うに、納得性の有る言葉と思います。
この何かがおかしい現代社会に於いてこそ、アウトドア活動の良さを再認識し、将来の日本
を背負う健全なる青少年の育成の場を見直したいものです。

登山家小西浩文トークショー「天の上を目指して」

投稿者：ハウスクエア横浜 投稿日：2009年5月30日(土)14時16分43秒

6/14（日）14時から横浜で、
8000m 無酸素登頂の登山家小西さんの講演会を開催します。

登山家小西浩文トークショー「天の上を目指して」

日 時

6月14日（日） 13:30 開場 14:00 開演

場 所

横浜市都筑区中川 1-4-1 ハウスクエア横浜

ハウスクエアホール

<http://www.housquare.co.jp/>

045-912-7473

最寄り駅

横浜市営地下鉄ブルーライン 中川駅

横浜駅、渋谷駅からの所要時間は約 30 分です。

駅からは徒歩 2 分です。

参加費
無料

定 員
150 名

主 催
ハウスクエア横浜

*お電話でご予約ください。
ハウスクエア横浜イベント係
045-912-7473

皆様のご参加をお待ちしています。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2009 年 5 月 26 日(火)06 時 58 分 0 秒

廣瀬さんのスズコ採りの写真をアルバムに U P しました。

マチュピチュ

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 5 月 25 日(月)10 時 18 分 56 秒

越田さん、いい所へ行かれてましたね。私も一度はと思っていますが、なぜここが人気 NO 1 の世界遺産なのか分かりません。しかし、やはりすばらしいようです。ただ、南米は飛行時間が長いので、なかなか踏ん切りが付きません。

確かに知名度というのはおかしいもので、人が勝手に決めたもののなのにそちらへ誘導されてしまう習性が人にはあるようです。ダビンチのモナリザに人が集まるのと同じでは？

インフルエンザ対処、軽減時の帰国、良かったですね。感染者の席に近だけで拘留なんて、かなり過剰の感じがしました。

さて、それではお願いします。この旅行の紀行文を是非お願いいたします。納期は 6 月中旬から月末でお願いいたします。写真も是非。

スズコ採り

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009 年 5 月 24 日(日)20 時 48 分 18 秒

森本カンロク兄の回復祝いを兼ね、昨日、氷ノ山 山腹に二谷ノドン吉兄、三人と行って来ました。

彼の回復力には驚きました。大変結構な事です。塩崎兄：写真送りますので、掲示板にのせて下さい。

ペルーへ行ってきました

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 5 月 24 日(日)00 時 14 分 40 秒

昨夜帰国いたしました。

マチュピチュの遺跡を始め、セスナ機に乗ってのナスカ地上絵見物、チチカカ湖遊覧、4400mのララヤ峠越えなどなど、定番の観光ツアーでしたが、日程がタイトなのと高度の影響でダウンする人続出の旅でした。幸い私も夫婦は、一行14名中最高齢であったにもかかわらず、日頃からの節制が功を奏して一番元気で、皆に羨ましがられました。エヘン。

観光旅行だけではもったいないので、マチュピチュではグループを抜け出して、マチュピチュ遺跡の背後にあるマチュピチュ山3051mの山頂まで足を延ばした。遺跡の反対側のワイナピチュ2690mは映像での知名度が高く大人気で、一日の入山者数を400人に制限しており、先着順なので明け方から並んで待つことになっており、これは私の好みに合わない。

反対側のマチュピチュ山の方はそもそもマチュピチュの遺跡の名前の語源。入山制限もないのに行く人は稀。これに登れば遺跡やワイナピチュの大俯瞰がえられ、しかも少し離れたところのサルカンタイや、コルディエラ・ヴィルカバンバ、コルディエラ・ウルバンバなどの6000m級の山々が見渡せる。遺跡周辺の喧騒をよそに、この日出遭ったのは英人カップルと単独行者2名のみ。登り2時間半（標高差500m強）の行程では高山植物も豊富で、静かな山頂で遥々やって来た甲斐ありと、しばしの憩いを楽しんだ。

さて、気になる帰りの成田の豚インフルの過剰な検疫。現地TVでCNNとNHKのニュースを見ていたが、CNNではインフルの報道など皆無なのに、NHKに回すとニュースのトップからえんえんインフル動向ばかり、政府もマスコミも不安を煽ったあげくに、「国民の冷静な対応を期待する」との決まり文句で、やたらマスク姿の多い成田風景をハイライトしていたのがいささか奇異に感じられました。リマやロスの空港でもマスクを生真面目に着用した日本人団体が異常な存在でした。幸い小生らのフライトから検疫が簡素化されたとのこと。約5分で無罪放免万歳。良かった、良かった。

山菜キャンプ中止します

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年5月21日(木)23時01分13秒

新型インフルエンザの感染拡大のため、この土日の山菜キャンプを一旦中止します。
この土日や来週の勤務については、まだ県から通達が降りてこないので不確定です。
この騒動が落ち着いた段階で、まだ山菜に間に合うようでしたら再計画をしたいと思います。

久しぶりにカンさんにお会いできるのを楽しみにしていましたが、またの機会にということで。

山菜キャンプ中止の可能性

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年5月17日(日)23時44分7秒

新型インフルエンザ騒動で、今日は急遽休日出勤となりました。
しばらくは対応に追われることになりそうです。
まだまだ感染者数が増えることも考えられます。これからの状況を見ながらということになりますが、次の週末も出勤の可能性が有ります。

山菜キャンプ、企画しておきながら行けないことになるかもしれません。
その場合、カンさん・浪川さんは日帰りでも行かれるとのこと。

木曜くらいには、結論を出したいと思います。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2009年 5月15日(金)09時05分34秒

川野君から剣の写真が届きました。

アルバムにUPしました。

Re: 山菜キャンプ参加

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年 5月14日(木)20時31分26秒

> [No.758\[元記事へ\]](#)

カンさん

久しぶりのご同行、楽しみにしています。

もし10時集合が早過ぎるようでしたら、12時集合とかに遅らせても良いですよ。

お疲れの残らない範囲で、のんびり楽しみましょう。

山菜キャンプ参加

投稿者：kannroku 投稿日：2009年 5月14日(木)01時01分30秒

恵昭さま 抗癌剤副作用次第ですが参加いたします。現在身体回復過程で至って順調。足は塩さんに頼んでおりますが一杯のときは断念いたします。

“山嶽寮”原稿執筆のお願い

投稿者：福田信三 投稿日：2009年 5月13日(水)13時31分42秒

“山嶽寮”の原稿執筆をお願いします。

現在、非常に少ない状況です。

常連の方、初めての方、どなたもどしどしお願いします。

手書き原稿で結構です。

10月の秋の集会には発行となりますので、

よろしくお願いいたします。

山本さん、おおきに

投稿者：福田信三 投稿日：2009年 5月12日(火)21時56分57秒

山本さん、

カタクリ写真使用許可、ありがとうございます。

早速質問がありました、“あの写真はどこで撮ったのか？”

“六甲山で撮ったのか？”

(無題)

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009 年 5 月 11 日(月)20 時 05 分 54 秒

福田さん

ご自由に使ってください。

早月尾根の下部にはカタクリがいっぱい咲いていました。思わず足を止めて見入ってしまいました。疲れて、休憩の口実がほしかっただけかもしれませんが。

カンさん

ご退院おめでとうございます。また山にご一緒させてください。

もしご負担でなければ、山菜キャンプに来られませんか。

塩崎さん

山菜キャンプのご参加、了解です。

沢山採れた時の持ち帰り用に、発泡スチロール箱を持ってこられることをお勧めします。

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2009 年 5 月 11 日(月)19 時 12 分 54 秒

カンロクさん ご退院おめでとうございます。昔、毛勝谷で怪我をしたときに大変お世話になったことを思い出します。あのときは貴君のバイタリティに感動しました。私も大手術の予後の回復に励んでいます。お互いがんばりましょう。

更なる回復を念じてます

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009 年 5 月 11 日(月)15 時 45 分 18 秒

森本カンロク兄、鍛えし体力とファイトで頑張ってください。

Re: 山菜キャンプ

投稿者：管理人 投稿日：2009 年 5 月 11 日(月)07 時 20 分 15 秒

> [No.748\[元記事へ\]](#)

参加します。スズコ楽しみです。宜しく。

車の同乗者求む。

塩崎

御退院おめでとうございます。

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 5 月 10 日(日)22 時 29 分 43 秒

カンロクさん、

長い闘病生活ご苦労様でした。

激励のための上手い言葉が見つかりませんが、
ご健康の回復をお祈りいたします。
またお元気なお顔を見せてください。
福田

山本さんー写真拝借

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 5 月 10 日(日)22 時 25 分 9 秒

山本重恵昭さん、早月尾根下部の片栗の写真拝借しました。
教会のホームページのトップにアップさせていただきました。
<http://www.rokko-catholic.jp/>
事後承認、よろしくお願いします。

退院報告

投稿者：森本 投稿日：2009 年 5 月 10 日(日)19 時 51 分 42 秒

2 月 9 日入院し 4 月 3 0 日に退院を致しました。癌治療はこんなにしんどいものかと。
皆さん、早期発見をすればこんなに辛い目に合わないのではと思います。これから癌とは長い付き合いが始まるみたいです。
早く平生の体に戻るべく近場の山に登ったり、仕事にも出かけるようにしております。
お見舞いやメールをいただいたり皆様ありがとうございました。

山菜キャンプ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009 年 5 月 10 日(日)19 時 40 分 54 秒

昨年行った氷の山山菜キャンプを、今年もやろうと思います。
暖かい気候でもありますので、昨年より少し早い目の 5 月 2 3 日（土） 2 4 日（日）で行いたいと思います。
2 3 日（土） 1 0：0 0 に大段ヶ平駐車場集合。
スズコやその他の山菜採り、何があるかはそのときのお楽しみ。山菜図鑑などで事前学習を！
夕方、天滝東屋で山菜宴会予定。成り行きによっては大段ヶ平東屋で宴会となるかもしれませんが。

参加される方は掲示板等でご連絡をください。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2009 年 5 月 7 日(木)06 時 57 分 20 秒

山本恵昭君の北方稜線の写真をアルバムに U P しました。

原稿 ありがとうございます

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 5 月 5 日(火)09 時 53 分 38 秒

広瀬さん
原稿の執筆ありがとうございます。
お待ちしております。

剣北方稜線 下山

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年 5月 5日(火)02時44分49秒

今日昼過ぎに下山し、今夜帰宅しました。

2日 快晴：富山県警山岳警備隊事務所に入山届けをして、発信機「ヤマタン」を借りる。馬場島6：40発。雪が少なくブナクラ谷の下部は夏道を利用、ついでにコゴミ採取。上部は右股をつめて稜線へ10：45着。急な雪面をひたすら登り、キャンプ予定の赤谷山に12：50着。まだ早いので先に進み、赤ハゲ14：30。ここから先は岩と雪庇の境目を辿ることになる。明日の朝、雪の締まった時に通過することにして、赤ハゲ山頂を整地しテントを張る。毛勝三山の絶好の展望台。夕食にコゴミ入り炊き込みご飯。

3日 晴れ時々曇り：赤ハゲ5：40発。すぐ目の前の雪稜をスタカット40m。白ハゲの急な下りで念のためスタカット50m。岩混じりの下りを懸垂下降25mで大窓へ到着7：30。急な雪壁を登り、いくつかの岩峰を超えたり巻いたりして、ブッシュ混じりの雪壁をスタカット50m登ると池平山。一昨年滑った東面の真っ白スキー天国とは大違いで、稜線上は切れ落ちている。50mの懸垂下降2回で小窓に到着11：50。再び急な雪面をひたすら登って小窓尾根上へ出る。威圧感のある小窓ノ王の肩の雪壁を懸垂下降50m。ガスも出てきて、神戸大2年生の石丸君いわく「奈落の底へ降りていくみたい」。三の窓14：00、5張ほどのテント村で賑わっている。クラストしていて、蹴り込んでも靴のつま先しか入らない池ノ谷ガリーを登り詰め、池ノ谷のコルにキャンプ15：30。

4日 曇り時々晴れ：池ノ谷のコルを5：30発。長次郎の頭付近の雪稜は思っていたより快適で、最後の急な雪壁をピッケル・バイルを頼りに登り切ると、剣岳山頂到着6：30。早月尾根上部の岩場でルンゼ内が氷化していたので懸垂下降25m。雪が安定していたのでほとんどの岩峰は池ノ谷側をトラバース。2750m付近のブッシュ混じりの雪壁を25m懸垂下降するが少し足りず、もう一回懸垂下降。9：00にやっと安全地帯の早月小屋に到着。ここからは、若者にとっては楽勝、中高年には苦行難行の下り。でも最後は可憐なカタクリの花群落が見送ってくれた。馬場島12：20到着。

途中、我々とは日程が合わず、1泊で剣岳山頂ピストンに入山する井上さん（神戸大山岳会会長）・近藤君（院生）パーティに出会う。

県警に下山報告。馬場島山荘で入浴¥500。渋滞の北陸道を敦賀で降りて、舞鶴自動車道へ乗り換えて帰宅。

やっぱり剣は良いですね。北方稜線は藪、雪稜、岩峰と変化に富んだよいコースでした。

積雪量が少なく天候にも恵まれて、体力的にはきつかったですが思っていたよりハイペースでこなすことができました。



原稿送ります

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009 年 5 月 3 日(日)18 時 35 分 34 秒

福田兄、
カムチャッカでの登山及び提案「ネイチャークラブ」を出来るだけ早く送りますので
宜しくお願いします。

凄いな！！

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009 年 5 月 3 日(日)18 時 31 分 19 秒

山本少年、川野兄、の活動を拝見していて、小生の二十年前と比べてます。
とてもとても、斯様な山登りなどしていませんでした。
撤退する勇気をも持って、登山を継続して下さい。エールを送ります。

山嶽寮 原稿募集

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 5 月 3 日(日)14 時 22 分 14 秒

山嶽寮の原稿を募集しております。随想、随筆、紀行文、論考、図書紹介その他
何でもというわけではありませんが、どしどし送ってください。
小生、編集の仕事を賜ったものの、かなりの重圧です。これから逃れる術は一つ。
早めの準備です。ということで、会員短信と報告の計 16 ページは確保しました。
しかし、これだけではかなりさびしい感。皆様からの原稿をお待ちいたします。
福田信三

連休

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009 年 5 月 3 日(日)12 時 27 分 40 秒

筋肉痛と顔の日焼けで参っています。日焼け止めクリームを十分に塗ったのですが結構焼けました。この年での過度の日焼けは禁物ですね。

福田さん！写真は何枚か撮りました。連休明けに塩崎さんに送信します。

この連休は5 / 9（土）まで休みです。久しぶりに三男以外が帰省し、家族が揃います。のんびりします。皆さんはいかがですか？ところで、山本少年は元気で縦走しているのでしょうか？

写真撮った？

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 5 月 2 日(土)21 時 45 分 34 秒

川野さん

お疲れさま、そして良い天気でよい山行が出来て良かったね。

ところで、写真あればアップしてください

山嶽寮に掲載出来ればと思っています。

川野君の劔岳

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009 年 5 月 2 日(土)17 時 10 分 31 秒

川野君お疲れ様。

毎年の劔岳、情熱が続くものと感心しています。私は今年も家ゴロです。

連休の中なのに、別山尾根で人に会わないとは、なんと贅沢な。

奥大日まで足を延ばすのも元気。

5 6 年の正月の雪はすごかったですね。神城から神戸まで殆ど 2 4 時間運転して帰りました。帰ったらすぐに馬場島。もう 3 0 年近く前になりました。

また次の山行のカキコミも「疲れた!!」で締めくくってください。

残りの連休は奥さんサービスに。ナニ。余計なお世話ですか。

劔岳

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009 年 5 月 2 日(土)15 時 35 分 30 秒

先程、劔岳から戻ってきました。大森さん、県警からの連絡先の件、ありがとうございました。3 日とも快晴で計画通りに登ることが出来ました。以下報告です。

・ 4 / 3 0（木）快晴 室堂 10:30⇒劔山荘 14:10

室堂は連休 2 日目で結構混んでいた。快晴の下、劔山荘を目指す。雪は少ない。立山三山の稜線は地肌が出ていた。雷鳥沢の登りはスキー・ボードを担いだ人が列をなしていた。劔山荘には、私も含めて 1 0 人ほどで大半がスキーヤー。明日、劔へ向う人はいない。少し不安。

・ 5 / 1（金）快晴 劔山荘 4:00⇒一服劔 4:50⇒劔岳 7:30⇒平蔵のコル 8:15⇒平蔵谷出合 8:45⇒劔山荘 10:30⇒雷鳥ヒュッテ 14:00

真っ暗な中、ヘッドランを点け出発。今日は一日中晴れなので、登攀具・食料以外はほとんど持たない軽装である。小屋裏からトレースを辿る。これは、下りのステップで歩幅が広くて疲れた。一服剣の手前で夜が明けた。風が少し出てきて寒い。少し進むと前剣の急登にかかる。下からの見た目では、傾斜は緩い様に見えたが、取り付くと結構急であった。ピッケルとバイルと効かして慎重に登った。落ちたら終わりである。前剣からも悪く、門と平蔵のゴルヘの下降が厄介だった。細い雪稜の急な下りで、普通ならザイルを出す所だろう。落ちたら東大谷へ一直線。ここは慎重にクライミングダウン。緊張した。平蔵のゴルからは、昨年、登っているので特に問題なし。カコの横ばいに行く。梯子と鎖を掴んで快適。雪は殆ど無くて夏の状態に近い感じがした。直下の急な雪田を登り、早月尾根の分岐を過ぎると頂上であった。快晴で360度の大パノラマ。祠は屋根が3分の1位出ていた。山本は数日後にここを通過するであろう。黙祷後、下山にかかる。往路に戻る。早月の分岐直下が少し急な雪田で、少し悪かった。平蔵のゴルからはシリコで出合へ。途中、登ってくる3人のスキーヤーとすれ違った。本日、見かけた唯一のパーティである。剣山荘に戻りデポを回収し、雷鳥沢に向った。今日は、剣沢には、スキーヤーが殆どいない。連休の中日？雷鳥沢をシリコで下降。雷鳥沢ロッジに泊まる。一人部屋で快適。温泉も良かった。

・5 / 2 (土) ロッジ 4:15⇒奥大日岳 6:45⇒雷鳥沢 8:40⇒室堂 9:50

真っ暗な中、ヘッドランを点け出発。今日も、食料と水だけの軽装である。ロッジから稜線までは、暗くて遠くが見えないので適当に登った。稜線からは快適な雪稜を辿り、奥大日岳の頂上へ。五六豪雪の冬山では、撤退時に、御前小屋から奥大日のプラトーまで、西岡・八木との3人パーティで丸二日かかった。首まで潜る猛烈なラッセルであった。当時が思い出された。帰りは往路を辿り雷鳥沢へ下降。デポを回収して松本に戻った。なお室堂は大混雑であった。疲れた！！

大学山岳部のホームページ

投稿者：福田信三 投稿日：2009年4月30日(木)23時59分53秒

本日、現役、江田君と学生部へ行き、ホームページのソース（中身）をダウンロードしてきました。中身はわかりました。ちょっと旧式のフレーム方式を使っていたので、今流のテーブル方式に改定します。出来次第見ていただきます。

府立大遭難事故

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2009年4月29日(水)19時50分17秒

本当に残念です。

京都府立大とはクビ・カンリ遠征以来の付き合いがあります。

滋賀にて一緒に研修をともにしており、当人とも面識がありました。

OBの中島や藤井とも話しましたが、信じられません。

ご冥福をお祈りいたします。

合掌

剣岳

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009年4月29日(水)17時52分45秒

ご無沙汰です。久しぶりに松本に戻ってきました。

明日から剣岳に行ってきます。

安全登山に努めます。

剣北方稜線

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009 年 4 月 28 日(火)22 時 18 分 44 秒

神戸大の若手と、1 日夜発で剣北方稜線に行く予定です。

馬場島→赤谷山→剣岳→早月尾根→馬場島のコースですが、ここ数日の悪天でかなりの積雪があった模様。無理せず慎重に行動します。

信じられぬ 伊藤 達夫氏（1957～2009）の遭難

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2009 年 4 月 28 日(火)18 時 31 分 55 秒

今朝の朝刊（09.4.28）で北ア・後立山連峰・鳴沢岳（2.641m）に入山した京都府大山岳部の男女 3 人が予定日を過ぎても下山しないという報道をみました。

案じていたが夕刊で、男性 2 人遺体発見の報を読んで、あの伊藤さん、かと信じられぬ思いです。丁度、伊藤さんの登攀資料の整理をしていて、なんとすごい岳人と感心していただけに尚更です。

伊藤達夫（1957～ここに、2009）と書かねばならぬとは。残念です。

その登攀は海外に背を向け、穂高、後立山連峰の賑わいを避け、厳冬と豪雪、悪天候のもとで、もっとも困難な場所、剣・立山・黒部山群を執拗に攀じ、壁と尾根をつなぐ継続登攀を標榜され、いまなお日本国内でアルピニズムを継承する社会人登山家として屈指の存在でした。惜しい人を亡くしました。

略歴：信州大学から京都府立大学大学院卒。京都府立大学院助教
（農学博士・森林計画学・登山学）山岳部コーチ。京都左京勤労者山岳会理事。

岩小屋のまわり

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009 年 4 月 26 日(日)13 時 16 分 21 秒

飯田様

岩小屋の周りは背丈より高い木々が生えていました。

西宮方面の視界はきいてなかったと思います。

ホームページのパノラマは少しはなれたところから撮ったと思います。

40 数年の歳月、木は茂るものですね。（毛は抜けます・・この頃雨がすぐわかるようになりました）

一度ゆっくりおいでになって、六甲山イマムカシをご覧ください。

私が子供の頃よく行った六甲の東はし、大平山から塩尾寺あたりも「へえ」と思うくらい変わっていました。

追伸 鳥の羽根は気がつきませんでした。

荒地山の岩小屋

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009 年 4 月 26 日(日)10 時 40 分 12 秒

はずかしながら、この岩小屋、全く記憶に御座いません。越田コシあたりから
””なに言うてんねん、――年――月にだれそれとひとつとるやん””との声が
聞こえてきます。ノンキ久三郎、どうしているのやろう。ノンキ伊藤文三大先輩、
尚、お元気の御様子、大慶至極に存じます。

荒地山

投稿者：飯田 進 投稿日：2009 年 4 月 26 日(日)09 時 49 分 26 秒

大森君 岩屋に鶏の羽落ちてなかったですか。現役の時 ニワトリ一羽持ち込んで、
鳥鍋で一杯やりました。岩屋からの眺めは遮るものがなかったように思います。

甲南山岳部のノンキ

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 4 月 25 日(土)19 時 08 分 4 秒

大森君

50 年も前の写真でしたが、大関、カンロクは感じは今と同じですね。

ノンキさんは計 4 名です。旧制の 3 兄弟は新一（故人・昭和 10 年卒）、収二（故人・昭和 11 年
卒）、文三さん（今もお元気・旧制昭和 15 年卒）。更に弟さんが居られて五介さん（旧制昭和 25
年修）はノンキでなく、もっぱらゴスケさん。

写真に写ってたのは新制で小生と同期の伊藤久三郎。旧制 4 名とは姻戚関係なしですが、入部と同時に
ノンキを拝命。

岩小屋

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009 年 4 月 25 日(土)17 時 19 分 55 秒

木の育ち具合が違いますが、岩は同じ。
中から外を眺める、の図を貼り付けます。

大関さんと森本さんは面影あり、です。

ノンキさん、3 名おいでと聞いたことがありますが、そのうちどなたですか。

私思うに、収二さんでは。



Re: 荒地山の岩小屋

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009 年 4 月 25 日(土)13 時 35 分 15 秒

> [No.725\[元記事へ\]](#)

越田様

貴重なお写真を有難うございます。

岩の重なり具合など、写真とまったく同じ状態でした。皆さん、若い！

ただ、周辺の木が大きくなり、写真ほど開放的な雰囲気では有りません。

特に入り口付近は木陰となり、もっと暗い感じになっています。

当時は本当に展望が良かったのでしょうか。

暑くなるまでに、時間ができたら泊まりに行ってみようと思います。

荒地山の岩小屋

投稿者：管理人 投稿日：2009 年 4 月 25 日(土)05 時 58 分 35 秒

アルバムに写真をＵＰしました。

荒地山の岩小屋

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 4 月 24 日(金)15 時 12 分 55 秒

大森、山本両君が岩小屋の存在を確かめてくれたので、懐かしくなり、昔の写真を引っ張り出して眺めました。頑丈そうで大地震にもびくとしなかったようです。

写真は、昭和 34 年 9 月に、伊藤ノンキ、大関、カンロクと 2 泊した時のものです。眺めが良くて涼しくて快適なるも、水はブラックの下（当時は水が流れていた）まで汲みに行かねばならず不便なのが玉に傷でした。塩崎君に頼んでアルバムに載せてもらいますのでご一覧ください。

写真拝見中

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009 年 4 月 24 日(金)05 時 51 分 35 秒

慰霊祭は矢張り晴天がいいですね。大森兄、多くの写真有難う。又、下山時オ二さんに付き合って呉れて多謝。助かりました。

写真のＵＰ

投稿者：管理人 投稿日：2009 年 4 月 23 日(木)19 時 31 分 30 秒

大森君が総会と慰霊祭の写真を送ってきました。

アルバムにＵＰしました。

ＨＰ用現行など

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 4 月 23 日(木)13 時 53 分 50 秒

井上さん

総会、慰霊祭の参加者などのわかるデジタル原稿お願いします。

山本恵さん

会計報告のデジタル原稿、添付で小生へ直接送ってください。

Re: ヒマラヤ国際映画祭

投稿者：越田和男 投稿日：2009年4月23日(木)13時44分14秒

> [No.720\[元記事へ\]](#)

塩崎様

小生観たのは「雲竜の国へ」(カナダ映画)のみ。一輪車でブータンの山道を駆け巡るというものでしたが、小生の趣味に合わず、従って人にすすめてません。やっぱり登山ものが良いのでは。

> 5月の2日から6日まで神戸映画資料館でヒマラヤ国際映画祭

<http://himalaya2009.jakou.com/home.html> が開かれるようです。

> 見に行きたいと思いますが全部は見れません。

> どなたかこれはと言う作品教えてください。

> 塩崎

ヒマラヤ国際映画祭

投稿者：塩將美 投稿日：2009年4月22日(水)19時28分45秒

5月の2日から6日まで神戸映画資料館でヒマラヤ国際映画祭

<http://himalaya2009.jakou.com/home.html> が開かれるようです。

見に行きたいと思いますが全部は見れません。

どなたかこれはと言う作品教えてください。

塩崎

有難うございました。

投稿者：柏 敏明 投稿日：2009年4月22日(水)08時47分56秒

天候に恵まれ、久し振りにさわやかなハイキングを楽しませて貰いました。足のほうも大丈夫のようです。これから誘ってください。
姉からも、色々とお世話になり有難うございましたと、皆様にお礼を伝えくださいと伝言がありました。



事務担当より

投稿者：井上 知三 投稿日：2009 年 4 月 22 日(水)06 時 18 分 24 秒

訃報のお知らせです。

昨日、徳末さんの奥様よりご電話があり、主人 徳末 省三(旧制 21 理)は昨年(2008)年 10 月 17 日に 82 歳で他界したとの連絡がありましたのでお知らせ致します。

総会(懇親会)

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009 年 4 月 22 日(水)00 時 00 分 41 秒

総会が終わって、懇親会の乾杯のご発声を小川さんをお願いしました。

4 月から経営学部で「危機管理の経営学」を講義しておいでと伺いました。

大学山岳部の部員減少を「危機管理」の面から分析、現状打破についての展望を力強く述べておられるところ。

(大きな写真は近日中に塩崎さんのお手元に届けます。アルバムによろしく。)



慰霊祭 1-というより荒地山の岩小屋

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009 年 4 月 21 日(火)23 時 40 分 39 秒

慰霊祭の前夜(つまりは総会の夜です)越田さんから「荒地山の岩小屋、君ら知ってるか」。存じませんでしたので探しに行きました。

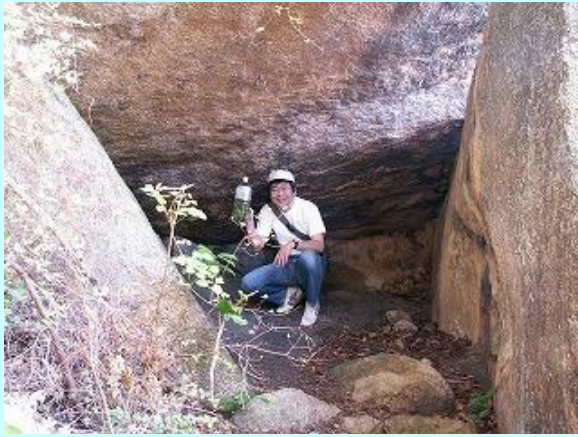
ありました。

思ったより広くて、今も良く使われているみたいです。

手に持っているのは山菜のはいたペットボトル。

(ほかに入れ物がなかった・それから「何で唐突に山菜や」という方は、しばらく読み進んで山本君のカキコミをご参照ください)

カキコミ 1 件に複数の写真を入れる方法がわからないので、1 枚ずつ。紙芝居風。



慰霊祭 2

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009年4月21日(火)23時37分35秒

越田さんから「夜景がきれいねん」といわれて。確かに、パノラマ。今度は泊ってみようかと思いました。



慰霊祭 3

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009年4月21日(火)23時35分27秒

岩小屋あたりから風吹き岩。人がいっぱい。



慰霊祭 4

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009年 4月 21日(火)23時 33分 28秒

集合写真。今年はいつもの羊歯の斜面の左手で。



慰霊祭 5

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009年 4月 21日(火)23時 32分 1秒

物故会員 柏秀樹さんの奥様と柏敏明さん。



慰霊祭 6

投稿者：大森雅宏 投稿日：2009年 4月 21日(火)23時 29分 44秒

いつものお客様、乾さんと本田さんとそのお友達。一番上の列。右の男性は高校OB(S40)の川村さん。



荒地山岩小屋探し

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年 4月 21日(火)21時 58分 6秒

総会では、いろいろご配慮いただき有難うございました。

その後、住吉駅前一杯飲んだ後、高座の滝の上の堰堤で大森さんとキャンプ。

浪川さん宅でいただいた差し入れのビールとスモークタンで再宴会。浪川さん、美味しかったです。ご馳走様でした。

日曜日は、しばらく広瀬さんの来訪を持つものの来られる気配が無く、越田さんから教えていただいたブラックロックの上の岩小屋探しに出発。

大岩ゴロゴロの荒地山を右に左にウロウロ徘徊し、やっと見つけた岩小屋は4人は泊まれる立派なものでした。最近使われた雰囲気もありました。ついでに食べ頃のコシアブラを手に入れ、皆さんと合流。楽しい一日でした。

体育会山岳部のHP

投稿者：福田信三 投稿日：2009年 4月 20日(月)11時 18分 46秒

武田会長

総会、慰霊祭、ご苦労様でした。さわやかな初夏の元、両会共に活気のある楽しいものでした。

さて、現在の体育会山岳部としての山岳部のホームページの中身(概要)は下記の通りです。

問題は

- 「このページを表示するには、フレームをサポートしているブラウザが必要です。」のブラウザは甲南の学生部が管理しております。このブラウザにログインするには現役の学生（ID番号を持っている）が構内のPCを使用する場合のみとのことです。学外からや現役学生以外は不能とのことです。

- 奥の手を使って、表示できないフレームの中身は見る事が出来ました。100行以上ありますので掲載しません。故に、中身を変えたり改訂することはできません。しかし、WEBにアップできません。出来るのは唯一現役の江田君のみです。重要なFTPのID番号、パスワードが飛んでしまったとのことですが、再生も可能です。

●しかし、小川先輩に依頼して外部からでもログイン可能に出来るようお願い出来ればありがたい、と言えます。あくまで奥の手。

以上により、現段階では江田君に仲介役をお願いするのがベストと言えます。

早速連絡を取りたいので、段取りをお願いします。これが可能でも、新入部員確保が必須です。

```
=====
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN">
<HTML>
<HEAD>
<META http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<META name="GENERATOR" content="IBM WebSphere Studio Homepage Builder
Version 8.0.0.0 for Windows">
<META http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<TITLE>甲南大学体育会山岳部</TITLE>
<script type="text/javascript">
<!--
    window.resizeTo(890, 678);
// -->
</script>

</HEAD>
<FRAMESET cols="191,*" frameborder="NO" border="0">
    <FRAME name="left" src="toppage.html" noresize>
    <FRAME name="right" src="topframe.html" noresize>

<NOFRAMES>
<BODY>

このページを表示するには、フレームをサポートしているブラウザが必要です。

</BODY>
</NOFRAMES>
</FRAMESET>
</HTML>
```

高座の滝のキャンプ

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009 年 4 月 17 日(金)06 時 06 分 21 秒

慰霊祭の日の早朝に、天気良ければ幕営地を尋ねます。コーヒーでも頂きたく、
宜しく。場所など総会の時に聞きます。（日本山岳会の近畿分水嶺踏査行が4月25日

から始まります。これに参加しますので、丁度、ロックガーデン当たりで脚慣らしをしようと思ってました。)

高座の滝キャンプ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009 年 4 月 15 日(水)22 時 05 分 21 秒

18 日の総会の後、恒例の駅前飲み会？
その後、大森さんと高座の滝どこかでキャンプをして、翌日の慰霊祭に参加と相談しています。
夜遅くになりますし何も準備できませんが、用具持参で山の朝をご一緒にいかがですか？
川野君どうですか？

花見会

投稿者：南井英弘（K G A C） 投稿日：2009 年 4 月 14 日(火)17 時 24 分 57 秒

越田和男様が報告されているとおり 4 月 11 日の大関邸での花見会では大変お世話になりました。お蔭様で皆様と歓談することができ感謝しています。信州、甲州経由で参加された武田雄三会長が持参下ったイワナや鱒、湘南海岸の海の幸を雲一点なく晴れ渡った春空のもとご馳走になり、日が暮れてから久し振りの焚き火には時間を忘れて話し込んでしまいました。
大変な準備を下された大関さん、国見さんは勿論のこと、かくしゃくとした最長老のグリーンさん始め参加の皆様に御礼申しあげます

生中継の ダウラギリ と エベレスト

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2009 年 4 月 13 日(月)15 時 38 分 29 秒

栗城 史多（くりき のぶかず）1982 年生・札幌在。
4 月 8 日の北海道新聞記事― 5 月ダウラギリ（8.167m）の登頂の様子をインターネットで生中継する予定。

彼は 4 月 12 日千歳空港から出発しました。
また、彼の HP には今年 8 月のエベレスト登山で、登山中の動画配信にあわせて"世界初"の試みとなる『インターネット 24 時間生ライブ動画配信』を行う予定とあり、
配信元が確定次第、
栗城の公式ホームページ、ブログ、メールマガジンにて、タイムリーに配信とあります。
無酸素・ソロ・生中継でやっと新聞記事になるようです。
見ていただく為に登る、インターネット上での演技と、登山も変わりました。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2009 年 4 月 13 日(月)13 時 14 分 41 秒

越田さんから送られてきた大関邸花見会の写真をアルバムに UP しました。

大関邸の花見会

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 4 月 12 日(日)18 時 44 分 21 秒

恒例の海老名の大関邸での花見会も今年で10回目。桜は満開を過ぎたが、石楠花が見ごろだった。甲南山岳会では計報の多かった一年だったが、こうやって集まれた者の幸運に感謝しつつ、老若？男女12名が相集い春の一日を楽しませてもらった。

年々着実に高齢化はいやおうなく進むが、午後2時から8時頃まで、米寿を迎えたグリーンさんを始め、70代で8000m峰を目指す人、南極海サウス・ジョージア島への旅を目論む人、来年の雪見会の日取りを手帳に書き込む長老、8時間を越える癌の大手術から2カ月にして早くも飲み毛、食い気盛んな人、などなど……。平均年齢70を優に超える人たちにしては一寸精神年齢が若すぎではないかと思うことしばしでした。

参加者：

甲南山岳会：福井グリーンさん、平井センキチ、大関、飯田、武田ユ一さん、水渡、鈴木敬吾、越田

JAC：大橋晋、南井英弘、田村俊介、国見ゆみ子の諸氏

何時もながら、準備跡かたづけ全てにつき大関に多謝。国見さんの助っ人にも、そして武田会長、遠路はるばるお疲れさまでした。

計報

投稿者：武田 雄三 投稿日：2009年4月6日(月)17時27分35秒

4月6日12時17分予て療養中の柏敏明氏夫人が永眠されましたのでお知らせ致します。

謹んでお悔やみ申し上げますと共にご冥福をお祈りいたします。

ご葬儀：4月8日(水)12時30分～ 泉北梅教会にて

お通夜は親族のみで。(お香典はご辞退)

質問連絡等は安井副会長まで。

飛騨沢・槍ヶ岳 敗退記

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年3月30日(月)23時53分13秒

30年ぶりの積雪期の槍ヶ岳登頂と飛騨沢パウダースキーを堪能しようと、新穂高に行ってきました。ちょうど冬型気圧配置の後半、天気は上々、雪質抜群のはずだったのですが・・・。

28日(土)小雪の舞い散る新穂高駐車場を7:00に出発。駐車場で足首ほどの積雪。林道に入るとすぐにスキーを履いてシール登行。雪はだんだん深くなり、ラッセルと重荷にペースがあがらず、白出沢に12:00着。少し夏道を行ってから、河原に下る。根雪が少ないため、コース取りが難しい。腐ってきた雪は重く、シールにも張り付いて疲れる。チビ谷出合ではデブリブロックを新雪が覆い隠し、クレバスのようなブロックの隙間の穴にはまり込み、脱出に苦労する。やっとの事で滝谷避難小屋に16:00着。

予定の槍平小屋まで行きたいところだが、疲労困憊。このペースでは日が暮れてしまいそうなので、ここで泊まることにする。ドアは閉まらず薄暗くてあまり良い雰囲気とはいえないが、贅沢は言っていられない。中にツェルトを張り、大量に持ってきた食料をひたすら消費する。夕方は晴れていたのに、夜半にはまた雪が降る。

29日(日)6:00発。気温-13℃、水筒の水が凍っていく。滝谷の写真を撮ろうとするが、カメラが低温で機能しない。相変わらずペースはあがらず、槍平小屋に8:00着。滝谷と違い、開けていて明るく気持ちがよい。膝ほどのラッセルにあえぎながら、飛騨沢を詰める。右に大きくカーブしたあたりからさらにひと登りした2430m付近で11:00。

予備日を使えば山頂までたどり着けそうだが、今日下山するにはこれで時間切れ。家族に心配をかけると後々面倒なので、これから本番の広大な飛騨沢上部を目前に滑降準備。穂先に登るための補助ロープや谷君に借りたバイルは、ただのボッカ荷物となってしまった。

下るとなればスキーは速い。あっという間に槍平、12:30には滝谷避難小屋着。デボ荷物を回収して河原を下り、つぼ足で登り返して白出沢を渡ると安全地帯の林道へ15:00。林道をひたすら滑り、駐車場に16:00。

荒神の湯で垢を落として、帰路に。高速代は例の割引で行きも帰りも¥1950でした。

2日連続のハードな行動で体中が痛いですが、飛騨沢を貸切で贅沢な時間を過ごしました。



総会 慰霊祭

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009年3月29日(日)18時07分46秒

何れも出席です。(本日返信出しました。)

総会：山本先生、平井先生御出席戴けるようで何よりです。砂川さん、総会でお目にかかるのは、ずいぶん昔で、いつか思い出せません。砂川さんと言えば 柳沢（リュウ）さん

と一体となり、多くの思い出が浮かびます。

慰霊祭：甲南大学山岳部創設期の初代リーダー阿部純一さん、福永隆一さんの追悼号とk a c創立40周年記念号の編集に多大の

労力を注がれた柏秀樹さん、そして、急逝されたリュウさん、これらお世話に成ったごく身近な先輩諸氏を当日、偲ばせて戴きたく存じます。

春の総会・慰霊祭

投稿者：井上 知三 投稿日：2009年3月29日(日)09時15分57秒

事務担当より総会・慰霊祭の出席者を下記の通りお知らせいたします。(3/27現在)

総会出席者

山本 三郎・平井 一正・國府 雄次郎・小川 守正・小原 耕治・砂川 彰雄・鈴木 頼正・田辺 潤・鳥居 威男・伊丹 弘忠・越田 和男・藤安 賢一・二谷 和成・福田 信三・武田 雄三・村上 与利一・安井 正・伊丹 徳行・浪川 純吉・國分 廣昭・石原 浩二・南里 章二・中澤 章浩・要 裕晶・川野 幸彦・北方 龍一・井上 知三（以上27名）

慰霊祭出席者

小原 耕治・砂川 彰雄・鈴木 頼正・田辺 潤・越田 和男・二谷 和成・武田 雄三・村上 与利一・浪川 純吉・國分 廣昭・石原 浩二・南里 章二・川村 静治（初参加）・本田 依子・乾 恵美子・井上 知三（以上 16 名）

尚、出席の方は締切期日までに、必ず返信ハガキにてご連絡をお願い致します。軽食・総会資料作成の準備がありますので必ず期日までにお願い致します。

無事卒業！！

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2009 年 3 月 28 日(土)14 時 35 分 58 秒

山岳会の皆様、25 日をもって無事卒業することができました！

また武田会長のご報告にもありました通り、ご褒美！？としてなんと学長表彰までしていただきました。これもひとえに皆様方からの熱いご支援・ご協力の賜物と存知しております。

入学当初、山岳部員がゼロだと聞いてこの先どうなる事かと思いました。

しかし私の‘学生’いいえ、‘岳生’生活は膝の怪我などはありませんでしたが、本当に充実したものでした。

来年度からは OB 1 年生となります！

未永くご指導の程、どうぞよろしくお願い致します。

※公の掲示板ですので他の受賞者の写真は修正しております。



八ヶ岳

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009 年 3 月 27 日(金)00 時 32 分 47 秒

谷君、卒業おめでとうございます。

現役アクティブメンバーがいなくなるのは少し寂しいですが。

社会人になっても、山を続けられる環境を作れると良いですね。

先日の八ヶ岳の様子、神戸大のホームページで紹介されています。天気が良くて快適でした。

<http://www.acku.net/2009-3-Yatsugatake/2009-3-Yatsugatake.html>

この土日もどこかに行きたくてウズウズしています。

朗報

投稿者：武田 雄三 投稿日：2009 年 3 月 25 日(水)20 時 28 分 5 秒

本日唯一の現役活動部員「谷勇輝君」が無事卒業しました。 谷君オメデトウ。

学位授与式（卒業式）で先年の「クビカンリ初登頂」を高く評価され、学長表彰を受けると

の事を知り、小生も出席させて貰いました。

本年の学長表彰該当者は 3 名、壇上に上り表彰の盾を受け取る谷君の姿は、晴れ晴れと爽や

かなもので有った事をご報告申し上げます。

これも山岳会皆様の多大なご支援の賜物と誇らしく、改めて厚くお礼申し上げます。

柳澤先輩の訃報

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 3 月 24 日(火)21 時 34 分 56 秒

リュウさんの訃報にただ驚くばかり。全くの急逝だったとのことをご同期の小原耕治さんから電話でお聞きした。つい最近の寮歌祭でも、山岳部の部歌を元気に歌われて好評だったとのことでした。

昨年暮れのある朝お電話をいただき、同窓会で説明を求められているとかで、穂高東面の甲南ルートについてのご質問があった。その後送ってこられた前穂四峰の岩壁の写真に、ご要望のあった甲南ルートの赤線を入れて返送したところ、ご丁寧な御礼を絵葉書でいただいた。

その絵葉書は、30 数年前の小生の米国出張の折にご案内いただいたテキサス州サンアントニオのアラモの砦のものだった。当時リュウさんはダラスに駐在中。五年も上の大先輩にあちこちでお世話になった折のことを色々と思い出しております。

この一年、阿部純一さん、柏秀樹さん、そして柳澤正さんと、新制の最長老の方々の訃報が相次ぎ寂しさ一入です。ご冥福をお祈りいたします。

訃報

投稿者：武田 雄三 投稿日：2009 年 3 月 24 日(火)16 時 51 分 27 秒

3 月 24 日（火）柳澤 正（S. 32 年経済学部卒）さんが亡くなられた旨、甲南大学同窓会より連絡が入りました。

御通夜・ご葬儀は佛式にて下記の通り執り行われます。

御通夜式：3 月 26 日（木）18 時～19 時

公益社 千里会館 吹田市桃山台 5-3-10

TEL 06-6832-0034

喪主：柳澤 美佐子（ヤナギサワ・ミサコ）様・・・ 奥様

告別式　： 3月27日（金） 11時～12時
同　上

生前の御好誼を謝し、ご冥福をお祈り申し上げますと共に謹んでお悔やみ申し上げます。

合　掌

尚、お香典の儀御辞退との事お含み置き下さい。

中屋敷

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年 3月23日(月)22時05分53秒

中屋敷、懐かしいですね。

おじさんおばさんはお元気でしょうか。以前、神さんの紹介で泊まった時にリフト券を貸してもらったりいろいろと親切にしてもらいました。

神さんは食事の時間も削って滑るくらいの「スキーの虫」のような方でした。
今もお元気なようですね。

山本恵昭さん

投稿者：山本 眞博 投稿日：2009年 3月23日(月)08時00分9秒

戸狩の「中屋敷」で十数年振りに、神さんに逢いました。

着くなり雨の中を滑りに出かけました。

明くる日、山スキーをするため、地道で「八甲田」向かいました。

恵昭さんには、氷ノ山へ連れてくる様、言っていました。

一度二人が、滑ってる所是非見たい物です。

八ヶ岳下山

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年 3月22日(日)17時39分1秒

谷君のようなビッグクライムには程遠いですが、八ヶ岳の雪稜を楽しむことができました。

21日阿弥陀岳の北稜を登って、赤岳経由で横岳ピストンし、行者小屋のテントへ。快晴の中、展望もすばらしく快適でした。

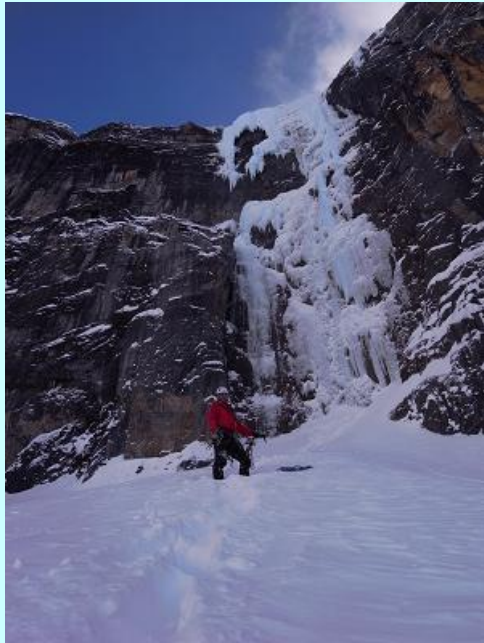
帰国のお知らせ

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2009年 3月20日(金)06時36分10秒

昨日、パートナー共に無事帰国いたしました。

カナダではミックスクライミング、氷の大物（160m、6級）、-30℃以下の気象条件、スキーを体験することができました。

報告は後ほどさせていただきます！
取り急ぎ帰国のご連絡までに。



八ヶ岳

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009 年 3 月 19 日(木)20 時 49 分 9 秒

今晚から八ヶ岳に行ってきます。

天候しいですが、久しぶりにハーネスを付けて阿弥陀岳北稜や赤岳主稜に登る予定です。

団体傷害保険申込

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 3 月 18 日(水)21 時 36 分 21 秒

下記の方々の申し込みをしました。有効は 4 月 1 日からとなります。引き続きの方は連続して 4 月 1 日より 1 年間有効です。

田辺、武田、浪川、塩崎、山本(真)、山本(恵)、大森、川野のみなさん(敬称略)

以上、報告します。

福田さん

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009 年 3 月 14 日(土)09 時 50 分 47 秒

お手数をお掛けして申し訳ありませんでした。

よろしくお願いします。

川野さん、了解しました

投稿者：福田信三 投稿日：2009 年 3 月 13 日(金)22 時 11 分 20 秒

川野さん、

早いご回答、助かります。

ということは単身赴任ですね。

手続きとおきます。

福田さん！

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009年 3月13日(金)19時32分23秒

・福田さん！

毎年お世話になりありがとうございます。今年もよろしくお願いします。

連絡先の不備、申し訳ありません。

住所は従来通りです。

〒390-0825 長野県松本市並柳3-22-15 電話0263-28-8473

この度、大阪へ転勤しますが、嫁ハンがやってくるのは夏以降です。取り合えず、私のみの移動です。単身生活は継続です。

今年も安全登山に勤めます。

兵庫県山岳連盟ホームページ

投稿者：福田信三 投稿日：2009年 3月13日(金)17時37分24秒

兵庫県山岳連盟のホームページが最近、充実してきました。

月刊誌“兵庫山岳”も毎月アップ(pdf)されています。

どうぞ、ご覧ください。

<http://www.hma.jp/>

川野さんへ

投稿者：福田信三 投稿日：2009年 3月13日(金)11時45分26秒

川野さん

新住所 電話番号 至急お知らせください

団体保険申込に必要です

よろしく 福田信三

マルコポーロ・シープ

投稿者：越田和男 投稿日：2009年 3月12日(木)12時38分42秒

パミール中央アジア研究会の会合で、厳冬のタジキスタン・中国国境の旅から帰った本多海太郎、井出マヤ（田口二郎氏の長女）のお二人の話を聞く機会があった。

旅の圧巻は、マルコポーロ・シープの群れとの出会い。かつての希少動物が今や数百頭単位の群れを成し、絶滅の危機から見事に回復している様子を写した感動的なスライドで見せてくれた。

密猟者、狼の廃除の効果だという。映画「ココシリ」を思い起こす話だが、我々の思い浮かべる環境保護とは別の次元で、新しいビジネスを生んでおり、限られた捕獲頭数を欧米の富豪ハンター向けに提供し、ハンティング・キャンプには何と数日間の滞在に一人数百万円を払って客が来ているとのこと。

このキャンプは荒野の真ただ中だが、温泉付き、暖房、水洗トイレ、プールまであり、食事は都会から一流のシェフが来ており、フルコースのディナーには、マルコポーロ・シープのステーキを食わせるそうだ。ビジネスあつての動物・環境保護の典型か。

団体傷害保険申込の最終案内

投稿者：福田信三 投稿日：2009年3月11日(水)09時23分3秒

当掲示板2月27日付でご案内しました、保険申込の件、
3月14日が期限です。希望の方はお早めに。
3月14日以降は各個人でお申し込みください。
福田信三

氷ノ山ぶん回し

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年3月10日(火)00時07分7秒

神戸大の方々と氷ノ山に行ってきました。
土曜日、東尾根の神大ヒュッテに11名で一泊。薪ストーブが暖かく快適でした。
日曜日、全員でぶん回しスキーツアー。午前中はカリカリアイスバーンで皆さん一苦勞。午後は雪も緩んでポカポカ陽気に。ハチ高原に下山後は、神戸大OBの方が所有の合歓の木山荘でおでんをよばれ、かえってきました。神戸大でも年配の方がお元気でした。

平生先生の曾孫？にあたられる方がおられたり、関大OBの方がおられたり、いろいろな方との交流が楽しかったです。ただ名前がなかなか覚えられないのは歳のせいでしょうか。

雪融けが1ヶ月程早いように思います。スズコタケノコのシーズンも早いかもしれませんね。

転勤

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009年3月9日(月)07時30分53秒

皆さん！お元気ですか？

大阪へは3月25日に引越します。場所は京阪の野江駅から徒歩10分ほどの所です。今回は嫁ハンも一緒に、7年ぶりの単身赴任解消です。

ところで皆さん、5月はどちらへお出掛けですか？私は単独で別山尾根から剣岳を目指す予定です。山本さん・大森さんは再び黒部ですか？トレーニングに励みましょう！

Re: 転勤

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年2月28日(土)17時51分50秒

> [No.675\[元記事へ\]](#)

川野くん、次々と転勤大変ですね。

でも大阪なら、飲み会、近場山行、山菜キノコキャンプなど、一緒に行きやすくなりますね。
また、よろしく。

転勤

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009 年 2 月 27 日(金)22 時 14 分 18 秒

ご無沙汰です。

4 月から大阪に転勤します。また何か“集まり”がありましたらお誘い下さい。

寮歌祭で山岳部の山の歌

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 2 月 27 日(金)15 時 35 分 37 秒

今年も来週土曜日に平生記念館で「甲南学園寮歌祭」というのがあり、山岳部の部歌・山の歌を歌うことになっているとのこと。ご都合のつく方はぜひ出席され歌って下さい。

なお、運動部の部歌の部で歌われるもののうち野球部、ラグビー部、山岳部の三つが我が伊藤愿先輩の作詞によるものです。

> 第 5 回 甲南学園歌唱祭

>

> 日時：3 月 7 日（土）午後 3 時 30 分～6 時

> 場所：平生記念セミナーハウス

> 会費：3,000 円（軽食準備）

>

> 歌唱：T 甲南高等学校 寮歌

> 1. 征覇行 「いざ若人よ」（檄とも）

> 2. 逍遙歌 T 「嗚呼緑愁に若人が」

> 3. U 「春黎明の」

> 4. V 「嗚呼浅春の」

> 5. 遠征応援歌 「嗚呼緑愁の丘の上に」

> 6. 応援歌 「いざ心せよ」

> 7. 迎春の歌 「風、冴ゆる芦屋の街に」

>

> U 運動部 部歌

> 1. 野球部応援歌 「醒気寥々雲荒れて」

> 2. ラグビー部部歌 「嵐と狂う北風の」

> 3. 陸上競技部部歌 「出でて歩まん」

> 4. 山岳部部歌・山の歌「黎明の御空に」

> 5. 剣道部部歌 「夜は明け行きぬ」

>

> V 友誼校 寮歌

> 1. 浪速高等学校 2 曲

> 2. 姫路高等学校 2 曲

>

> W 甲南学園歌・甲南高等学校校歌
>
> 準備の都合上、2月28日（土）までに欠の連絡必要
> 甲南大学同窓会 TEL: 078-842-0357
> FAX: 811-9366
> 以上

山岳共済会 団体傷害保険

投稿者：福田信三 投稿日：2009年2月27日(金)11時03分4秒

恒例の団体保険申し込みの季節となりました。

内容の詳細は下記をご覧ください

<http://www.moon.sphere.ne.jp/jma-kyousai/html/premium.html>

今年度はBタイプが多かったです。

この場合、保険料金 5200 円 年会費 1000 円 合計 6200 円となります。

ご希望の方は下記口座へ振り込んでください。

締め切り：3月14日

福田信三 三井住友銀行 住吉支店

普通 3907390

以上、ご案内します

大日岳・野伏岳

投稿者：DONNKICHI 投稿日：2009年2月24日(火)01時12分29秒

21・22日奥美濃の大日岳・野伏岳に閑学小西さんと山本恵昭名人 Donnkichi の3人で行きました。

21日8:30出発最初はダイナランドから登るつもりが駐車場が満杯でやもなく、高鷲スノーパークに変更、此処もスノーボードで満員久し振りにスキー場で大勢の人を見てびっくり。ゴンドラの終点から1時間程で大日岳に到着、頂上から北側の大日谷にパウダー斜面を高度差200～300m滑降、頂上まで登り返しかます谷を滑降、この谷もパウダーで久し振り快適に滑ることが出来ました。谷からトラバースしてスキー場に4時半頃到着。

すぐさま石徹白に移動、白山中居神社の駐車場でテント泊。この夜はマイナス10度程。

22日7:30出発和田山牧場9:30→ダイレクト尾根10:30→頂上11:45この日は前日と違い気温が上がりぐさぐさの湿雪我々が落とす雪がドーナツ状のブロックに成り、滑り難く雪崩れの心配が有る為、ダイレクト尾根を忠実に滑りおりる。駐車場2:00着

今回で念願の野伏岳を3回目ようやく登り滑ることが出来ました、小西様山本恵昭様本当にお付き合い頂き有難うございました。

ありがとうございます

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009年2月21日(土)12時52分52秒

塩崎さん！ありがとうございます。お忙しい中申し訳ありませんでした。

投稿

投稿者：管理人 投稿日：2009年2月20日(金)06時38分18秒

川野君から山日記の3年生時代が送られてきました。

個人投稿集にUPしました。

<http://homepage2.nifty.com/konan-alpin/sankou%20houkoku/kawano/yamaniki3.htm>

現役山岳部

投稿者：越田和男 投稿日：2009年2月18日(水)09時48分38秒

谷君卒業後、アクティヴ部員が居なくなるとの事。またもや山岳部存亡の危機を迎える訳ですが、山岳会としての支援策に知恵を絞らねばと思います。人数は少ないですが、谷君を含め若手OBの力に期待します。

今度の総会にぜひ対策案を議題に乗けて下さい。

お知らせ

投稿者：武田 雄三 投稿日：2009年2月15日(日)00時34分30秒

*今年度の総会・慰霊祭のスケジュール下記の通りに付、各位ご予定願います。

総会：4月18日(土)午後5時～ 平生会館2F中ホール

慰霊祭：4月19日(日)午前10時～ 阪急芦屋川駅北側広場

*2002年57号より2008年63号まで山嶽寮の編集に携わって呉れました山本真博・大森雅宏両君に代り、今年発行の64号より福田信三君(S.39年理卒)が編集を引受けてくれる事となりました。

会員を代表して、山本・大森両君には「永年に亘りアリガトウ・ゴクロウサマデシタ」、福田君には「ヨロシクオネガイシマス」の言葉を捧げます。

後輩

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2009年2月12日(木)12時58分37秒

現役と名乗るには少々年を取り過ぎました。。。

残念ながら奥田は昨年退部しております。戻ってくるかと思い、公での報告は現在まで差し控えておりました。。。

彼曰く、私が卒業したのち、一人で部の運営(活動)を受け継ぐことができないとの意向で退部した次第です。

他に、4回生には江田と神澤がおりますが、アクティブな活動は無いのが現状です。

現役？

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年2月11日(水)21時41分22秒

谷君

越田さんも心配されておられますが、谷君の後輩はいないのでしょうか。

キノコ採りに来ていた奥田君とかは、今はどうしているのでしょうか。

最近、神戸大の現役（院生と3年1名1年1名）と山へ行く機会があるので、初心者でも甲南の現役がいるなら一緒に出かけても良いなと思っています。

3月の連休は、八ヶ岳の雪稜へ行く予定です。

近況報告

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2009年2月11日(水)16時17分45秒

どうも山岳会の皆様、大変ご無沙汰しております！

現役の谷です。今年に入って書き込みなく失礼いたしました。

最近、卒論（今月17日提出）の提出期限が迫ってきたので大忙しです。

1月は最近パートナーの社会人の方と大峰の氷や岡山/備中にてクライミングをしています。今年の冬は暖かいので氷の発達はいまいちですね。アメリカコロラド州の知人も今年は特に氷の発達がいきまいちと嘆いておられました。

世界的にみて暖かいのでしょうか・・・

You Tube（動画）

※閲覧できない場合。

再生ソフトをインストールする指示があるかと思うので、インストールすると閲覧可能です。

大峰/シェイクスピア氷柱群/アイスクライミング/タニ

http://www.youtube.com/watch?v=l7EoWqW_Qu8

大峰/シェイクスピア氷柱群/Mix クライミング/パートナー

http://www.youtube.com/watch?v=fd_9cLx3HXs&feature=channel_page

また先日初めての試みでしたが、御影高校山岳部（17名在籍内女性4名）を訪問して高校1・2年生に甲南の入学案内と勧誘をしてきました。高校生はとても初々しいですね。

写真

年末の山行/穂高岳山荘より。

P.S.

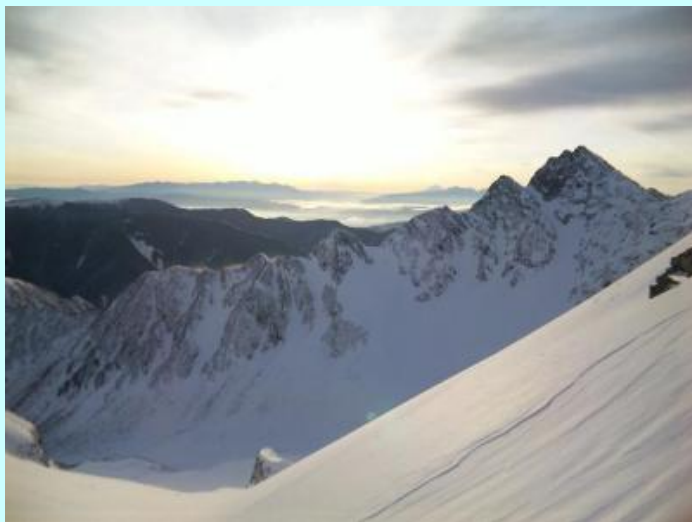
来月3日から2週間ほどカナダへ遠征に行きます。

目的はアイスクライミングとMix クライミングです。

Mix クライミングは最近日本でも盛んにおこなわれるようになってきました。

ピッケル（バイル）とアイゼンで岩を登り、上部で氷に移ります。

こう言うテクニックは日本の冬壁でもきつと活かされるものだと思います。



現役はどうしてますか？

投稿者：越田和男 投稿日：2009年2月7日(土)22時07分12秒

現役のHPを時々開いて見てますが新規書き込み皆無ですね。谷君の本HPへの書き込みもなく、いったいどうなってるのと心配になってきます。山岳部がんばれと遥か横浜からエールを送りたいのですが、こんなこと気になるのは歳のせいでしょうか。若手OB諸兄はどう思われますか。

丹生山

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2009年2月2日(月)21時50分1秒

飯田様、昨年の雪見会ではお世話になり有難うございました。

今年も参加できればと思っていましたが、家族と職場でインフルエンザの嵐が吹き荒れ行けませんでした。また、来年よろしくお願いします。

昨日は、妻と丹生山へ行って来ました。吞吐ダムサイクリングロードの入り口付近から適当に山に入り、イノシシの踏み跡を繋ぎながら南面の谷をつめて丹生山へ。山頂御社の片隅でラーメンと焼肉の豪華昼食。おじさんグループは鍋をしていました。帝釈山まで縦走り、南向きに藪をこいで鉾山跡経由で下山。この山系はあまり道にとらわれずに歩けるので、結構楽しめます。

今年はスギ花粉が多いそうです。丹生山の杉の枝先にも黄色い雄花が沢山付いていました。花粉症の私としては、3月が思いやられます。

雪見会有り難う。

投稿者：青木 宏安 投稿日：2009年1月30日(金)11時18分43秒

お礼遅れまして、雪見会では、本当に有り難う御座いました。

1月28日帰りました。大関さんと門脇氏のトークバトル

(舌戦) 最高でした。飯田様来年も宜しく。

関学山岳会 青木 宏安

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2009 年 1 月 28 日(水)05 時 33 分 1 秒

石原君から雪見会の写真が投稿されました。

アルバムにUPしました。

雪見会不参加に

投稿者：森本 投稿日：2009 年 1 月 21 日(水)19 時 09 分 9 秒

飯田様・donnkichi 様 急ですが仕事の関係で楽しみにしておりました雪見会行けなくなってしまいました。

おしそまの取りやめ、ご迷惑おかけいたします。本当に申し訳なくかんにんして下さい。 森本

雪見会

投稿者：田邊 潤 投稿日：2009 年 1 月 19 日(月)17 時 20 分 1 秒

飯田さん、17 日付の貴君の投稿では小生の参加が 24 日夜中となっているのは間違いです。23 日金曜日の夜中です。24 時を過ぎると思います。よろしくお願いします。帰りは 26 日午後です。ガチャ

迎え

投稿者：飯田 進 投稿日：2009 年 1 月 17 日(土)09 時 13 分 31 秒

石原君 了解。松本に向って右側にあるターミナルに向って降りてきてください。

降りたところで待っててください。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2009 年 1 月 17 日(土)09 時 09 分 57 秒

ただ今のところ、参加者以下のとおりです。間違ったら訂正願います。

23 日 夕刻 青木 石原 大関 飯田

夜中 小西 森本 浪川

24 日 夕刻 田中 雨宮 武田

夜中 田辺

帰り

25 日 石原

26 日 田中 青木 小西 田辺 雨宮 武田 浪川 森本 大関 飯田。

以上です。

雪見会

投稿者：石原 浩二 投稿日：2009 年 1 月 16 日(金)22 時 11 分 7 秒

飯田様

ありがとうございます。

しなの 5 号で行きます。塩尻で乗車させていただきます。

携帯番号を前田館に連絡しておきます。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2009 年 1 月 16 日(金)13 時 56 分 5 秒

石原君 23 日 名古屋発 9:00 (しの5号) で来ませんか。そしたら塩尻 10:52 着 小生
塩尻で貴君を拾えるのですが。

裏山二題

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 1 月 15 日(木)12 時 12 分 45 秒

腰痛でスキー 出来ず雪見会にも行けないので、という訳でもないが、年明けから東西の裏山歩きでお茶を濁
しています。

1 月 8 日 湘南の山 (高麗山 168m → 浅間山 181m → 湘南台 → 大磯)

下り新幹線の新横浜・小田原間の左車窓に見える連山です。電車の駅で言うと平塚・大磯間。ちゃんとし
た山道があって、南に相模湾、北に丹沢山塊、西に富士と箱根などを眺めての縦走気分は爽快。この日は
大関主催の新年会を、大関が管理する大磯の豪邸でやってくれるというので、その前の腹すかしにもってこい
の約 2 時間半の山歩きとなった。山歩きに付き合ってくれたのは田村俊介氏、大磯で合流したのは米山バ
ブさんと水渡。海岸のヒルトン・ホテルの 1000 円の露天風呂につかった後、大関シェフの料理を楽しみ全
員一泊した。

1 月 13 日 芦屋ロックガーデン → 岡本

大阪で高校の同窓会があった翌日、廣瀬が声をかけた同級生二人 (入江、吉田) とすけっぴとの N・ドン
キチの参加を得て、ヨタヨタ歩きながら地獄谷から A 懸 - 万物惣 - 風吹岩 - 保久良神社 - 岡本というお
気に入りのコース。地獄谷入り口のゲートロックの崩落跡が凄まじい。谷の水量乏しく、小便滝にも水なし。
A 懸から上の主稜歩きは快適。とはいえ、岩場では足が思うように上がらず、バランスも年々悪化、ドンキチ
が信じられんとしたまう。

こんな訳で今年も楽しんでます。古希を過ぎてもヒマラヤの高峰に挑む猛者あり、端から諦めて何処へも行か
ない人もあり、病その他の事情で動けない旧友も結構多い、といった中で小生はほどほどのところかと自己満
足。来週は会社仲間と愛鷹連山の越前岳、これはアイゼンが要りそう。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2009 年 1 月 15 日(木)08 時 01 分 59 秒

石原君へ

23 日 (金) 昼ごろ到着よていとか。その便だと、白馬駅から柵池へのバスが出ています。白馬大池ま
で行かないで、白馬で降りてください。もし都合付かなければ前田館に連絡しておきますので、電話して迎え
に来てもらってください。

雪見会

投稿者：石原 浩二 投稿日：2009 年 1 月 14 日(水)20 時 27 分 50 秒

飯田様

連絡が遅くなりましたが急なトラブルがない限り、参加します。23日昼頃到着予定で、25日朝食後帰阪します。宜しくお願いします。往復とも電車の予定ですが前田館の方は駅まで迎えに来て頂けるのでしょうか。

雪見会

投稿者：小西啓右 投稿日：2009年 1月13日(火)11時07分21秒

飯田様

今年も関学、雪見会に参加させていただきます。よろしくお願いいたします。

23日 夜食、泊 青木

泊のみ 小西

24日 田中（夜食から）青木、小西

25日 田中、青木、小西

26日 朝食のみ 田中、青木、小西

なお、小西は浪川氏と23日午後3時、西宮発、夜食をとって前田館に入ります。

田中、青木は各自の車で入ります。連絡遅くなりましたがよろしくお願いします。

Re: 雪見会

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2009年 1月13日(火)09時21分6秒

> [No.649\[元記事へ\]](#)

飯田君

雨宮 武田は26日。ガチャは？

あとどなたがこられるのか知りませんが

幹事、飯田君の立場あり。

早い返事をお願いします。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2009年 1月13日(火)08時55分24秒

雨さん ガチャさん 帰りは26日ですか？

略 40 年ぶりのスキーでした

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2009年 1月12日(月)20時29分15秒

15年前と33年前に1-2時間ほど貸しスキーを愉しみましたが、去る9日（金）日帰りで、本格的？スキーをしに

北八チに行きました。短い幅の広いスキーと重たい靴を履いての難行苦行に参りました。山脚、谷足に体重をかけよとのことなるも、

もうどうでもよい、ようは滑れたらいいのではと思いましたが、矢張り理にかなった動きが必要成る事、実感しました。次回は春のスキー登山をしたいと思います。

雪見会

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2009 年 1 月 12 日(月)16 時 39 分 26 秒

飯田君

お世話になります。雨宮、武田の 2 名は 2 4 日夕食から参加。

田辺は 2 4 日深夜着で参加です。

Re: 訃報/奥山正雄氏

投稿者：越田和男 投稿日：2009 年 1 月 7 日(水)16 時 26 分 40 秒

> [No.643\[元記事へ\]](#)

若き日に活躍された甲南山岳会の長老がまた一人亡くなられ寂しい限りです。

奥山正雄氏（昭和 1 2 年旧制文科卒・東大経済学部卒）の甲南高校時代の剣西面の記録につき、追悼の意を込めて下記に紹介しておきます。

昭和 1 0 年 7 月、甲南としては初めての池ノ谷の岩場への進出で、剣尾根を右俣奥壁から初登攀された。この記録は奥山氏が「剣岳西面池の谷生活」として部内雑誌に詳述され、ずっと後に「時報・山岳部創立 4 0 周年記念号」で戦前の記録をまとめた時にもこの文章が再録された。

これを登山史研究家の山崎安治氏が、その著書『登山史の発掘』（1 9 7 9 年・茗溪堂）で大きく取り上げ、

「昭和 1 0 年 7 月 2 0 日、甲南高校奥山正雄、山口雅也のパーティによって、右俣からの剣尾根のドーム・バットレス（現在の右俣奥壁と呼ばれているところ）が初登攀された。・・・（中略）・・・剣尾根の登攀を語るとき、昭和 1 0、1 1 年の夏の甲南パーティのアクティブな行動を逸するわけにはいかない。」

と述べ、その登攀の詳細を、1 年後の福田泰次、赤松二郎、中村成三、関暢四らによるドーム初登攀とともに、ルート図つきで解説紹介している。

なお、奥山氏の職歴は旧木下商店、新日本製鉄を経て、日亜鋼業の社長・会長。晩年には山岳会の総会によく出席されていました。ご冥福をお祈り致します。

雪見会

投稿者：山本 眞博 投稿日：2009 年 1 月 6 日(火)08 時 29 分 13 秒

飯田先輩何時もご苦労様です。

私 24 日仕事の為、残念ながら欠席します。

盛会をお祈りしています。

Re: 雪見会

投稿者：大関 投稿日：2009 年 1 月 5 日(月)10 時 40 分 34 秒

> [No.642\[元記事へ\]](#)

飯田 進さんへのお返事です。

> 謹賀新春 良い年になるよう希望します。

> 1月24日 25日泊> 参加です。

訃報

投稿者：武田 雄三 投稿日：2009年 1月 4日(日)13時 51分 12秒

1月4日、奥山正雄氏（旧制 12 文卒）が満 90 歳で天寿を全うされました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

式次第他、下記の通りご報告致します。

通夜式 ：1月6日 18時～

告別式 ：1月7日 13時～14時

場 所 ：公益社 千里会館 吹田市桃山台5－3－10 Tel.06-6832-0034

Fax.06-6831-7984

喪 主 ：ご長女 千葉雅子様

*お香典はご辞退、生花1基15,750－にて公益社が受付ける由。

*甲南山岳会名にて弔電、生花1基手配させて戴きます。

合 掌

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2009年 1月 4日(日)10時 02分 7秒

謹賀新春 良い年になるよう希望します。

まずは雪見会

1月24日 25日泊 を基本に 梅池高原 前田館でおこないます。

参加される方 日程を教えてください。

謹賀

投稿者：川野幸彦 投稿日：2009年 1月 1日(木)08時 20分 16秒

新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

寒い朝です。今朝の松本の外気温は－5℃。室内は＋4℃でした。快晴で初日の出を見る事が出来ました。

後立・穂高方面は雲に被われています。悪天の様です。これから福袋をGETです。その後はニューイヤースタートを観ながら一杯やります。寝正月です。